

KEL

兼松エレクトロニクス株式会社

CC60RM

取扱説明書 第1版



兼松エレクトロニクス株式会社

D4000804

この取扱説明書の取り扱いについて

この取扱説明書には、当製品を安全にご使用いただくための重要な情報が記載されています。当製品を使用する前に、この取扱説明書を熟読してください。この取扱説明書は、当製品の使用中、いつでも参照できるように大切に保管してください。

兼松エレクトロニクス（株）は、製品の開発、提供にあたり、お客様の生命、身体や財産に被害をおよぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っています。当製品を使用する際は、取扱説明書の説明にしたがってください。

ご使用条件

本装置で使用していますソフトウェアに関する著作権等は、兼松エレクトロニクス（株）またはその許諾者に帰属します。兼松エレクトロニクス（株）は、お客様の本ソフトウェアの使用に関し、本装置に関する非独占的使用権を許諾します。

お客様は、本ソフトウェアの全部または一部を修正、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブル等を行うことはできません。

兼松エレクトロニクス（株）は、本ソフトウェアがお客様の特定の目的のために適当であること、もしくは有用であること、または本ソフトウェアに瑕疵がないこと、その他本ソフトウェアに関していかなる保証もいたしません。

兼松エレクトロニクス（株）は、いかなる場合においても、本ソフトウェアの利用、または使用不能に起因して生ずる逸失利益、データの喪失、業務の停止、その他の間接的な、特別な、偶発的な、また結果として発生したいかなる損害について、たとえそのような損害発生の可能性を知らされていたとしても、かかる損害を賠償する責任を負わないものとします。

本製品およびオプション品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムに於ける運行制御、生命維持のための医療機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではございません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に本製品を使用しないでください。

はじめに

このたびはKEL CC60RMレーザープリンター（以下、CC60RMという）をご購入いただき、誠にありがとうございます。

CC60RMは、Ethernet LAN(1000Base-T/100Base-TX/10Base-T)にダイレクト接続し、TCP/IPベースのマルチプロトコル対応により、IBM i からTN5250E、LPR5250にて、UNIX、Linux、WindowsからはLPRのPostScript レベル3にて、それぞれに印刷が可能です。印刷速度は60ppm、解像度は600dpiと高密度であり高品質なバーコード印刷（UCC/EAN128、QRコードなど）が可能です。

2019年3月

注) Macintoshには未対応

お願い

- 当製品は、日本国内でご使用いただくことを前提に製造・販売させていただいております。したがって、日本国外でのご使用はできません。万一ご使用された結果の影響につきましては、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 当製品の分解・修理はお客様自身で行わないでください。そのような際は、必ず弊社保守員によるメンテナンスを受けてください。
- お客様が当製品に改造を加えたり、当製品の中古品を再生して使用された結果の影響につきましては、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 当製品には弊社で指定したサプライ用品（消耗品）をご使用ください。指定以外のサプライ用品（消耗品）を使用した結果の影響につきましては、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 当製品を大量破壊兵器の開発等の目的、軍事利用の目的、あるいはその他軍事情報の目的で使用しないでください。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

本製品は、RoHS対応品です。
RoHS規制物質(鉛、カドミウム、水銀、六価クロム、PBB、PBDE)が、RoHS既定の閾値以下であるものとする。

本製品を廃棄される場合は、法律や各市区町村の条例に定める廃棄方法に従って廃棄してください。

IBMi, iSeries, AS/400は、IBM Corporation (米国) の商標です。
Windows 7, 8.1, 10, Server2008, 2012, 2016は、米国Microsoft Corporationの商標です。
UNIX はX/Open カンパニーリミテッドがライセンスしている米国ならびにその他の国における登録商標です。
PostScript はAdobe Systems Incorporated の商標です。
Intel、インテル、Atom、Core、ならびにその組み合わせはIntel Corp. の登録商標です。
その他記載されている社名および製品名などの固有名詞は、各社の登録商標または商標です。

お願い

- 本書の内容を無断で転載することを禁じます。
- 本書の内容は予告なしに変更されることがあります。
- 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、弊社担当保守員、技術員、営業までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については、前項にかかわらず責任を負いかねます。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、その他の権利、損害については、当社はその責を負いません。

All Rights Reserved、 Copyright © 兼松エレクトロニクス株式会社

CC60RMは、下記プログラムを使用しています。

1. Apache

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");

you may not use this file except in compliance with the License.

You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

2. PHP

This product includes PHP software, freely available from <http://www.php.net/software/>.

3. PostgreSQL

Portions Copyright (c) 1996–2018, The PostgreSQL Global Development Group

Portions Copyright (c) 1994, The Regents of the University of California

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose, without fee, and without a written agreement is hereby granted, provided that the above copyright notice and this paragraph and the following two paragraphs appear in all copies.

安全上の注意事項

●警告表示について

本書では、使用者および周囲の方々や財産に損害を与えないための警告表示をしています。警告表示は、警告レベルの記号と警告文の組み合わせになっています。



正しく使用しない場合、死亡または重症のおそれがあることを示します。



正しく使用しない場合、軽傷または中程度の傷害を負うおそれがあることを示します。また、該当製品自体または他の使用者の財産に対して障害を与えるおそれがあることを示します。



本製品を安全にお使い頂くために、必ずお守りください。正しく使用しない場合、死亡または重症のおそれがあることを示します。

区分	警告事項
感電・火災について	本製品の分解・解体・改造・再生を行わないでください。
	本製品の上に絶対に物を載せないでください。感電・火災・故障の原因となります。
	直接日光のあたる場所や暖房機の近く、湿気、ほこりの多い場所には置かないでください。感電や火災のおそれがあります。
	装置内部が高温になるのを防ぐため、通気孔をふさがないでください。火災のおそれがあります。
	ACアダプタおよび電源ケーブルは弊社専用品を使用してください。感電・火災・故障の原因となります。 添付のACアダプタおよび電源ケーブルは他の製品には使用しないでください。感電・火災・故障の原因となります。
	万一、装置から発熱・発煙・異臭がしたときは、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。 電源を切ったら購入元に連絡してください。そのまま使用すると、感電や火災のおそれがあります。 なお、この場合、通信中のデータは保障されません。
	電源ケーブルやその他のケーブル類を傷つけたり、加工しないでください。 電源ケーブルやその他のケーブル類の上に物を載せたり、絡ませたり、足を引っかけたりしないようにしてください。 感電や火災のおそれがあります。
	本製品の電源ケーブルは、タコ足配線にしないでください。 コンセントが過熱し、火災の原因となることがあります。
	電源プラグの金属部分およびその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭き取ってください。そのまま使用すると、火災の原因となります。
	電源ケーブルは、プラグ部分を持ってコンセントから抜いてください。 プラグが傷んで感電や火災のおそれがあります。
	電源プラグは、電源コンセントに確実に奥まで差し込んでください。 差し込みが不十分な場合、感電・発煙・火災の原因となります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
	電源ケーブルや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは、使用しないでください。 そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
	使用中の装置を布でおおったり、包んだりしないでください。熱がこもり火災の原因になることがあります。
電源ケーブルを束ねて使用しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。	

区分	警告事項
感電・火災について	雷が鳴りだしたら、ACアダプタやケーブル類に触れないでください。感電の原因となります
	コーヒーなどの液体やクリップなどの金属片が、装置内部に入らないように気をつけてください。また、装置内部に異物が入るのを防ぐため、装置の上に物を置かないでください。感電や火災の恐れがあります。
	装置のすき間に、ドライバーやペン先などを入れないでください（リセットスイッチを除く）。感電の原因となります。
	電池交換はしないでください。 電池は、間違ったタイプと交換した場合には、爆発の危険があります。電池容量がなくなった場合には、担当営業員に連絡してください。
破損・負傷について	振動の激しい場所や傾いた場所などに、不安定な場所に置かないでください。落下したりして、けがの原因となることがあります。
	装置の上に物を置いたり、装置の上で作業をしないでください。 装置が破損したり、作業者が負傷するおそれがあります。
	梱包に使用しているビニール袋は、お子様が口に入れたり、かぶって遊んだりしないようご注意ください。窒息の原因となります。
	本製品を廃棄するときは、他のゴミと一緒に捨てないでください。火中に投げると破裂するおそれがあります。

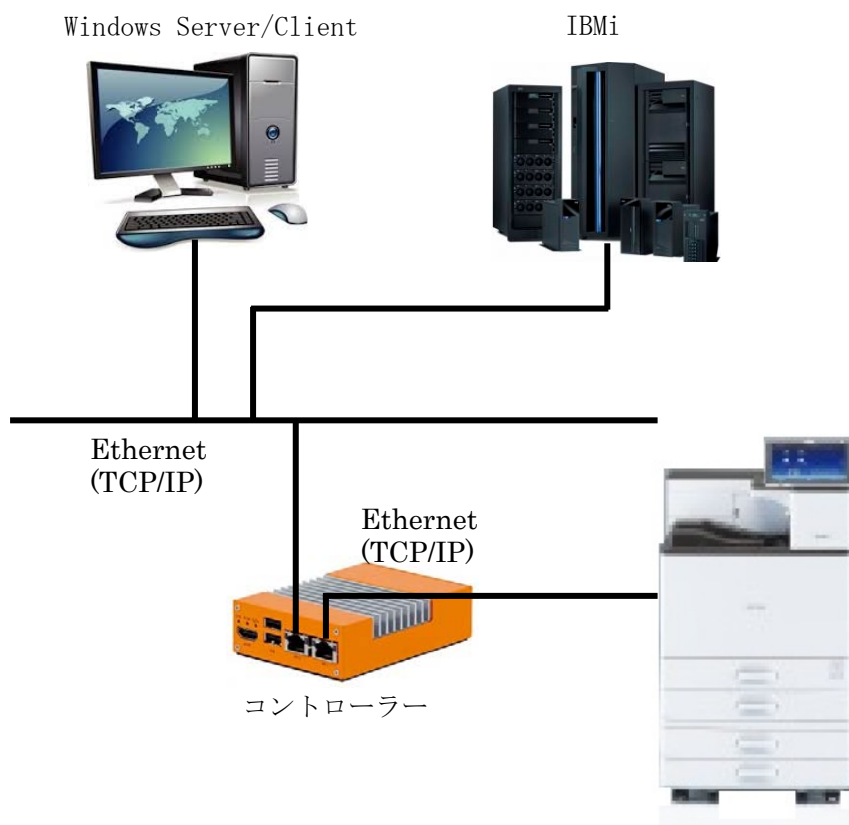
注意

正しく使用しない場合、軽傷または中程度の傷害を負うおそれがあることを示します。また、当該製品自体または他の使用者の財産に対して損害を与えるおそれがあることを示します。

区分	注意事項
故障について	振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。故障の原因となります。
	装置の上に物を置いたり、装置の上で作業したりしないでください。故障の原因となります。
	装置を高いところから落とさないでください。故障の原因となります。
	装置を重ね置きしたり、縦に置かないでください。故障の原因となります。
	本製品は、屋内に設置してください。屋外で使用すると故障の原因となります。
	極端な高温、または低温状態や温度変化の激しい場所で使用しないでください。故障の原因となります。
	塩害地域では使用しないでください。故障の原因となります。
	衝撃や振動の加わる場所で使用しないでください。故障の原因となります。
	薬品の雰囲気中や、薬品に触れる場所で使用しないでください。故障の原因となります。
	電子レンジなど、強い磁界を発生する装置のそばで使用しないでください。故障の原因となります。
本製品を移動するときは、必ずACアダプタを本体から抜いてください。故障の原因となります。	
電波障害について	ラジオやテレビジョン受信機のそばで使用しないでください。 ラジオやテレビジョン受信機に雑音が入る場合があります。
感電について	保守時は必ずACアダプタ電源プラグを本体から抜いてください。

出荷時のネットワーク設定

CC60RMは、プリンターとプリンターを制御するコントローラーで構成されています。



プリンターとコントローラーの間はTCP/IPで接続されます。出荷時には以下の値が設定されています。

プリンター

IPアドレス	011.022.033.045
サブネットマスク	255.000.000.000

コントローラー

IPアドレス	011.022.033.046
サブネットマスク	255.000.000.000
プリンターIPアドレス	011.022.033.045

【補足】

組織内部のネットワークアドレスとして自由に利用できるIPアドレスをプライベートアドレスと言います。利用できるIPアドレスは以下のように定義されています。

Class A 10.0.0.0 ~ 10.255.255.255

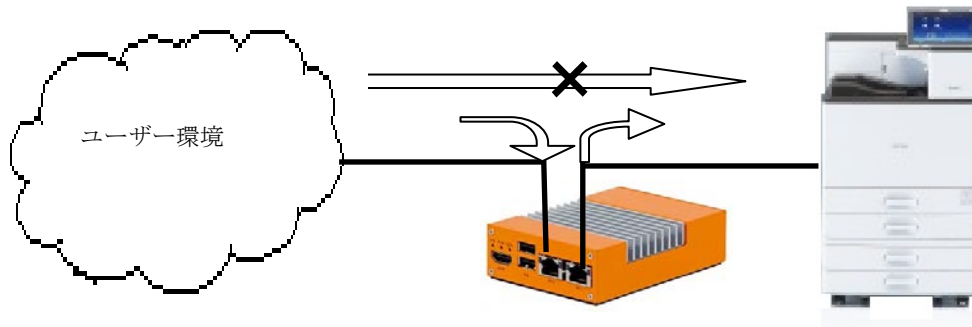
Class B 172.16.0.0 ~ 172.31.255.255

Class C 192.168.0.0 ~ 192.168.255.255

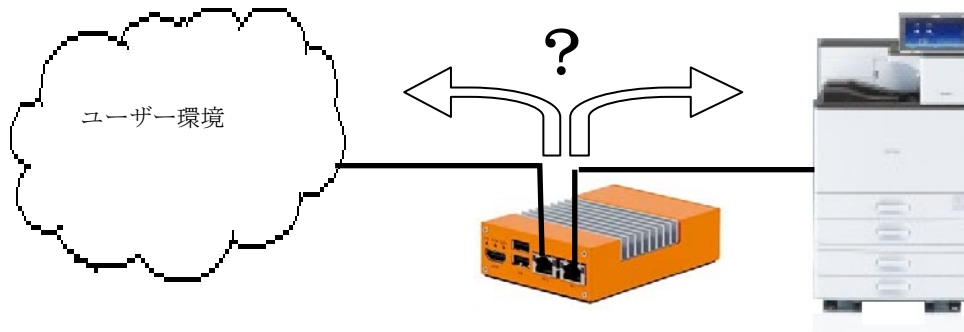
従って、通常 11.xx.xx.xx のネットワークアドレスは組織内部では利用されていません。利用されている場合は、プリンターとコントローラーの間のネットワークの設定を変更する必要があります。次ページを参照してネットワークの設定を変更してください。

ネットワーク設定に変更が必要な場合

コントローラーは、プリンターとコントローラー間のネットワークをユーザーの環境から隠していますので（ルーティングしていない）、ユーザーの環境から、直接このネットワークが見えることはありません。ユーザー環境からの信号は、コントローラーを経由してプリンターに出力されます。



コントローラーとプリンター間で定義しているサブネットに含まれる IP アドレス（11.xxx.xxx.xxx）がユーザーの環境に存在すると、コントローラーは信号を出力するときに、どちら側に信号を出していいのかわかりません。



この場合は、プリンターとコントローラーの接続設定を変更する必要があります。プリンターの設定の変更は「IPSi0 SP8400 使用説明書」の「2. 本機のセットアップ」の「ネットワークの設定」を、コントローラーの設定の変更は「第2章 2.13 プリンター接続設定」をそれぞれ参照してください。

目次

安全な仕様のために

はじめに

安全上の注意事項

出荷時のネットワーク設定

ネットワーク設定に変更が必要な場合

1章 コントローラー設置手順

1. 1	各部名称.....	1-2
1. 2	電源のOFF/ON.....	1-3
1. 3	IPアドレス設定法.....	1-4

2章 Web設定

2. 1	初期画面.....	2-2
2. 2	印刷状況.....	2-7
2. 3	接続状況.....	2-7
2. 4	管理者.....	2-7
2. 5	共通/エミュレーション項目.....	2-8
2. 6	共通項目.....	2-9
2. 7	LPR5250.....	2-10
2. 8	LPR.....	2-12
2. 9	LPR5250個別設定.....	2-12
2. 10	TN5250E.....	2-14
2. 11	ネットワーク項目.....	2-16
2. 12	パスワード変更.....	2-17
2. 13	プリンター接続設定.....	2-18
2. 14	外字登録.....	2-20
2. 15	印刷管理.....	2-21
2. 16	保守項目.....	2-22
2. 17	電源管理.....	2-24
2. 18	印刷ログ.....	2-25
2. 19	接続ログ.....	2-25
2. 20	イベントログ.....	2-26
2. 21	テスト印刷.....	2-27

3章 TCP/IP接続

3. 1	TCP/IP接続の説明.....	3-2
3. 1. 1	TCP/IPの設定および確認.....	3-2
3. 2	Windowsからの印刷.....	3-3
3. 2. 1	WindowsでのLPRポートの使用方法.....	3-4
3. 3	IBMiからのLPR5250接続印刷.....	3-10
3. 3. 1	出力待ち行列作成.....	3-10
3. 3. 2	プリンターの起動.....	3-11
3. 3. 3	接続テスト.....	3-11
3. 3. 4	印刷装置の機能設定.....	3-12
3. 3. 5	印刷時の注意.....	3-12

3. 4	I B M i からの T N 5 2 5 0 E 接続印刷	3-13
3. 4. 1	I B M i の確認	3-14
3. 4. 2	プリンターの設定	3-14
3. 4. 3	接続	3-15
3. 4. 4	印刷時の注意	3-15
3. 5	I B M i からの外字印刷	3-15
3. 5. 1	L O D P P W コマンドを使用して外字を登録する方法	3-16
3. 5. 2	W i n d o w s の外字エディタで外字を作成し登録する方法	3-18
3. 6	S N M P の設定	3-22
3. 7	K e e p - A l i v e 機能の設定	3-22
3. 8	W i n d o w s からの印刷を中止する場合	3-23
3. 9	T N 5 2 5 0 E からの印刷を中止する場合	3-23
3. 1 0	L P R 5 2 5 0 からの印刷を中止する場合	3-24
3. 1 1	インバリットコマンドの処理	3-24
3. 1 2	インバリットコードの処理	3-24

4 章 拡張コマンド

4. 1	拡張コマンドの概要	4-2
4. 2	文字スケールの設定・解除	4-3
4. 3	バーコード印字の初期設定	4-5
4. 4	バーコード印字の設定	4-7
4. 5	O C R - B フォントの設定・解除	4-10
4. 6	印刷方向指定	4-10
4. 7	印刷モード	4-10
4. 8	強制用紙排出	4-11
4. 9	排紙オプション指定	4-11
4. 1 0	文字テーブル設定	4-12
4. 1 1	給紙元トレイ切替え	4-12
4. 1 2	片面／両面設定	4-12
4. 1 3	カスタマバーコード（郵便バーコード）印字の設定	4-13
4. 1 4	QRコード印字の初期設定	4-14
4. 1 5	QRコード印字の設定	4-15
4. 1 6	C V S バーコード印刷	4-16

第5章 付録

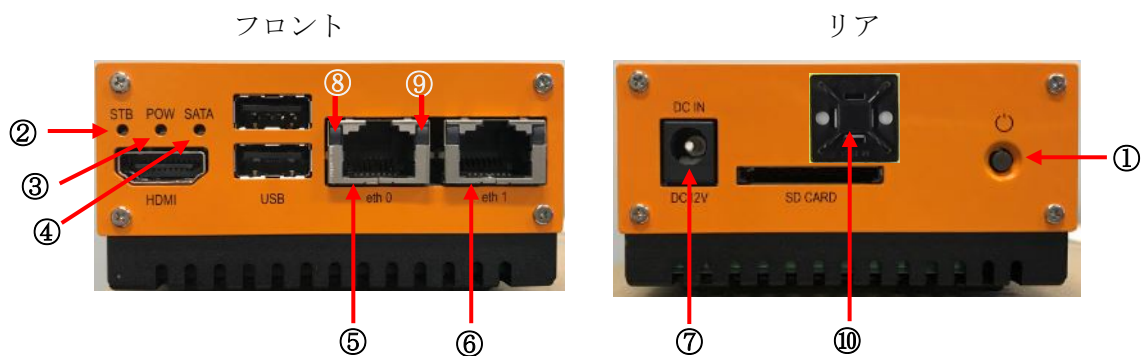
5. 1	パンチ・ステープルについて	5-2
5. 1. 1	ステープル	5-2
5. 1. 2	パンチ	5-3
5. 2	印字可能範囲	5-4
5. 3	印字可能行数	5-7
5. 4	L P R ポートの追加	5-11

第1章 コントローラー設置手順

KEL CC60RM

1. 1	各部名称.....	1-2
1. 2	電源のOFF/ON.....	1-3
1. 3	IPアドレス設定法.....	1-4

1.1 各部名称



No.	名称	機能
①	電源スイッチ	電源のON/OFFを行います。
②	STB-LED (赤)	電源供給後、点灯します。
③	POW-LED (緑)	電源ON後、点灯します。
④	SATA-LED (橙)	コントローラー内で、データの処理中に点灯します。
⑤	LAN コネクタ (eth0)	ネットワーク側に接続する Gigabit に対応した LAN コネクタです。故障の恐れがありますので、LAN ケーブル以外は接続しないでください。
⑥	LAN コネクタ (eth1)	プリンター側へ接続する LAN コネクタです。故障の恐れがありますので、LAN ケーブル以外は接続しないでください。
⑦	電源コネクタ	DC-12V を給電します。故障の恐れがありますので、付属の AC アダプタ以外は接続しないでください。
⑧	LAN速度ランプ	1000Mbps で橙色点灯、100Mbps で緑色点灯、10Mbps で消灯します。
⑨	LANリンク/動作ランプ	リンク確立中に点灯、データ転送中に点滅します。
⑩	ケーブルクランプベース	電源ケーブル抜け防止用のケーブルクランプベースです。

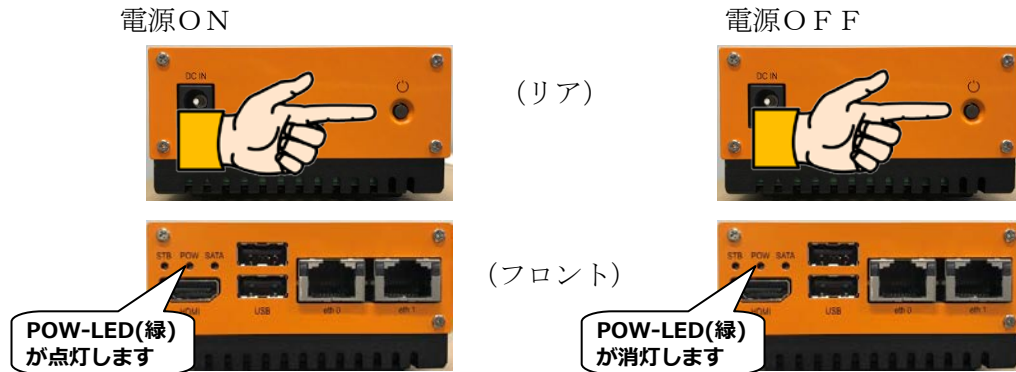
【注意】 ・以下のコネクタはCC60RMで使用しません。故障の原因となったり、正常動作の妨げとなったりしますので、何も接続しないでください。

- HDMI コネクタ
- USB コネクタ

1. 2 電源のOFF/ON

電源をONにする場合は、電源ケーブルが正しく接続されている事を確認し、電源スイッチを押します。POW-LED（緑）が点灯します。

電源をOFFにする場合は、CC60RMからプリンターへ印刷中もしくはプリンターがデータ受信中には無いことを確認して、プリンターの電源をOFFにしてから約20秒置いてCC60RMの電源スイッチを押して電源をOFFにします。





<補足>

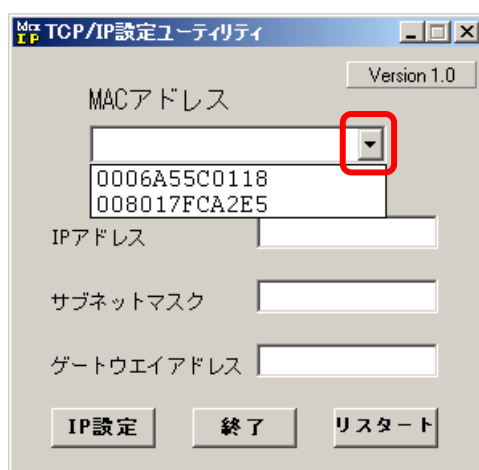
- CC60RMは、プリンターの電源OFFを検知して、TN5250E、LPR5250セッションの切断処理および終了処理を行います。約20秒はこの処理にかかる時間です。
- 電源をOFFにする場合は、電源スイッチを押しっぱなし(5秒以上)にしないでください。強制終了してしまいます。強制終了すると、CC60RM内部のファイルが破損し、正常に動作しなくなる恐れがあります。
- 同様に、電源をOFFにするのにACアダプタを引き抜かないでください。
- 電源OFFは、Web画面からも可能です。「2. 17 電源管理」を参照してください。
- 電源スイッチを押してから、電源OFFまで約30秒かかります。
- 電源スイッチを押してから、立ち上がるまで約1分かかります。

1.3 IPアドレス設定法

CC60RMのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスは、付属のサポートCDにあるKEL_IP_Setup.exeを使用して設定します。

- 【注意】
- ・CC60RMと同一セグメントにあるPCから起動してください。
 - ・作業時はWindowsのファイアウォールを無効にしてください。

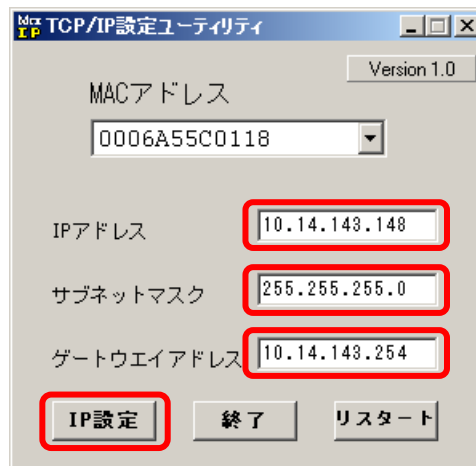
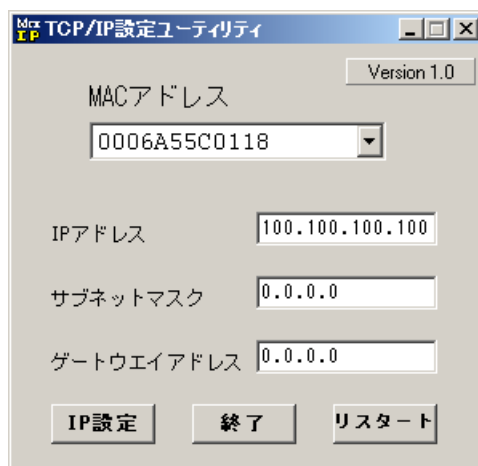
- 1) PCへサポートCDをセットします。CDをセットしたドライブ直下のUTILITYディレクトリにKEL_IP_Setup.exeがある事を確認します。
- 2) KEL_IP_Setup.exeの  アイコン、もしくはファイル自体をダブルクリックして、KEL_IP_Setup.exeを起動します。
- 3) MACアドレス右端の  ボタンを押すと、起動したPCと同じサブネットマスク内にある、CC60RMのMACアドレスが表示されます。IPアドレスを設定する装置のMACアドレスをクリックします。



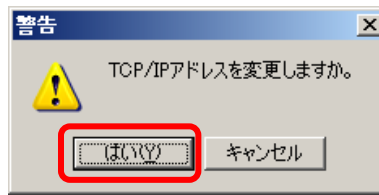
<補足>

- ・CC60RMのMACアドレスは、コントローラー前面に貼付のシールで確認できます。

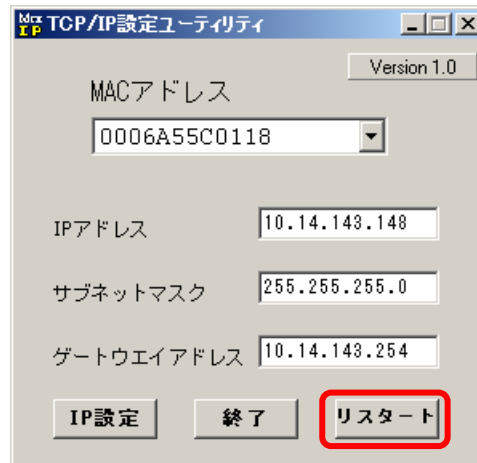
- 3) IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを“.”で区切り入力します。設定が完了したら、**IP設定**ボタンをクリックします。



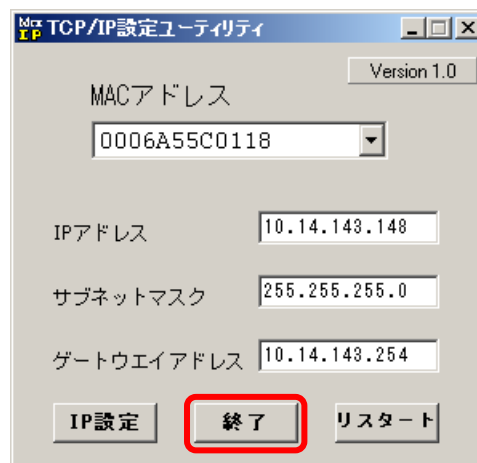
- 4) 設定変更を警告するダイアログボックスが表示されます。**はい(Y)**ボタンをクリックします。



- 5) **リスタート**ボタンをクリックしてください。CC60RMが設定したIPアドレスで再起動します。



- 6) これでCC60RMのIPアドレス設定は完了しました。**終了**ボタンをクリックしてKEL_IP_Setup.exeを終了させます。



<補足>

- IPアドレスを設定して通信が確立できれば、IPアドレスはWebブラウザからも変更可能です。「第2章 Web設定」を参照してください。
- 引き続き、第2章、第3章を参照してIBM i および印刷するプリンターの設定を行ってください。

このページは、白紙となっています。

第2章

Web設定

KEL CC60RM

2. 1	初期画面.....	2-2
2. 2	印刷状況.....	2-7
2. 3	接続状況.....	2-7
2. 4	管理者.....	2-7
2. 5	共通/エミュレーション項目.....	2-8
2. 6	共通項目.....	2-9
2. 7	LPR5250.....	2-10
2. 8	LPR.....	2-12
2. 9	LPR5250個別設定.....	2-12
2. 10	TN5250E.....	2-14
2. 11	ネットワーク項目.....	2-16
2. 12	パスワード変更.....	2-17
2. 13	プリンター接続設定.....	2-18
2. 14	外字登録.....	2-20
2. 15	印刷管理.....	2-21
2. 16	保守項目.....	2-22
2. 17	電源管理.....	2-24
2. 18	印刷ログ.....	2-25
2. 19	接続ログ.....	2-25
2. 20	イベントログ.....	2-26
2. 21	テスト印刷.....	2-27

2. 1 初期画面

Webブラウザを起動し、アドレスバーにCC60RMのIPアドレスを入力します。
 (DNSサーバーやhostsファイルに登録されている場合は、その名前を入力してください)

初期画面では、現在のプリンターの状況と、LPR5250とTN5250Eセッション1の【印刷項目】の設定変更の画面が表示されます。

【注意】・この画面はプリンターの最新状況を表示するために、10秒毎に自動的に再読み込み動作を行っています。



【プリンターステータス】

項目	解説
ステータス	現在のプリンターステータスを表示します。 ステータスには以下の種類があります。 <ul style="list-style-type: none"> ・初期化中 ・オンライン ・オフライン ・一時停止 ・復旧可能エラー ・復旧不能エラー ・アラーム ・シャットダウン
状態	現在のプリンターステータスの状況を表示します。 上段：プリンターステータスの状態(印刷中/印刷待ち/エラーの詳細など) 下段：現在接続中のセッション名 TN5250E接続の印刷中ジョブは、 取消 ボタンをクリックすると、現在印刷中のジョブを取消することができます。詳しくは「3.9 TN5250Eからの印刷を中止する場合」を参照してください。

【5250共通設定項目】

この画面の【印刷項目】の設定が、LPR5250とTN5250Eセッション1の2つのセッションの共通設定となります。

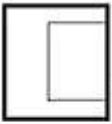







- 【注意】
- ・下部の**リセット**をクリックすると、変更前の状態に戻ります。
 - ・設定が完了後、**実行**をクリックして、設定値を反映させてください。
 - ・下部の**初期化の実行**をクリックすると、出荷時の状態に戻ります。

項目	解説
給紙元指定	給紙するトレイを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・トレイ1 ・トレイ2 ・トレイ3 ・トレイ4 ・大量給紙トレイ ・手差し デフォルト値：トレイ1 【注意】 未装着のオプションは表示されません。
排紙先指定	排紙先を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・本体トレイ ・フィニッシャ上トレイ ・フィニッシャシフトトレイ ・プリントポストトレイ1～4 デフォルト値：本体トレイ 【注意】 オプション未装着時は、設定に関わらず本体トレイから排紙されます。また、この設定に関わらず、“パンチ”または“ステープル”の設定をした際は、フィニッシャシフトトレイに排紙されます。
印刷方向	ランドスケープ/ポートレートを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ランドスケープ(横)：長辺を上で印刷 ・ポートレート(縦)：短辺を上で印刷 デフォルト値：ランドスケープ(横)

印刷モード	<p>下記4種類のモードから選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100% ・75% ・SF→B4 縮小 ・SF→A4 縮小 <p>デフォルト値：100%</p> <p>【注意】SF はストックフォームの略称で、11×15インチの用紙サイズを表します。</p>
自動トレイ切替	<p>給紙しているトレイの用紙がなくなった時、他のトレイに同一サイズ、同一方向の用紙があるか探します。見つければ、自動的に切り換わり印刷を継続します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OFF ・ON <p>デフォルト値：OFF</p> <p>【注意】セパレータとして、色紙を使用している場合は、「IPSi0 SP 8400 使用説明書」の「5. 本機の設定と管理」内の「初期設定を変更する」および「システム初期設定」→「用紙設定」を参照してトレイ4を自動用紙選択の対象から外してください。</p>
上マージン (ランドスケープ/横)	<p>ランドスケープで印刷する際の上マージンの設定を行います。</p> <p>設定範囲：5mm～99mm</p> <p>デフォルト値：5mm</p>
左マージン (ランドスケープ/横)	<p>ランドスケープで印刷する際の左マージンの設定を行います。</p> <p>設定範囲：5mm～99mm</p> <p>デフォルト値：5mm</p>
上マージン (ポートレート/縦)	<p>ポートレートで印刷する際の上マージンの設定を行います。</p> <p>設定範囲：5mm～99mm</p> <p>デフォルト値：5mm</p>
左マージン (ポートレート/縦)	<p>ポートレートで印刷する際の左マージンの設定を行います。</p> <p>設定範囲：5mm～99mm</p> <p>デフォルト値：5mm</p>
複写枚数	<p>複写枚数の設定をします。設定された枚数をページ毎に複写します。</p> <p>設定範囲：1～99 枚</p> <p>デフォルト値：1 枚</p>
両面印刷指定	<p>片面印刷／両面印刷を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・片面印刷 ・両面印刷 <p>デフォルト値：片面印刷</p>

パンチ

パンチ穴をあけるか設定します。パンチ穴の位置は下図の通りです。

カセットへの用紙セット方向	印刷方向	上/左	右
	タテ (ポートレート)		
	ヨコ (ランドスケープ)		
	タテ (ポートレート)		
	ヨコ (ランドスケープ)		

- ・上/左
- ・右

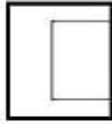









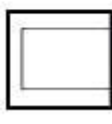









デフォルト値：なし

【注意】フィニッシャ（オプション）が未装着の場合はこの設定は無視されます。

パンチできる用紙の仕様は「IPSi0 SP 8400 使用説明書」の「7. 保守/仕様」内の「3000 枚フィニッシャの仕様」を参照してください。

ステープル

ステープルをするか設定します。ステープルの位置は下図の通りです。

カセットへの用紙セット方向	印刷方向	斜め	1ヶ所水平1	1ヶ所水平2	2ヶ所水平1	2ヶ所水平2
	タテ (ポートレート)					
	ヨコ (ランドスケープ)					
	タテ (ポートレート)					
	ヨコ (ランドスケープ)					

- ・斜め
- ・1カ所水平1
- ・1カ所水平2
- ・2カ所水平1
- ・2カ所水平2

デフォルト値：なし

【注意】フィニッシャ（オプション）が未装着の場合はこの設定は無視されます。

ステープルできる用紙の仕様は「IPSi0 SP 8400 使用説明書」の「7. 保守/仕様」内の「3000 枚フィニッシャの仕様」を参照してください。

<p>とじ方 (ランドスケープ/横)</p>	<p>ランドスケープに設定されている時に、印刷用紙のとじ方向を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上をとじる ・左をとじる ・右をとじる <p>デフォルト値：上をとじる</p> <p>【注意】穴あき用紙を使用する場合は、用紙のセット方向を確認してください。</p>
<p>とじしろ (ランドスケープ/横)</p>	<p>ランドスケープに設定されている時に、“とじ方”で設定されたとじ方向に用紙をとじるために必要な余白を設定します。余白部分の量は固定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし ・あり <p>デフォルト値：なし</p>
<p>とじ方 (ポートレート/縦)</p>	<p>ポートレートに設定されている時に、印刷用紙のとじ方向を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上をとじる ・左をとじる ・右をとじる <p>デフォルト値：上をとじる</p> <p>【注意】穴あき用紙を使用する場合は、用紙のセット方向を確認してください。</p>
<p>とじしろ (ポートレート/縦)</p>	<p>ポートレートに設定されている時に、“とじ方”で設定されたとじ方向に用紙をとじるために必要な余白を付加するか否かを設定します。余白部分の量は固定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし ・あり <p>デフォルト値：なし</p>
<p>網掛けライン</p>	<p>印刷データ同一行を見やすくするために、1行おきに網掛けをします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OFF ・ON <p>デフォルト値：OFF</p> <p>【注意】網掛けの高さは、送られてきた行ピッチコマンドに基づきます。</p>
<p>ジョブ終了処理</p>	<p>ジョブ終了時に初期化をするか指定を行います。「しない」にすると、以下の指定が次のジョブに継承されます。 (給紙元・排紙先・パンチ・ステーブル・印刷方向・印刷モード・両面印刷指定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しない ・する <p>デフォルト値：する</p>

2. 2 印刷状況

Web画面左側の「印刷状況」をクリックすると、プリンターの印刷状況を表示します。印刷中のセッション、印刷待ちのセッション名、状況、送信元IPアドレス、ユーザー名、ファイル名等を表示します。

【注意】 ・この画面は最新状況を表示する為に、10秒毎に自動的に再読み込み動作を行っています。

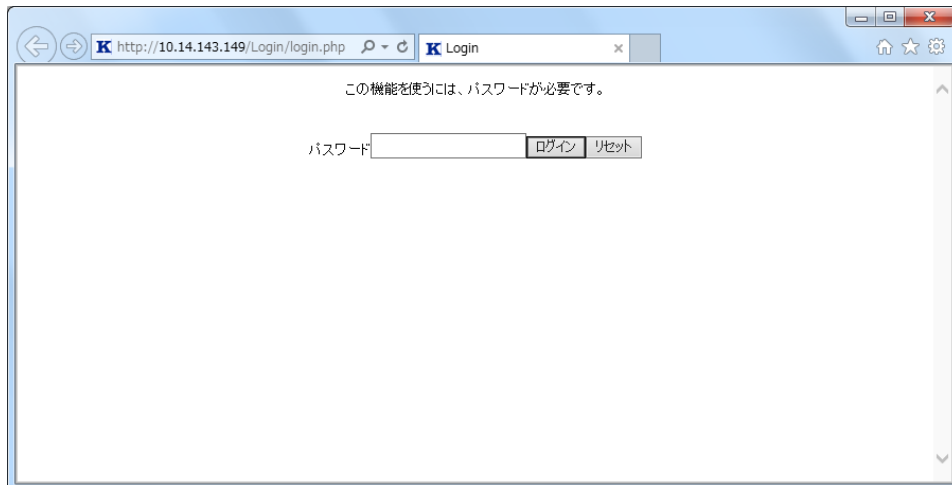
2. 3 接続状況

Web画面左側の「接続状況」をクリックすると、プリンターの接続状況を表示します。各エミュレーション、各セッションの接続状況を表示します。

2. 4 管理者

プリンターの各種設定を行う場合、「管理者」をクリックします。管理者にはパスワードが必要になります。パスワードを入力してログインをクリックしてください。

【注意】 ・パスワードは出荷時、“kanematsu”となっています。
・この機能を使用する場合は、クッキーを有効にしてください。クッキーが無効の設定もしくはクッキーに対応していないブラウザではログインすることはできません。



2.5 共通/エミュレーション項目

各エミュレーションの一覧が表示されます。LPR5250/LPR接続では、セッション名とキュー名が一緒に表示され、TN5250Eセッションでは、プロトコルの有効/無効とデバイス名が表示されます。

ここで、共通項目と各セッションをクリックすることで、各種設定へ進むことができます。



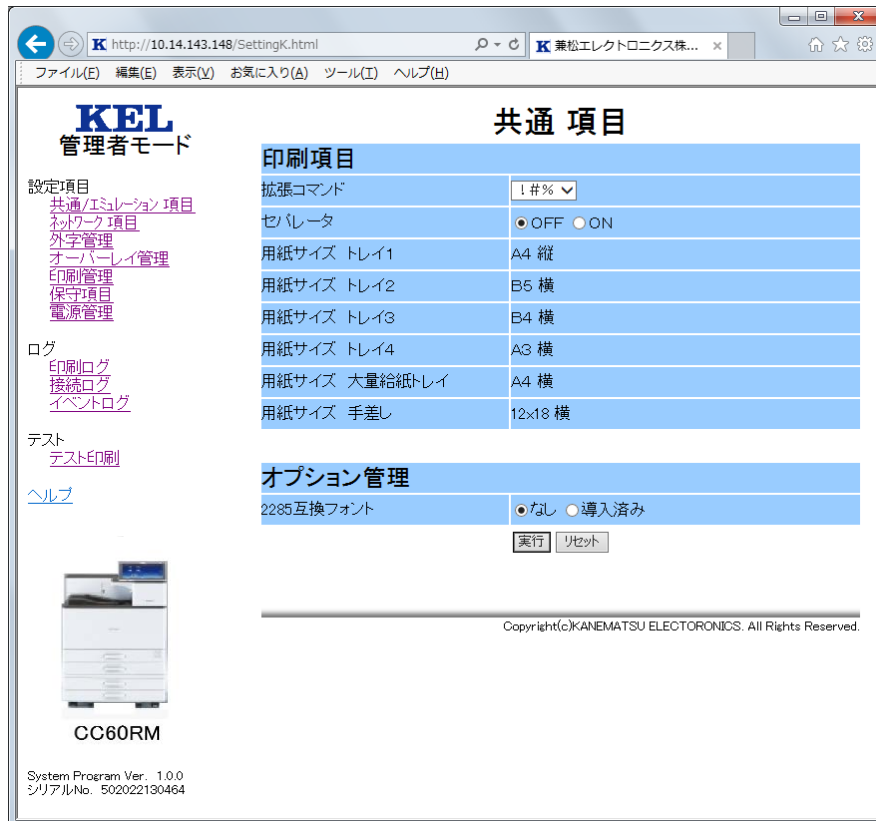
【共通/エミュレーション項目】

項目	解説
共通項目	共通項目にリンクし、全般的な印刷や動作に関する共通項目の設定を行います。
LPR5250	LPR5250 で設定されているキュー名を表示します。 LPR5250 にリンクし、各種設定を行います。
LPR	LPR で設定されているキュー名を表示します。 LPR にリンクし、キュー名を変更することができます。
LPR5250 個別設定	LPR5250 接続で、アウトキュー名を変えることで、印刷や動作を変えることができます。 LPR5250 個別設定にリンクすると、16パターンのアウトキュー別の設定ができます。
TN5250E	TN5250E 30セッションのプロトコルの有効/無効とホストIPアドレス/デバイス名が表示されます。 各セッションにリンクし、各種設定を行います。

2. 6 共通項目

共通/エミュレーション項目の [共通項目] をクリックすると、全般的な印刷に関する共通設定項目に移動します。

- 【注意】
- ・下部の **リセット** をクリックすると、変更前の状態に戻ります。
 - ・設定を完了後、**実行** をクリックして、設定値を反映させてください。



【印刷項目】

項目	解説
拡張コマンド	LPR5250、TN5250E 接続時、拡張コマンドの仕様を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・OFF：拡張コマンドは無効です。 ・!#%：文字列 !#% をESCとして扱います。 ・!@&：文字列 !@& をESCとして扱います。 デフォルト値：OFF
セパレータ	セパレータはトレイ4にトレイ1～3のいずれかと同一サイズの用紙を設定すると、ジョブ開始時にトレイ4からセパレータ用紙を1枚挿入します。 <ul style="list-style-type: none"> ・OFF ・ON デフォルト値：OFF 【注意】 セパレータを使用する際は、「IPSi0 SP 8400 使用説明書」の「5. 本機の設定と管理」内の「初期設定を変更する」および「システム初期設定」→「用紙設定」を参照してトレイ4を自動用紙選択の対象から外してください。 セパレータ機能を使用する際は2段給紙テーブルが必要です。
用紙サイズ	各トレイに入っている用紙のサイズを表示します。

【オプション管理】

項目	解説
2285 互換フォントの導入の有無	2285 互換フォントが導入済みで、そのフォントを使用する場合は、導入済みを選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> なし 導入済み デフォルト値：なし

2.7 LPR5250

共通/エミュレーション項目の [LPR5250] をクリックし、各種設定を行います。

- 【注意】
- 下部のリセットをクリックすると、変更前の状態に戻ります。
 - 設定が完了後、実行をクリックして、設定値を反映させてください。
 - 下部の初期化の実行をクリックすると、出荷時の状態に戻ります。



【ネットワーク項目】

項目	解説
キュー名	LPR5250 接続をする際のキュー名を指定してください。 【注意】 1～18文字の A～Z、0～9 と、+、;、[、¥、]を除く記号が使用できます。

【印刷項目】

LPR5250の【印刷項目】の設定は、初期画面で行います。各設定項目の詳細は、初期画面の【5250共通設定項目】を参照してください。この画面では、設定値の表示のみ行います。

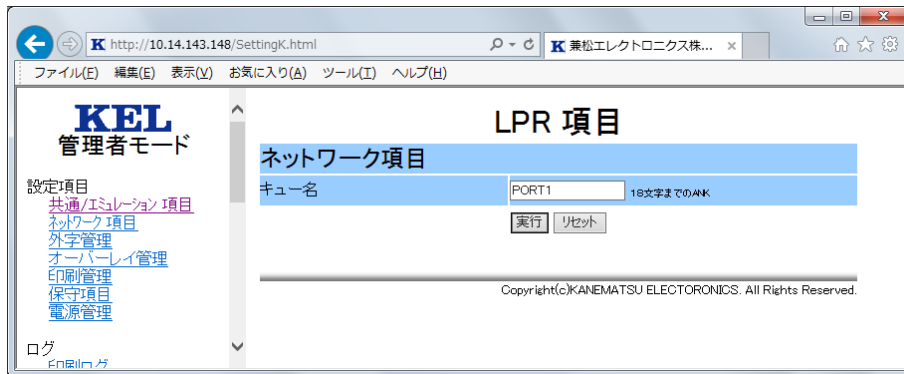
【エミュレーション項目】

項目	解説
漢字フォント	漢字のフォントを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ・明朝 ・ゴシック デフォルト値：明朝
ANK フォント	ANK のフォントを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ・明朝 ・ゴシック ・OCR-B ・エリート ・ターリエ デフォルト値：明朝
ANK テーブル	ANK テーブルを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ・英数カナ ・英数小文字 ・英数カナ拡張 ・英数小文字拡張 デフォルト値：英数カナ
SI/SO	漢字モードを表す SI/SO 制御コードが、文字拡大指定範囲に含まれた場合、SI/SO 制御コードを拡大修飾するか選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ・拡大する ・しない デフォルト値：拡大する
外字オプション	外字でロゴ等を作成した場合、フォント間にスペースが発生しないように外字を拡大します。 <ul style="list-style-type: none"> ・OFF ・ON デフォルト値：OFF
外字	外字ファイルを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ・なし ・登録した外字ファイル名 デフォルト値：なし 【注意】 外字ファイルを登録していない場合、プルダウンメニューには「なし」しか表示されません。 外字ファイルの登録は、外字管理画面もしくは LODPPW で行います。

2. 8 L P R

共通/エミュレーション項目の [L P R] をクリックし、各種設定を行います。

- 【注意】
- ・ 下部の **リセット** をクリックすると、変更前の状態に戻ります。
 - ・ 設定が完了後、**実行** をクリックして、設定値を反映させてください。
 - ・ 通常は変更する必要はありません。

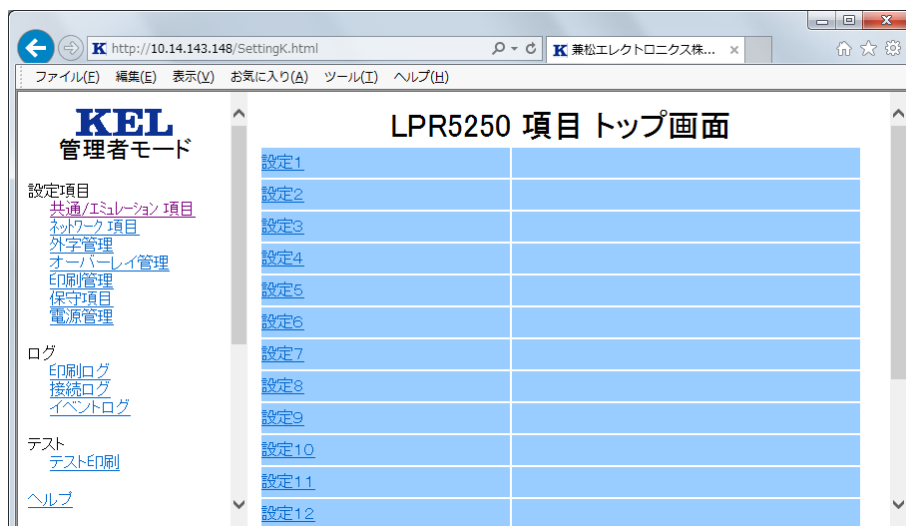


【ネットワーク項目】

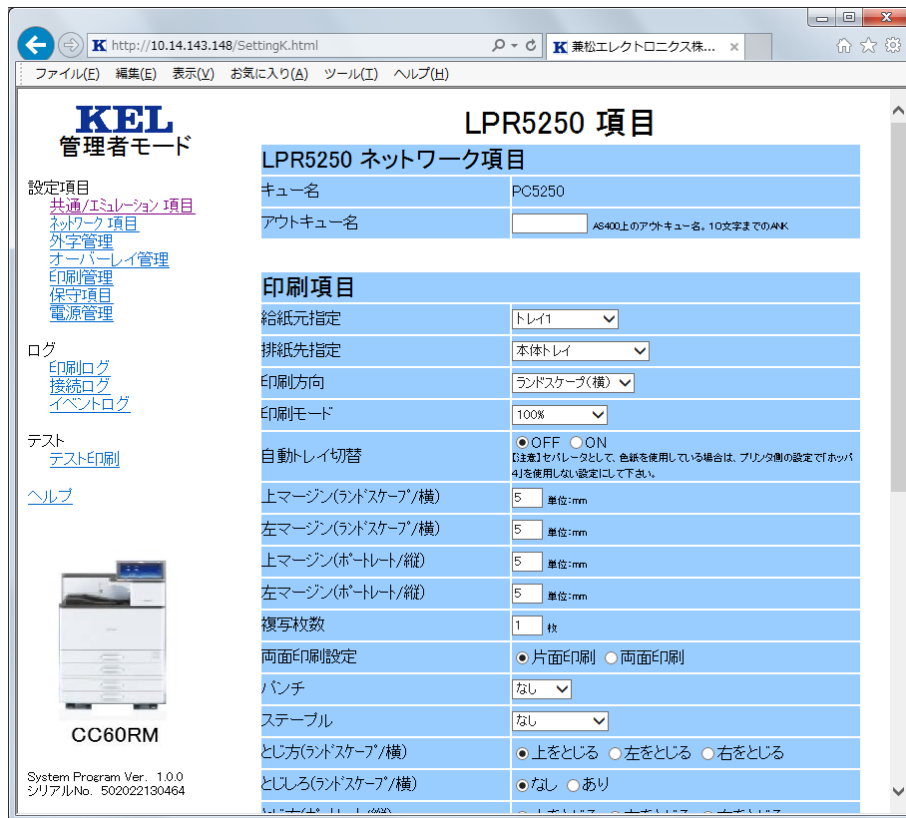
項目	解説
キュー名	LPR 接続をする際のキュー名を指定してください。 デフォルト値：PORT1 【注意】 1～18 文字の A～Z、0～9、の英数字と、+、;、[、¥、]を除く記号が使用できます。

2. 9 L P R 5 2 5 0 個別設定

L P R 5 2 5 0印刷で、I B M i 上にアウトキュー（印刷待ち行列）を分けて作成し、C C 6 0 R M上にそのアウトキュー名を設定することで、プリンターの動作（両面印刷やマージン等）を切替えて印刷することができます。この機能を使用する場合、アウトキュー別に各種設定を行う必要があります。登録できる個別設定は、最大16個です。各個別設定は、共通/エミュレーション項目の [L P R 5 2 5 0 個別設定] をクリックし、表示された画面(下図)で設定番号(設定1～16)にリンクして各種設定を行います。



- 【注意】
- ・下部の **リセット** をクリックすると、変更前の状態に戻ります。
 - ・設定が完了後、 **実行** をクリックして、設定値を反映させてください。
 - ・下部の **初期化の実行** をクリックすると、出荷時の状態に戻ります。



【LPR5250 ネットワーク項目】

項目	解説
キュー名	LPR5250の【ネットワーク項目】で設定したキュー名が表示されます。
アウトキュー名	IBM i 上のアウトキュー名を設定します。半角英数字で最大 10 文字まで指定できます。 【使用可能文字】 1 文字目 : A~Z、@、#、\$ 2 文字目以降 : A~Z、0~9、@、#、\$、_、.

【印刷項目】

各設定項目の詳細は、初期画面の【5250 共通設定項目】を参照してください。

【エミュレーション項目】

各設定項目の詳細は、LPR5250の【エミュレーション項目】を参照してください。

2. 10 TN5250E

TN5250Eは、30セッションの定義が可能です。各セッションは、共通/エミュレーション項目の [TN5250E SessionXX] をクリックして各種設定を行います。

- 【注意】
- ・下部の **リセット** をクリックすると、変更前の状態に戻ります。
 - ・設定が完了後、**実行** をクリックして、設定値を反映させてください。
 - ・下部の **初期化の実行** をクリックすると、出荷時の状態に戻ります。



【TN5250E ネットワーク項目】

項目	解説
有効/無効	選択している TN5250E セッションを有効にする設定をします。 <ul style="list-style-type: none"> ・有効：有効にします。 ・無効：無効にします。 デフォルト値：無効 【注意】 無効を設定している場合、パラメータの設定がされていても使用できません。
ホスト IP アドレス	TN5250E 接続する IBM i の IP アドレスを設定します。 デフォルト値：0.0.0.0 【注意】 デフォルト値の場合、有効/無効の設定にかかわらず無効として扱われます。
デバイス名	印刷装置のデバイス名を定義します。半角英数字で最大 10 文字まで指定できます。 【使用可能文字】 1 文字目 : A~Z、@、#、\$ 2 文字目以降 : A~Z、0~9、@、#、\$、_、.
ポート番号	TCP/IP のポート番号を指定します。 設定範囲：1 ~ 65,535 デフォルト値：23

自動接続	<p>ホストから切断要求がきて一度切断したのち、プリンター側から自動的に接続要求を発行するように設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・する : 接続要求を発行する。 ・しない : 接続要求を発行しない。 <p>デフォルト値 : しない</p>
メッセージ待ち行列	<p>プリンターの操作メッセージが送られる先の待ち行列の名前を設定します。半角英数字で最大 10 文字まで指定できます。</p> <p>メッセージ待ち行列はディスプレイ装置ごとに存在します。ディスプレイ装置自身と同じ名前が割り当てられます。</p> <p>ここで、ディスプレイ・セッションの名前を指定した場合には、そのディスプレイ・セッションに送られます。</p> <p>【使用可能文字】</p> <p>1 文字目 : A~Z、@、#、\$</p> <p>2 文字目以降 : A~Z、0~9、@、#、\$、_、.</p> <p>デフォルト値 : QSYSOPR</p>
メッセージライブラリ	<p>メッセージ待ち行列が入っているライブラリーの名前を設定します。半角英数字で最大 10 文字まで指定できます。</p> <p>【使用可能文字】</p> <p>1 文字目 : A~Z、@、#、\$</p> <p>2 文字目以降 : A~Z、0~9、@、#、\$、_、.</p> <p>デフォルト値 : *LIBL</p>
Keep-Alive 周期	<p>Keep-Alive パケットを発行する周期を設定します。</p> <p>設定範囲 : 0 ~ 60 分</p> <p>デフォルト値 : 0 (発行しない)</p>
Keep-Alive タイムアウト	<p>設定した値により、以下の動作を行います。</p> <p>【0 秒】</p> <p>Keep-Alive パケットとして、Nop を発行します。</p> <p>Keep-Alive パケットを発行後、60 秒を経過しても応答がないと、セッションを切断します。</p> <p>その後自動接続設定に応じて再接続を行います。</p> <p>【1 ~ 3600 秒】</p> <p>Keep-Alive パケットとして、Timing-Mark を発行します。Keep-Alive パケットを発行後、設定時間(秒)経過しても応答がないと、セッションを切断します。</p> <p>その後自動接続設定に応じて再接続を行います。</p> <p>デフォルト値 : 0</p>

【印刷項目】

各設定項目の詳細は、初期画面の【5250 共通設定項目】を参照してください。

【注意】・TN5250Eセッション1の【印刷項目】は初期設定画面から行います。

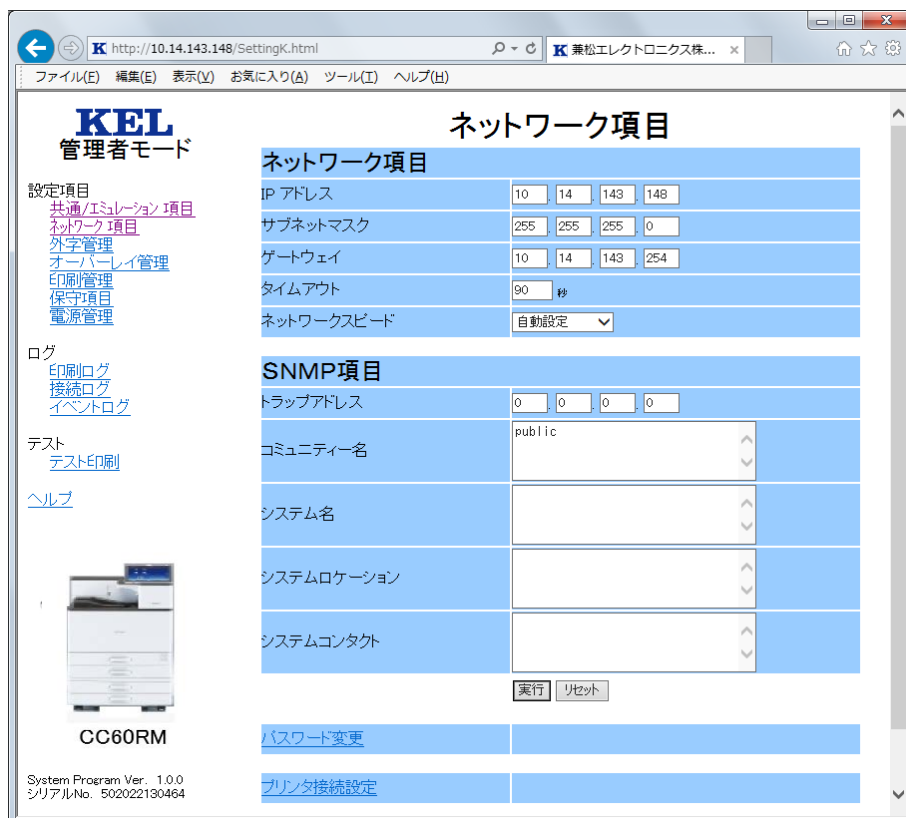
【エミュレーション項目】

各設定項目の詳細は、LPR5250の【エミュレーション項目】を参照してください。

2. 1 1 ネットワーク項目

[ネットワーク項目] をクリックすると、プリンターのネットワーク項目の設定に移動します。

- 【注意】
- ・下部の **リセット** をクリックすると、変更前の状態に戻ります。
 - ・設定が完了後、 **実行** をクリックして、設定値を反映させてください。



【ネットワーク項目】

項目	解説
IP アドレス	プリンターの IP アドレスを設定します。 【注意】 変更後、 実行 をクリックするとリブートします。
サブネットマスク	プリンターのサブネットマスクを設定します。 【注意】 変更後、 実行 をクリックするとリブートします。
ゲートウェイ	プリンターのゲートウェイアドレスを設定します。 【注意】 変更後、 実行 をクリックするとリブートします。
タイムアウト	印刷中のデータ途切れを監視する時間を設定します。 データが途切れて設定時間を経過した場合、通信を切断します。 設定範囲：0 (タイムアウトなし) ～ 3600 秒 デフォルト値：90 秒
ネットワークスピード	イーサネットの回線速度を選択します。 ・自動設定 ・10Mbps 固定 ・100Mbps 固定 デフォルト値：自動設定

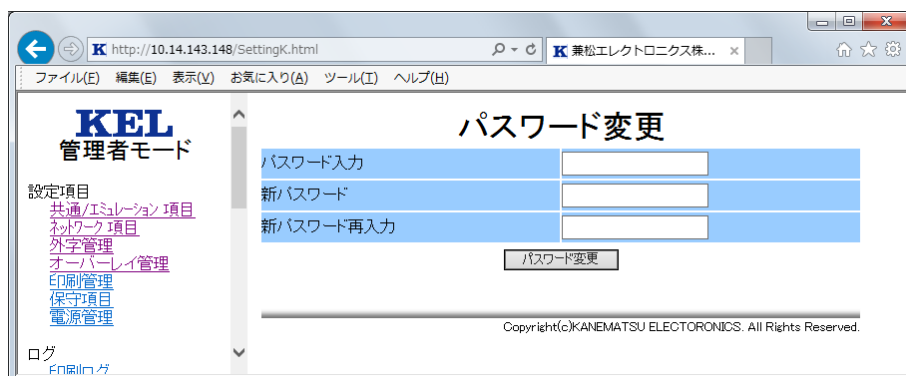
【SNMP】

項目	解説
トラップアドレス	イベント通知をするアドレスを設定します。 デフォルト値：0.0.0.0 (0.0.0.0でSNMP無効)
コミュニティ名	管理用コミュニティ名を設定します。最大256文字まで指定できます。 デフォルト値：Public
システム名	必要に応じてノードに付けられた管理上の名前を設定します。最大256文字まで指定できます。 デフォルト値：空白
システムロケーション	必要に応じて物理的な位置情報を設定します。最大256文字まで指定できます。 デフォルト値：空白
システムコンタクト	必要に応じて管理者に関する名前や連絡先情報などを設定します。最大256文字まで指定できます。 デフォルト値：空白

2. 1.2 パスワード変更

【パスワード変更】をクリックすると管理者でログインする時のパスワードを変更することができます。

【注意】・変更を完了後、**パスワード変更**をクリックして、変更を反映させてください。



【パスワード変更】

項目	解説
パスワード入力	現在設定されているパスワードを入力します。 デフォルト値：kanematsu
新パスワード	新しいパスワードを半角英数字で入力します。 【使用可能文字】A～Z、a～z、0～9、_ 【有効文字数】4文字以上16文字以下
新パスワード再入力	確認用に新しいパスワードを再入力します。

2. 1.3 プリンター接続設定

【プリンター接続設定】をクリックすると、プリンターとコントローラー間の通信設定を行うことができます。

通常は出荷時の状態から変更する必要はありません。変更が必要かどうかは、次ページの「【参照】プリンター接続設定に変更が必要な場合」を参照してください。

プリンター接続設定を変更する場合には、プリンター側のインターフェース設定もあわせて変更する必要があります。「IPSiO SP 8400 使用説明書」の「5. 本機の設定と管理」内の「初期設定を変更する」および「システム初期設定」→「インターフェース設定」を参照してください。

- 【注意】
- ・下部の **リセット** をクリックすると、変更前の状態に戻ります。
 - ・設定が完了後、 **実行** をクリックして、設定値を反映させてください。

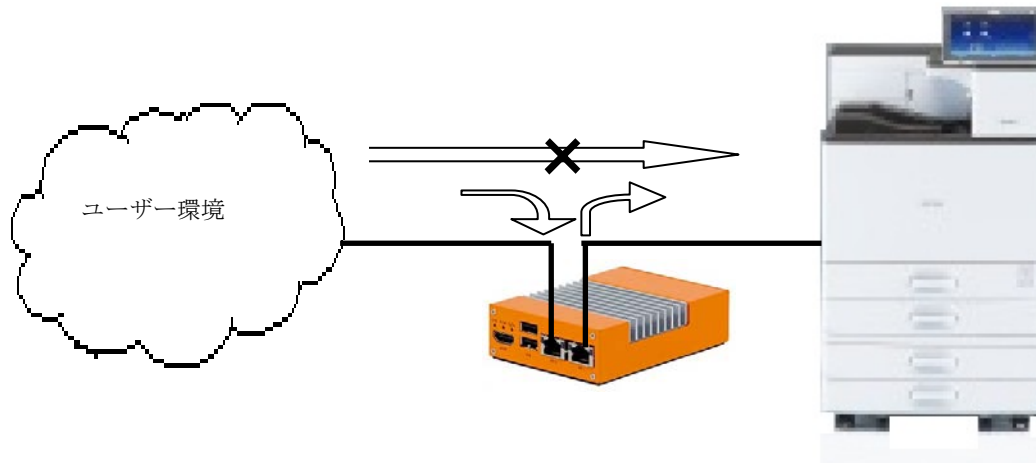


【プリンター接続設定項目】

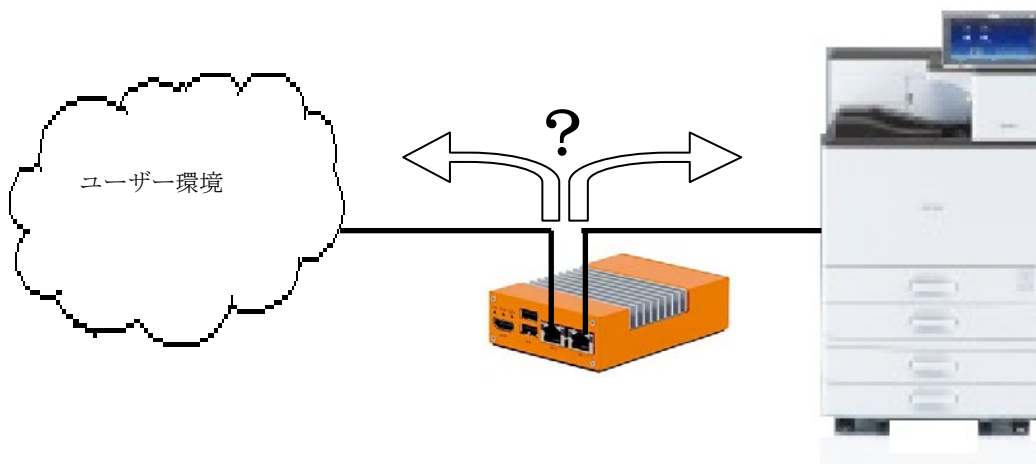
項目	解説
コントローラーIPアドレス	コントローラーとプリンター間で通信する為に使用するコントローラーのIPアドレスを設定します。 デフォルト値：11.22.33.46
コントローラーサブネットマスク	コントローラーとプリンター間で通信する為に使用するコントローラーのサブネットマスクを設定します。 デフォルト値：255.0.0.0
プリンターIPアドレス	コントローラーとプリンター間で通信する為に使用するプリンターのIPアドレスを設定します。 デフォルト値：11.22.33.45

【参照】プリンター接続設定に変更が必要な場合

コントローラーは、プリンターとコントローラー間のネットワークをユーザーの環境から隠していますので（ルーティングしていない）、ユーザーの環境から、直接このネットワークが見えることはありません。ユーザー環境からの信号は、コントローラーを経由してプリンターに出力されます。



コントローラーとプリンター間で定義しているサブネットに含まれるIPアドレス（011.xxx.xxx.xxx）がユーザーの環境に存在すると、コントローラーは信号を出力するときに、どちら側に信号を出していいのかわかりません。



この場合は、プリンターとコントローラーの接続設定を変更する必要があります。

2. 1 4 外字登録

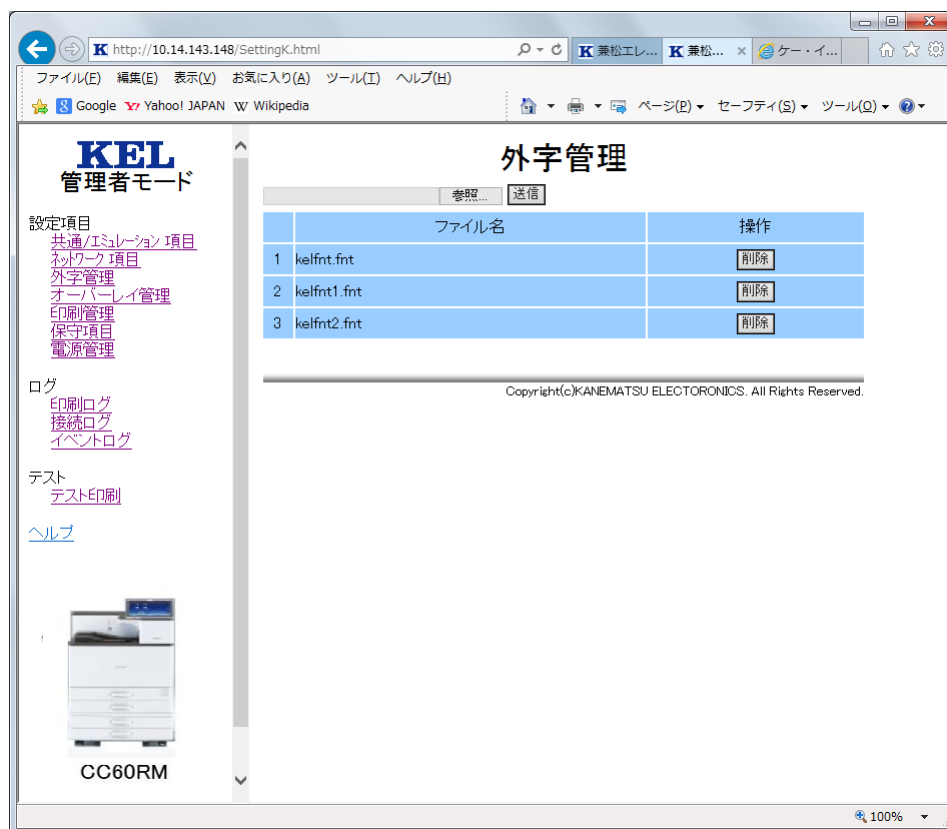
[外字管理] をクリックすると、外字管理に移動します。外字管理では、登録されている外字ファイルを一覧表示します。

新規に外字ファイルを登録する場合は、**参照...** をクリックし、作成した外字ファイルを選択し、その後**送信** をクリックします。

外字ファイルを削除する時は、ファイル名の右側にある**削除** をクリックします。

また、IBM i より LODPPW を使用して登録することもできます。
詳しくは「3. 5 IBM i からの外字印刷」を参照してください。

【注意】 ・外字ファイル名には、英数文字以外使用できません。



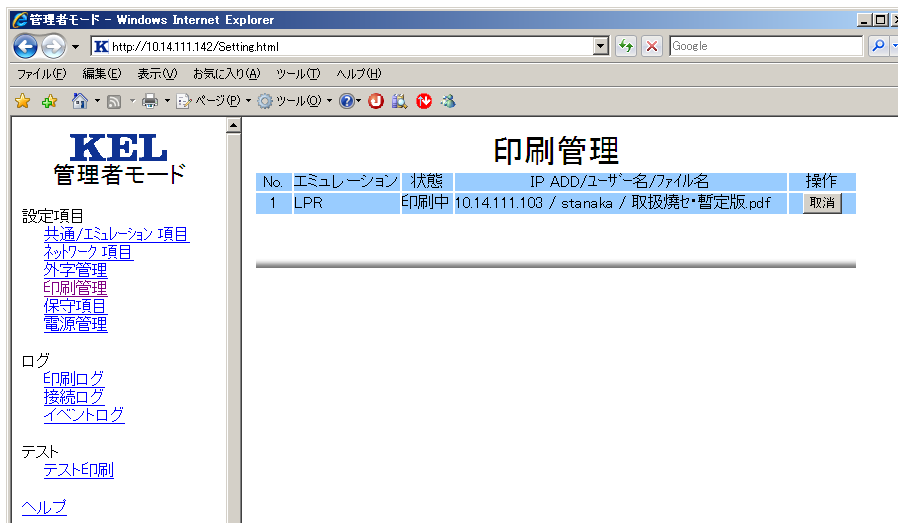
2. 1.5 印刷管理

[印刷管理] をクリックすると、印刷中あるいは印刷待ち状態の表示に移動します。

取消ボタンは、TN5250E接続の印刷の取り消しに使用します。詳しくは「3. 9 TN5250Eからの印刷を中止する場合」を参照してください。

その他の接続の取り消し手順については、「3. 8 Windowsからの印刷を中止する場合」、「3. 10 LPR5250からの印刷を中止する場合」を参照してください。

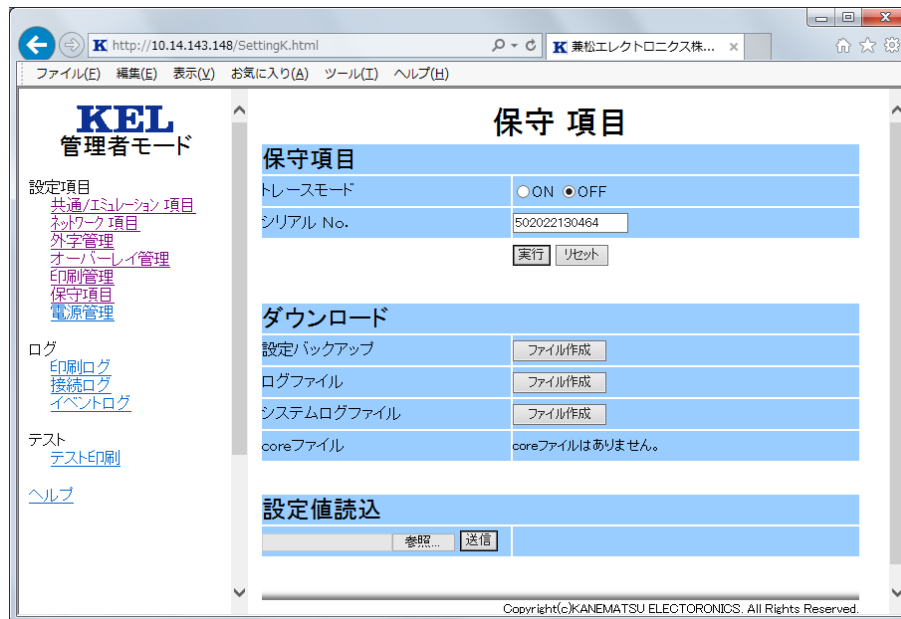
【注意】 ・この画面表示は最新の状態表示をするため、10秒毎に自動的に再読み込み動作を行っています。



2. 1 6 保守項目

[保守項目] をクリックすると、プリンターの保守を行うための設定に移動します。印刷に障害が発生した時の調査の為に各種データの採取設定やデータの Download、設定値のバックアップ/リストアを行います。

- 【注意】
- ・下部の **リセット** をクリックすると、変更前の状態に戻ります。
 - ・設定が完了後、 **実行** をクリックして設定を反映してください。



【保守項目】

項目	解説
トレースモード	<p>障害が発生した時、調査をするためにホスト・コンピュータから送られてきたデータを採取します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ON : 採取します。 ・ OFF : 採取しません。 <p>デフォルト値 : OFF</p> <p>採取したトレースデータが、コントローラー上に存在する場合は、ファイル作成 ボタンと日時が表示されます。 ファイル作成 ボタンをクリックすると、ブラウザ上から Download できる形に変換され、[Download] のリンクと作成した日時が表示されます。 [Download] のリンクをクリックして、ローカルディスクに保存します。</p> <p>【注意】 コントローラーの電源 OFF あるいはリブートすることで、トレースデータは消去されます。</p>
シリアル No.	CC60RMのシリアル No. を登録します。

【ダウンロード】

設定バックアップ	<p>設定値と外字ファイルのバックアップを作成します。</p> <p>ファイル作成ボタンをクリックすると、現在設定されている設定値と登録外字をブラウザ上から Download できる形に変換して、[Download]のリンクと作成した日時が表示されます。</p> <p>[Download]のリンクをクリックして、ローカルディスクにバックアップファイルを保存します。</p>
ログファイル	<p>障害が発生した時、調査をするために、コントローラーのエラーログを採取するために使用します。</p> <p>ファイル作成ボタンをクリックすると、エラーログがブラウザ上から Download できる形に変換され、[Download]のリンクと作成した日時が表示されます。</p> <p>[Download]のリンクをクリックして、ローカルディスクにログファイルを保存します。</p>
システムログファイル	<p>障害が発生した時、調査をするために、コントローラーのシステムログを採取するために使用します。</p> <p>ファイル作成ボタンをクリックすると、システムログがブラウザ上から Download できる形に変換され、[Download]のリンクと作成した日時が表示されます。</p> <p>[Download]のリンクをクリックして、ローカルディスクにシステムログファイルを保存します。</p>
core ファイル	<p>障害が発生した時、調査をするために、コントローラーの core ファイルを採取するために使用します。</p> <p>ファイル作成をクリックすると、core ファイルがブラウザ上から Download できる形に変換され、[Download]のリンクと作成した日時が表示されます。</p> <p>[Download]のリンクをクリックして、ローカルディスクに core ファイルを保存します。</p> <p>【注意】 core ファイルはコントローラーの電源を OFF/ON しないと、最新の状態になりません。core ファイルを作成する前に必ず電源を OFF/ON してください。</p>

【設定値読込】

設定値読込	<p>設定値と外字ファイルをバックアップファイルからリストアします。</p> <p>参照...ボタンをクリックしてローカルディスクからバックアップファイルを選択し、送信ボタンでコントローラーへ送信します。</p> <p>正常に送信が完了すると、リストアボタンと送信した日時が表示されます。</p> <p>リストアボタンをクリックすると、設定値と外字ファイルがリストアされます。</p> <p>【注意】 リストアが完了すると、コントローラーは自動的にリブートします。</p>
-------	--

2. 1 7 電源管理

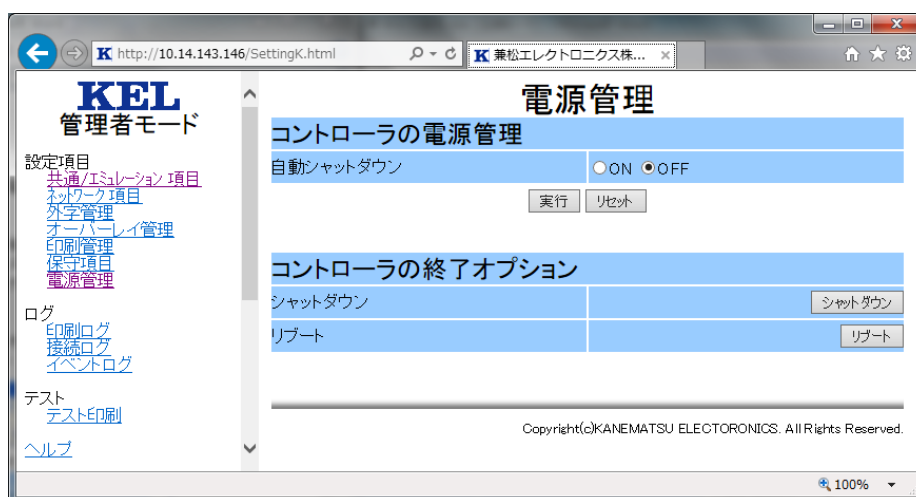
「電源管理」をクリックすると、コントローラーの電源管理に移動します。自動シャットダウンの設定がデフォルト設定 (OFF) では、プリンター本体の電源をオフにしてもコントローラーの電源はオフになりません。自動シャットダウンの設定を ON にするとプリンター本体の電源オフでコントローラーの電源はオフになります。

設定をOFFとすると、コントローラーの電源はオフになりません。保守等でコントローラーの電源をオフにする場合は、印刷中もしくはデータ受信中で無いことを確認して、プリンター本体の電源をオフにしてから約20秒置いて「シャットダウン」スイッチを押してコントローラーの電源をオフにします。

<補足>

- ・コントローラーは、プリンター本体の電源オフを検知して、TN5250E, LPR5250セッションの切断処理および終了処理を行います。約20秒はこの処理にかかる時間です。
- ・スイッチで電源をオフする方法は、「1. 2 電源OFF/ON」を参照してください。

コントローラーをリポートしたい場合は、「電源管理」をクリックしてコントローラーの電源管理に移動し、「リポート」ボタンをクリックすることで、コントローラーはリポートします。



2. 1 8 印刷ログ

[印刷ログ]をクリックすると、印刷したジョブのログ表示に移動します。
印刷ログを全て消去するには、**印刷ログ消去**をクリックしてください。

No.	エミュレーション	IP ADDR / ユーザー名 / ファイル名	開始時刻	終了時刻	ページカウント
1	LPR	10.14.143.122 / XTX12 / シェルプログラムム.txt	2015-03-16 15:34:47	2015-03-16 15:34:51	-
2	LPR	10.14.143.122 / XTX12 / ルネ設定②.150119.xlsx	2015-03-16 11:37:57	2015-03-16 11:38:02	-
3	LPR	10.14.143.122 / XTX12 / 2480_042.doc	2015-03-16 11:21:43	2015-03-16 11:21:49	-
4	LPR	10.14.143.122 / XTX12 / ページ	2015-03-13 14:44:37	2015-03-13 14:44:41	-
5	LPR	10.14.143.122 / XTX12 / ページ	2015-03-13 14:42:46	2015-03-13 14:42:49	-
6	LPR	10.14.143.122 / XTX12 / ページ	2015-03-13 14:41:04	2015-03-13 14:41:08	-
7	LPR	10.14.143.122 / XTX12 / ページ	2015-03-13 14:39:57	2015-03-13 14:39:01	-
8	LPR	10.14.143.122 / XTX12 / ページ	2015-03-13 14:37:00	2015-03-13 14:37:05	-
9	LPR	10.14.143.123 / habe / Pattern_sin30.ps	2015-03-12 15:41:46	2015-03-12 15:41:46	-
10	LPR	10.14.143.127 / XTX12 / ラベルコマンド.pdf	2015-03-12 09:46:51	2015-03-12 09:46:55	-
11	LPR	10.14.143.127 / XTX12 / ラベルコマンド.pdf	2015-03-12 09:26:50	2015-03-12 09:27:04	-
12	LPR	10.14.143.127 / XTX12 / ラベルコマンド.pdf	2015-03-12 09:26:37	2015-03-12 09:26:42	-
13	LPR	10.14.143.113 / habe / n30_タイトルデータ.txt	2015-03-10 10:08:57	2015-03-10 10:08:57	-
14	LPR	10.14.143.113 / habe / n30_タイトルデータ.txt	2015-03-10 10:08:16	2015-03-10 10:08:30	-
15	LPR	10.14.143.113 / habe / n30_タイトルデータ.txt	2015-03-10 10:07:27	-	-
16	LPR	10.14.143.113 / habe / n30_タイトルデータ.txt	2015-03-10 10:00:11	2015-03-10 10:00:15	-
17	LPR	10.14.143.113 / habe / (無題)	2015-03-09 15:00:00	2015-03-09 15:00:00	-

2. 1 9 接続ログ

[接続ログ]をクリックすると、通信関係のエラーやメッセージ表示に移動します。
接続ログを全て消去するには、**接続ログ消去**をクリックしてください。

No.	エミュレーション	メッセージ	開始時刻	終了時刻
1	LPR5250	LPDセッション異常終了	2015-03-02 10:44:45	2015-03-02 10:44:45
2	LPR5250	5250データエラー インバリットパラメータ	2015-02-26 17:56:00	2015-02-26 17:56:00
3	LPR	controller (<) printer wait NULL : timeout	2015-02-26 15:50:08	2015-02-26 15:50:08
4	LPR	controller (<) printer wait NULL : timeout	2015-02-26 15:49:58	2015-02-26 15:49:58
5	LPR	controller (<) printer wait NULL : timeout	2015-02-26 15:34:00	2015-02-26 15:34:00
6	LPR	controller (<) printer wait NULL : timeout	2015-02-26 15:33:50	2015-02-26 15:33:50
7	LPR	controller (<) printer wait NULL : timeout	2015-02-26 15:33:40	2015-02-26 15:33:40
8	LPR	controller (<) printer wait NULL : timeout	2015-02-26 15:06:53	2015-02-26 15:06:53
9	LPR	controller (<) printer wait NULL : timeout	2015-02-26 15:06:43	2015-02-26 15:06:43
10	LPR	controller (<) printer wait NULL : timeout	2015-02-26 15:06:33	2015-02-26 15:06:33
11	LPR	controller (<) printer wait NULL : timeout	2015-02-26 14:43:47	2015-02-26 14:43:47
12	LPR	controller (<) printer wait NULL : timeout	2015-02-26 14:43:37	2015-02-26 14:43:37
13	LPR	controller (<) printer wait NULL : timeout	2015-02-26 14:29:38	2015-02-26 14:29:38
14	LPR	controller (<) printer wait NULL : timeout	2015-02-26 14:29:28	2015-02-26 14:29:28
15	LPR	controller (<) printer wait NULL : timeout	2015-02-26 14:29:18	2015-02-26 14:29:18
16	TN5250#1	controller (<) printer wait NULL : timeout	2015-02-25 16:04:09	2015-02-25 16:04:09
17	TN5250#1	controller (<) printer wait NULL : timeout	2015-02-25 16:03:59	2015-02-25 16:03:59

2.20 イベントログ

[イベントログ] をクリックすると、プリンターで発生したエラーやメッセージの表示に移動します。

イベントログを消去する場合は、**イベントログ消去**をクリックしてください。

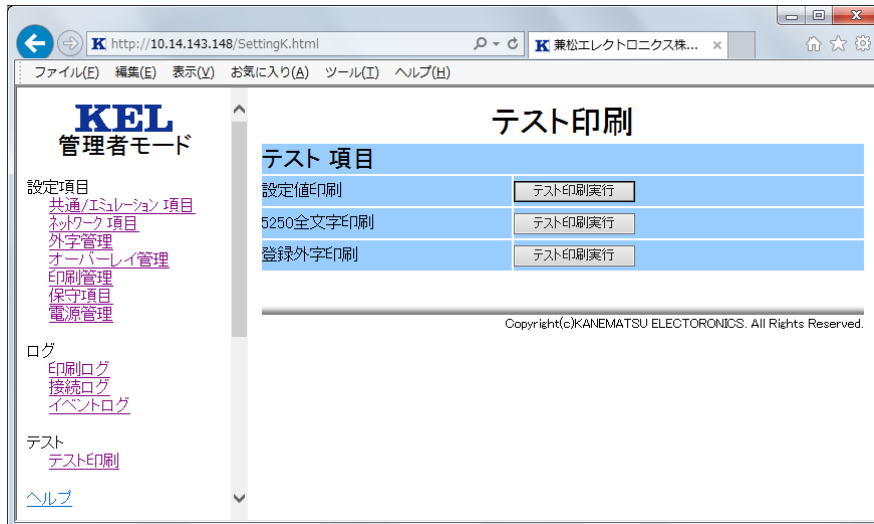
The screenshot shows the 'イベントログ' (Event Log) page in the printer's web interface. The browser address bar shows 'http://10.14.143.148/SettingK.html'. The page title is 'イベントログ' and it is in '管理者モード' (Administrator Mode). A 'イベントログ消去' (Clear Event Log) button is visible in the top right corner of the table area.

No.	メッセージ	発生時刻
1	用紙サイズエラー [47204]	2015-03-13 14:45:08
2	オフライン [10002]	2015-03-13 14:45:08
3	セット不良:トレイ 1 [12201]	2015-03-13 14:45:08
4	セット不良:大量給紙トレイ [30150]	2015-03-13 14:45:08
5	用紙サイズ・用紙種類エラー [45004]	2015-03-13 14:44:46
6	セット不良:トレイ 1 [12201]	2015-03-13 14:44:46
7	セット不良:大量給紙トレイ [30150]	2015-03-13 14:44:46
8	用紙サイズ・用紙種類エラー [45004]	2015-03-13 14:42:54
9	セット不良:トレイ 1 [12201]	2015-03-13 14:42:54
10	セット不良:大量給紙トレイ [30150]	2015-03-13 14:42:54
11	用紙なし:選択されているトレイ [41004]	2015-03-02 15:15:46
12	用紙なし:大量給紙トレイ [13000]	2015-03-02 15:15:46
13	用紙なし:選択されているトレイ [41315]	2015-02-27 15:32:59
14	用紙なし:大量給紙トレイ [13000]	2015-02-27 15:32:59
15	用紙なし:トレイ 2 [13300]	2015-02-27 15:32:59
16	用紙なし:トレイ 2 [13300]	2015-02-27 13:43:28
17	用紙つまり:給紙トレイ [42000]	2015-02-27 13:43:28
18	用紙つまり:給紙トレイ [42008]	2015-02-27 13:43:28
19	用紙なし:大量給紙トレイ [13000]	2015-02-27 13:43:28
20	用紙なし:選択されているトレイ [41315]	2015-02-27 10:08:03
21	用紙なし:トレイ 2 [13300]	2015-02-27 10:08:03
22	用紙なし:大量給紙トレイ [13000]	2015-02-27 10:08:03
23	用紙なし:選択されているトレイ [41315]	2015-02-27 10:01:14
24	用紙なし:トレイ 2 [13300]	2015-02-27 10:01:14
25	用紙なし:大量給紙トレイ [13000]	2015-02-27 10:01:14
26	用紙なし:選択されているトレイ [41315]	2015-02-27 09:54:10
27	用紙なし:トレイ 2 [13300]	2015-02-27 09:54:09
28	用紙なし:大量給紙トレイ [13000]	2015-02-27 09:54:09
29	用紙なし:選択されているトレイ [41004]	2015-02-26 16:43:26
30	オフライン [10002]	2015-02-26 16:43:26
31	用紙なし:大量給紙トレイ [13000]	2015-02-26 16:43:26
32	セット不良:給紙トレイ [41300]	2015-02-26 16:41:48

2. 2 1 テスト印刷

現在設定されている設定値や、5250の全文字印刷、登録した外字の印刷を行うには、**[テスト印刷]**をクリックします。

- 【注意】
- ・通常の印刷中ではないことを確認してから実施してください。
 - ・各テスト項目の**テスト印刷実行**をクリックすると、印刷を開始します。



項目	解説
設定値印刷	現在の設定値を印刷します。
5250 全文字印刷	5250 エミュレーションの全文字印刷を印刷します。
登録外字印刷	LPR5250 セッションに登録した外字を印刷します。 「2. 1 4 外字登録」で複数の外字を登録している場合には、印刷したい外字を LPR5250 セッションに登録してからテスト印刷を行います。

このページは、白紙となっています。

第3章

TCP/IP接続

KEL CC60RM

3. 1	TCP/IP接続の説明.....	3-2
3. 1. 1	TCP/IPの設定および確認.....	3-2
3. 2	Windowsからの印刷.....	3-3
3. 2. 1	WindowsでのLPRポートの使用方法.....	3-4
3. 3	IBMiからのLPR5250接続印刷.....	3-10
3. 3. 1	出力待ち行列作成.....	3-10
3. 3. 2	プリンターの起動.....	3-11
3. 3. 3	接続テスト.....	3-11
3. 3. 4	印刷装置の機能設定.....	3-12
3. 3. 5	印刷時の注意.....	3-12
3. 4	IBMiからのTN5250E接続印刷.....	3-13
3. 4. 1	IBMiの確認.....	3-14
3. 4. 2	プリンターの設定.....	3-14
3. 4. 3	接続.....	3-15
3. 4. 4	印刷時の注意.....	3-15
3. 5	IBMiからの外字印刷.....	3-15
3. 5. 1	LODPPWコマンドを使用して外字を登録する方法.....	3-16
3. 5. 2	Windowsの外字エディタで外字を作成し登録する方法.....	3-18
3. 6	SNMPの設定.....	3-22
3. 7	Keep-Alive機能の設定.....	3-22
3. 8	Windowsからの印刷を中止する場合.....	3-23
3. 9	TN5250Eからの印刷を中止する場合.....	3-23
3. 10	LPR5250からの印刷を中止する場合.....	3-24
3. 11	インバリットコマンドの処理.....	3-24
3. 12	インバリットコードの処理.....	3-24

3. 1 TCP/IP接続の説明

CC60RMは、LPR接続による印刷、およびIBM iからのTN5250E接続、LPR5250による印刷が可能です。

以下のエミュレーションで印刷することができます。

プロトコル	キュー名	エミュレーション
LPR	port1	PostScript
LPR5250	pc5250	5250
TN5250E	—	

- 【注意】
- ・エミュレーションに合ったプロトコルを選択する必要があります。
 - ・印刷は、接続順(早い者勝ち)となります。
 - ・LPRおよびLPR5250接続では、複数のホストから印刷起動がかかっている場合、印刷データの作り方によって印刷ジョブの間に別ホストからの印刷が入ってしまう事があります。

3. 1. 1 TCP/IPの設定および確認

CC60RMがネットワークに正しく接続されている必要があります。

以下の手順にしたがって、設定および確認をしてください。

1) TCP/IPの設定

「第1章 1. 3 IPアドレス設定法」を参照してください。

- ・IPアドレス
- ・マスクアドレス
- ・ゲートウェイ

2) 接続テスト (ping)

CC60RMにむけてpingコマンドを発行し、IPアドレスなどの設定が正しく行われていることを確認してください。

- 【注意】
- ・pingに失敗した場合、IPアドレスが正しいか調べてください。

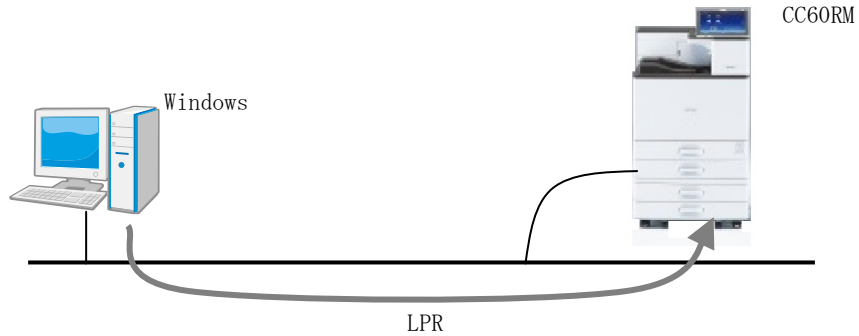
3) 各種設定

「第2章 Web設定」を参照し、必要な項目の設定をWebから行います。IBM iとのTN5250E接続などの設定を行います。

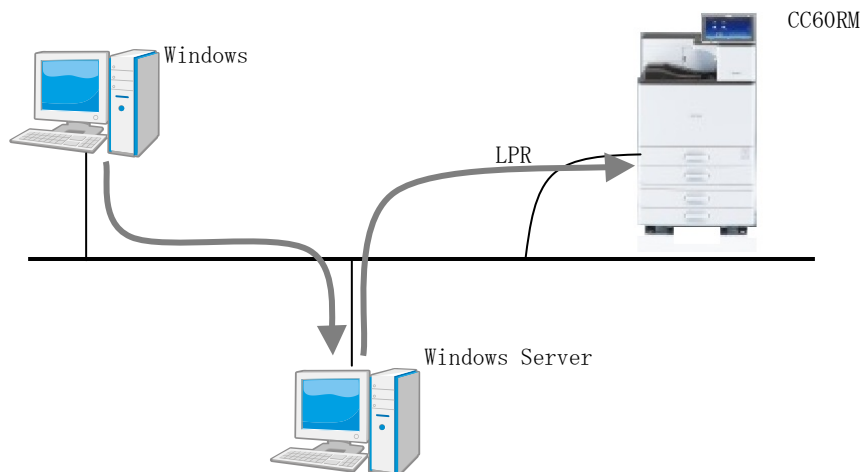
3.2 Windowsからの印刷

Windowsからの印刷では、Windowsの印刷ポートを使用して直接に印刷する方法と、クライアントからサーバーを経由して、ネットワークプリンターとして印刷する方法があります。

(1) Windowsの印刷ポートを使用する



(2) プリントサーバーを使用する



3.2.1 WindowsでのLPRポートの使用方法

Windowsに標準でインストールされている”Standard TCP/IP ポート”は、最後の印刷データを送ってから90秒以内に印刷完了しないと、印刷に失敗したと見なして印刷データが再送される仕様となっています。そのため、1つの印刷ジョブを繰り返し印刷する場合があります。

ここでは、LPRポートモニターを使用する方法について解説します。

事前に「5.4 LPRポートの追加」を参照してLPRポートモニターをインストールしてください。

プリンタードライバーは、リコーホームページから**PostScript 用**をダウンロードして頂く必要があります。

ドライバーをダウンロードするには、リコーのホームページで IPSi0 SP 8400 を選択し、お使いのOSを選択してください。

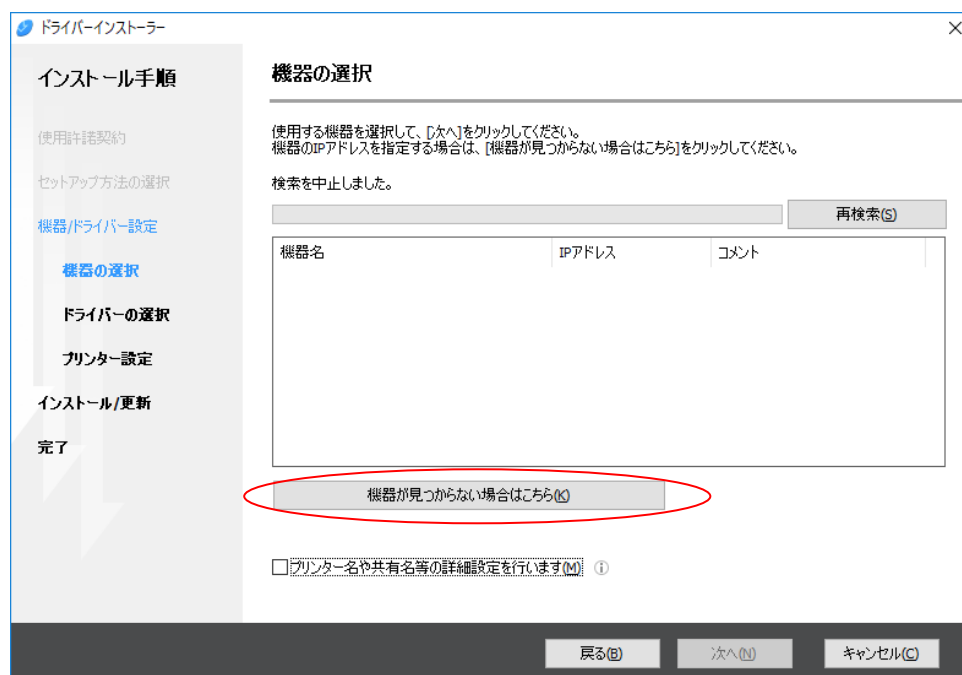
(<http://www.ricoh.co.jp/download/index.html>)

プリンタードライバーのインストール方法は、「IPSi0 SP 8400 使用説明書」やドライバー付属のドキュメントを参照してください。

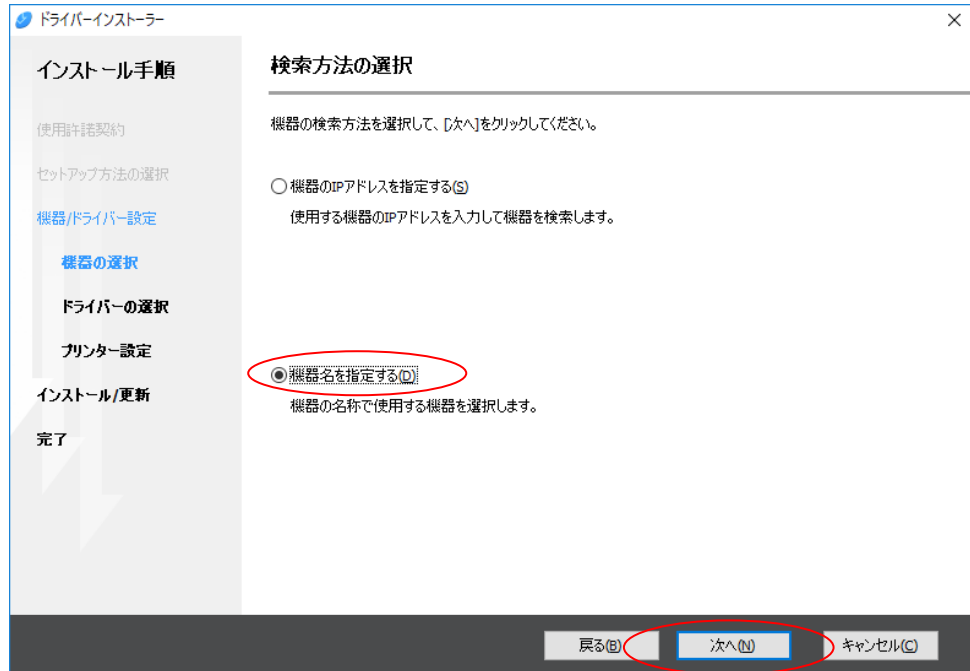
ここでは、CC60RMとして使用する際の変更部分を解説します。

(1) プリンターおよびポートの追加

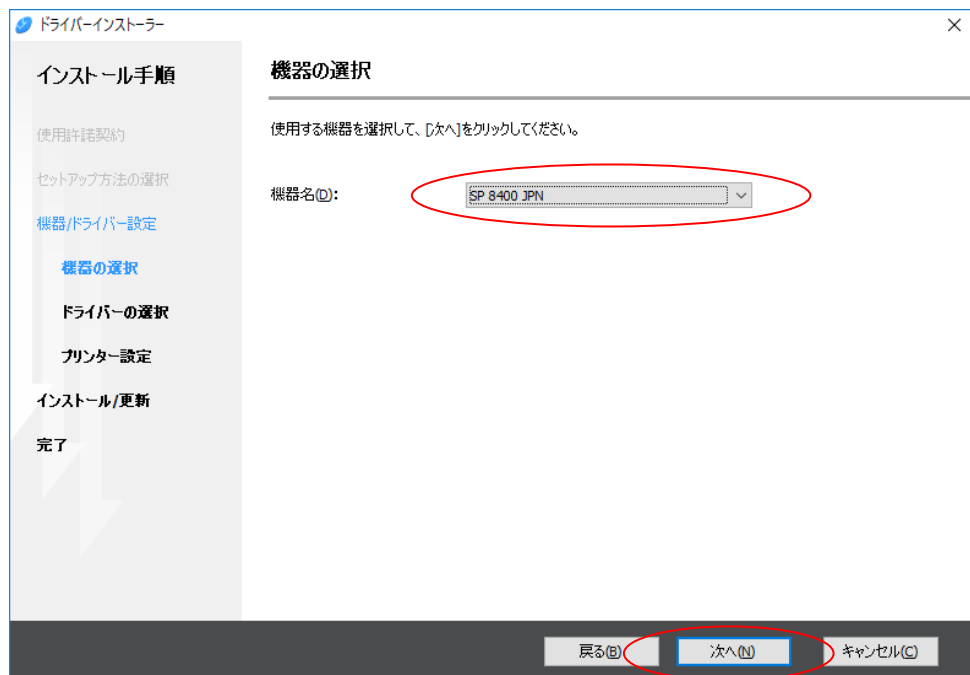
- 1) すべてのアプリケーションを終了します。
- 2) ドライバー付属のドキュメントに従い、インストーラーを起動してインストールを進めます。
- 3) 機器の選択画面で、「機器が見つからない場合はこちら」をクリックします。



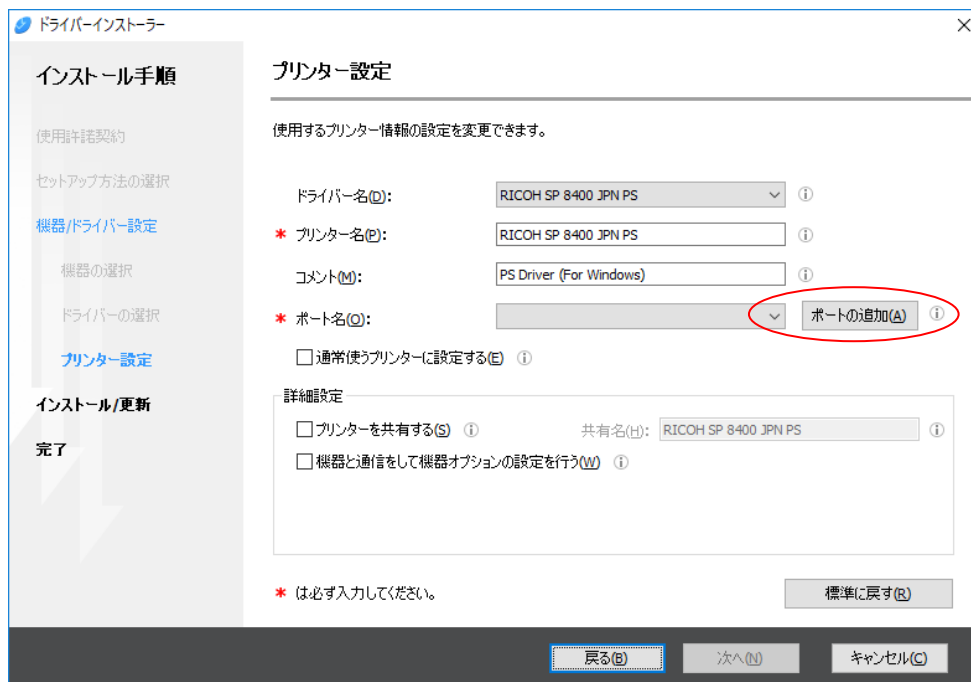
- 4) 検索方法の選択画面で、「機器名を指定する」をチェックして進めます。



- 5) 機器の選択画面で、「SP 8400 JPN」を選択して進めます。



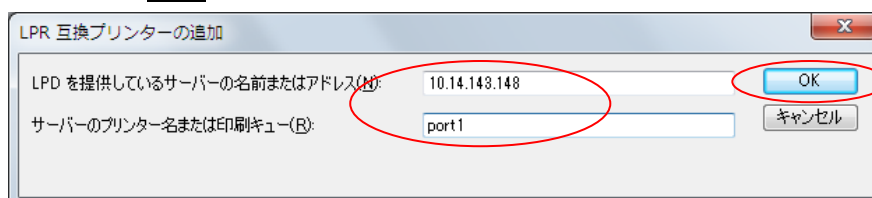
6) プリンター設定の画面で、ポートの追加をクリックします。



7) ポートの追加の画面が起動します。
「LPR Port」を選択して「OK」をクリックします。



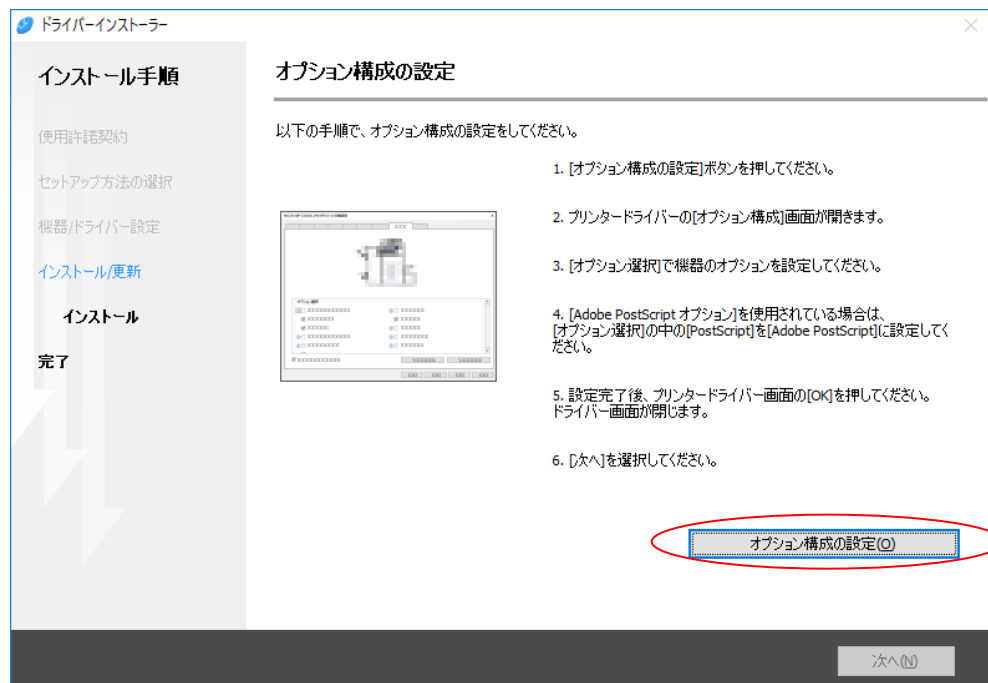
8) LPR 互換プリンターの追加の画面が起動します。
「LPD を提供しているサーバーの名前またはアドレス (N) 」にはプリンターの IP アドレスを、「サーバーのプリンター名または印刷キュー (R) 」には「port1」を入力し、「OK」をクリックします。



- 9) ポートが設定され、プリンター設定画面に戻ります。
通常使うプリンターにしたい場合はチェックを付けます。
プリンターを共有する場合は、チェックを付けて共有名を入力します。
必要な設定が終了したら進めます。



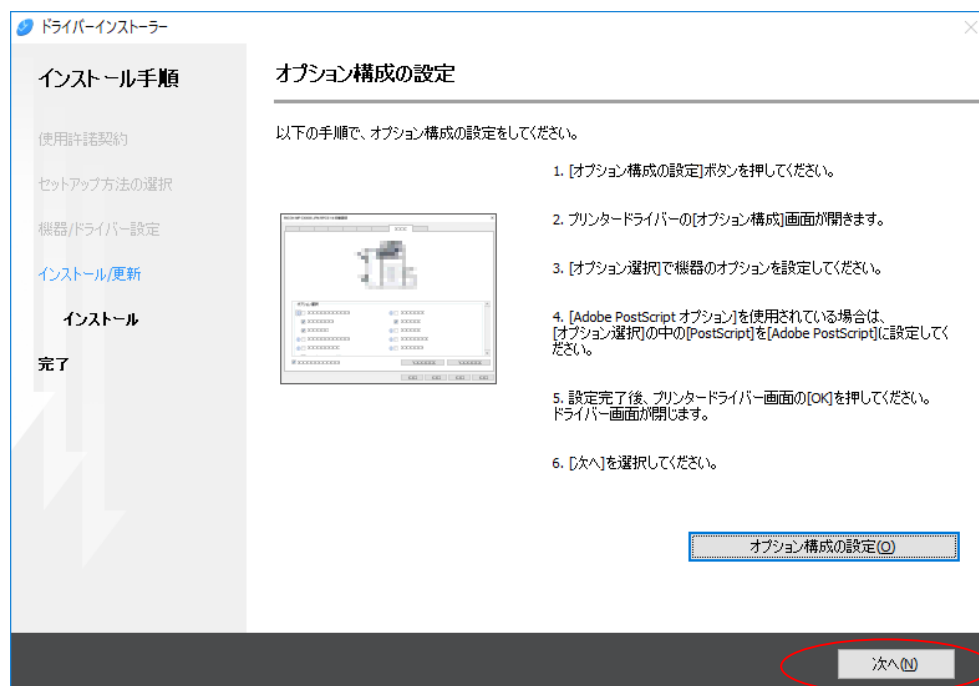
- 10) オプション構成の設定の画面で、オプション構成の設定をクリックします。



- 11) オプション構成を設定します。
 「オプション構成」タブをクリックして、HDDをチェックします。
 オプションを装着している場合は、装着しているオプションをチェックして進めます。



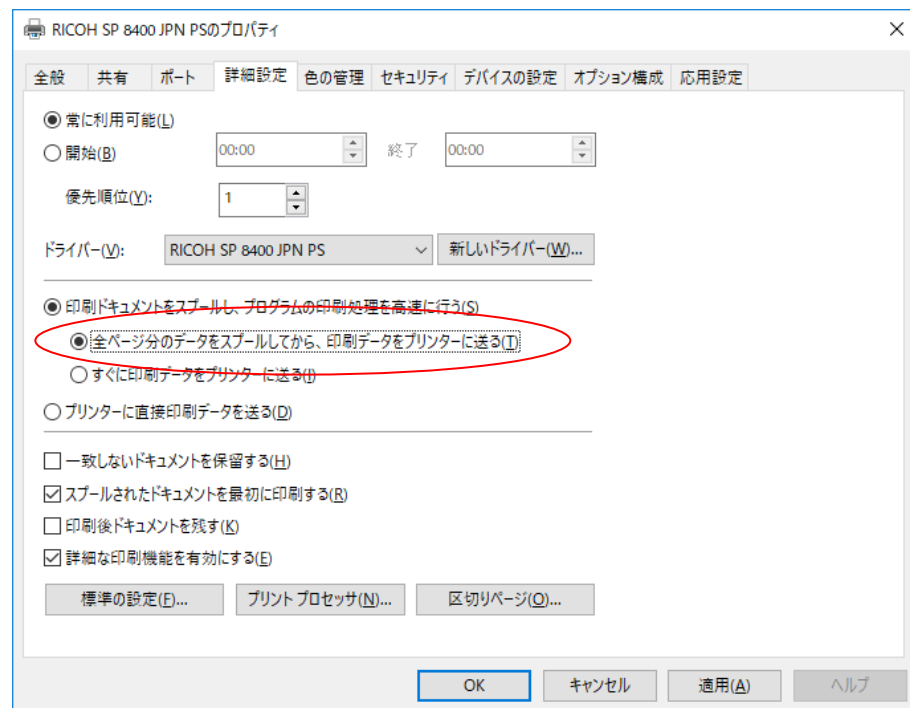
- 12) オプション構成の設定の画面に戻りますので進めます。



- 13) 導入が終了すると、プリンタードライバー導入完了の画面が表示されます。



- 9) 印刷が正常に行われるためにスプール機能を設定します。
コントロールパネルから「デバイスとプリンター」を選びます。先ほど作成したプリンターアイコンにマウスを移動し、右ボタンを押し「プリンターのプロパティ」を選択します。「詳細設定」で以下の項目を選択し「適用」をクリックします。



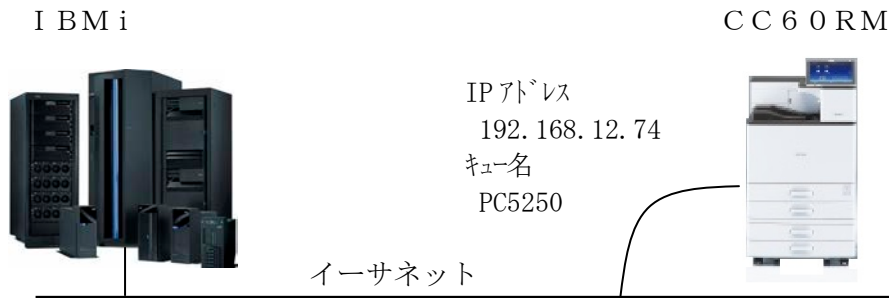
以上でプリンタードライバーのインストールは終了です。

3.3 IBM iからのLPR5250接続印刷

CC60RMは、IBM iからエミュレータを介さずにLPR5250接続で直接印刷することができます。

以下の接続例に則って解説いたします。

■ IBM i とのLPR5250接続図 (例)



3.3.1 出力待ち行列作成

1) IBM i のコマンド行で以下のコマンドを実行します。

CRTOUTQ [実行キー]

出力待ち行列作成 (CRTOUTQ)		
出力待ち行列	OUTQ	> <u>CC60RM</u>
ライブラリ		<u>*CURLIB</u>
スプール・ファイル最大サイズ : MAXPAGE		—
ページ数		<u>*NONE</u>
開始時刻		_____
終了時刻		_____
値の続きは+		
待ち行列上のファイルの順序	SEQ	<u>*FIFO</u>
遠隔システム	RMTSYS	> <u>*INTNETADR</u>
<hr/>		
遠隔印刷装置待ち行列	RMTprtQ	> <u>PC5250</u>
<hr/>		
自動開始する書き出しプログラム	AUTOSTRWTR	<u>*NONE</u>
書き出しプログラムMSG用待ち行列	MSGQ	<u>QSYSPRO</u>
ライブラリ		<u>*LIBL</u>
接続タイプ	CNNTYPE	> <u>*IP</u>
宛先タイプ	DESTTYPE	<u>*OS400</u>
ホスト印刷の形態	TRANSFORM	> <u>*NO</u>
ユーザー・データ変形	USRDATFM	<u>*NONE</u>
ライブラリ		_____
インターネット・アドレス	INTNETADR	> <u>192.168.12.74</u>
:		

網掛け部分を設定します。

- OUTQ : 任意の出力待ち行列名を設定します。
- RMTSYS : *INTNETADR を設定します。
- RMTprtQ : プリンターのキュー名を PC5250 にします。
- CNNTYPE : *IP を設定します。
- TRANSFORM : *NO を設定します。
- INTNETADR : IPアドレスを設定します。

3. 3. 2 プリンターの起動

- 出力待ち行列が作成されたかを確認します。
IBM i のコマンド行で以下のコマンドを実行してください。
WRKOUTQ [実行キー]

全ての出力待ち行列の処理					
OPT	待ち行列	ライブラリ	ファイル	書出しプログラム	状況
—	CC60RM	QUSRSYS	0		RLS

- 出力待ち行列を起動します。
IBM i のコマンド行で以下のコマンドを実行してください。
STRRTWTR CC60RM FORMTYPE(*ALL *MSG) [実行キー]

全ての出力待ち行列の処理					
OPT	待ち行列	ライブラリ	ファイル	書出しプログラム	状況
—	CC60RM	QUSRSYS	0	CC60RM	RLS

コマンド
===>

F3=終了 F4=プリント F5=最新情報 F12=取消し F24=キーの続き
読み取りプログラムまたは書出しプログラム 02382/QSPLJOB/CC60RM は、ライ...

正常に動作した場合は網掛けのようなメッセージを表示します。

3. 3. 3 接続テスト

- PING コマンドを発行します。
IBM i のコマンド行で以下のコマンドを実行してください。
PING '192.168.12.74' [実行キー]
- 結果を確認します。
IBM i のコマンド行で以下のコマンドを実行してください。
WRKJOB [実行キー]
10 [実行キー]
[F10 キー]
[前頁キー]

全ての出力待ち行列の処理
8 > PING '192.168.12.74' ホスト・システム 192.168.12.74 への接続を検査中である。 接続検査 1 に.208 秒かかった。1 への接続検査は正常に行なわれました。 接続検査 2 に.007 秒かかった。2 への接続検査は正常に行なわれました。 接続検査 3 に.017 秒かかった。3 への接続検査は正常に行なわれました。 接続検査 4 に.025 秒かかった。4 への接続検査は正常に行なわれました。 接続検査 5 に.007 秒かかった。5 への接続検査は正常に行なわれました。 往復 (ミリ秒) 最小/平均/最大 = 7/52/208 接続検査の統計 : 5 の 5 は正常に実行された (100%) 。

- 正常に接続されている場合上のようなメッセージが表示されます。

3.3.4 印刷装置の機能設定

CC60RMでは、次のコマンドにより給紙指定、印刷モード、印刷方向、両面印刷、網掛けライン、セパレータの設定を行うことができます。

【注意】・網掛けラインの設定を ON, OFF に指定すると、給紙指定はできなくなります。
セパレータは、1000 枚給紙テーブルオプション追加時のみ有効となります。

- ・ CRTPRTF (印刷装置ファイル作成)
- ・ CHGPRTF (印刷装置ファイル変更)
- ・ OVRPRTF (印刷装置ファイル一時変更)
- ・ CHGSPLFA (スプール・ファイル属性変更)

印刷装置の機能	項目	入力値	内容
給紙指定	原始用紙入れ (DRAWER)	1	web 設定
		10	トレイ 1
		20	トレイ 2
		30	トレイ 3 2000 枚給紙テーブル
		40	大量給紙トレイ
		50	トレイ 4
		60	手差しトレイ
印刷モード	印刷品質 (PRTQLTY)	*STD	web 設定 (デフォルト)
		*DEVD	100%
		*DRAFT	75%
		*NLQ	SF→B4
		*FASTDRAFT	SF→A4
印刷方向	ページ回転度数 (PAGRTT)	*AUTO	web 設定 (デフォルト)
		0	ポートレート (縦)
		90	ランドスケープ (横)
両面印刷	両面印刷 (DUPLEX)	*NO	web 設定 (デフォルト)
		*TUMBLE	片面
		*YES	両面
網掛けライン	用紙送り (FORMFEED)	*DEVD	web 設定 (デフォルト)
		*CONT	網掛けライン設定 OFF
		*CUT	網掛けライン設定 ON
セパレータ	面当りページ数 (MULTIUP)	1	OFF
		3	トレイ 4

3.3.5 印刷時の注意

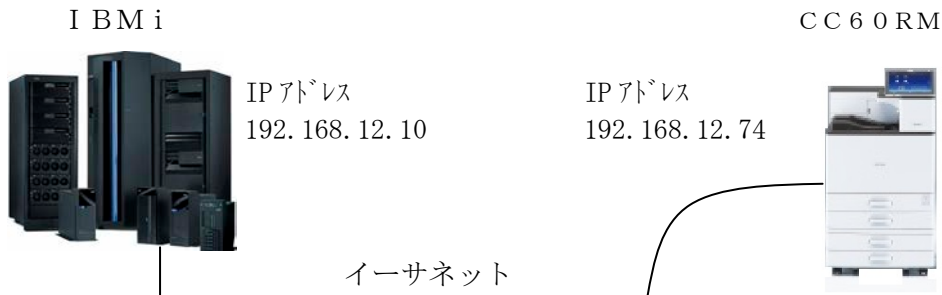
印刷中のジョブを保留 (HLD) にすると、中断したことにより印刷データに矛盾が発生する場合があります。最後にエラーレポートが出力される場合があります。

しかし、次の印刷には影響ありません。

3.4 IBM iからのTN5250E接続印刷

CC60RMは、IBM iとTN5250E接続で直接印刷することができます。
以下の接続例に則って解説いたします。

■ IBM iとのTN5250E接続図（例）



【注意】・TN5250Eプリンターセッションをサポートするには、OS/400のバージョンおよびPTFレベルが下記の条件を満足していることを確認してください。

- V6.0 以上
- V5.3 (PTFレベル:MF43262)
- V5.2 (PTFレベル:MF34950)
- V5.1 (PTFレベル:MF28039)
- V4.5 (PTFレベル:MF27964)
- V4.4 (PTFレベル:MF26545)
- V4.3 (PTFレベル:MF24630)
- V4.2 (PTFレベル:MF23982)

(IBMがサポートを終了したバージョンにつきましては、サポートできない場合がございます)

3. 4. 1 IBM i の確認

IBM i の以下の項目を確認します。

- (1) IBM i のバージョンおよびPTF確認
- (2) 接続するIBM i のIPアドレス

- 1) IBM i のバージョンおよびPTF確認
 IBM i のコマンド行で以下のコマンドを実行してください。
DSPPTF [実行キー]

```

                                P T F の 状 況 の 表 示
基本オプションのリリース . . . . . : V4R3M0 L00
PTF
OPT ID          状況
:
MF21146        永久的に適用
:
```

- 2) IBM i のIPアドレス
 IBM i のコマンド行で以下のコマンドを実行してください。
WRKTCPSTS *IFC [実行キー]

```

                                T C P / I P インターフェイス状況の処理
OPT インターネット・アドレス ネットワーク・アドレス 回線記述 インターフェイス状況
— 192.168.12.10 192.168.12.0 ETERNET 活動中
```

3. 4. 2 プリンターの設定

ブラウザを起動しCC60RMにWeb接続します。[管理者]としてログインし、TN5250E接続に必要なネットワーク項目について設定を行います。設定方法については、「第2章 Web設定」を参照してください。

設定項目	設定例	
・有効/無効	有効	
・Host IP アドレス	192.168.12.10	※1
・ポート番号	23	
・デバイス名	TN5250P	※2
・メッセージ待ち行列	QSYSOPR	
・メッセージライブラリー	*LIBL	
・自動接続	オン	※3
・Keep-Alive 周期	0	
・Keep-Alive タイムアウト	0	

- ※1 接続するIBM i のIPアドレスです。
- ※2 IBM i 上に同一名で“出力待ち行列”が作成されます。
- ※3 IBM i から切断された場合、自動的に再接続をプリンター側から開始するかを設定します。

3.4.3 接続

CC60RMの電源をONにすると、CC60RMの設定に従ってIBM i上に制御装置、装置記述が作成されます。

WRKCFGSTS *CTL [実行キー]

		構成状況処理		ジョブ	
CTL	記述	状況	——	——	——
	:				
—	QVIRCD0001	活動状態			
—	TN5250P	活動状態			
	:				

3.4.4 印刷時の注意


印刷中のジョブを保留(HLD)にすると、中断したことにより印刷データに矛盾が発生する場合があります、印刷するプリンターによってはエラーレポートが出力されますが、次の印刷に影響はありません。

3.5 IBM iからの外字印刷

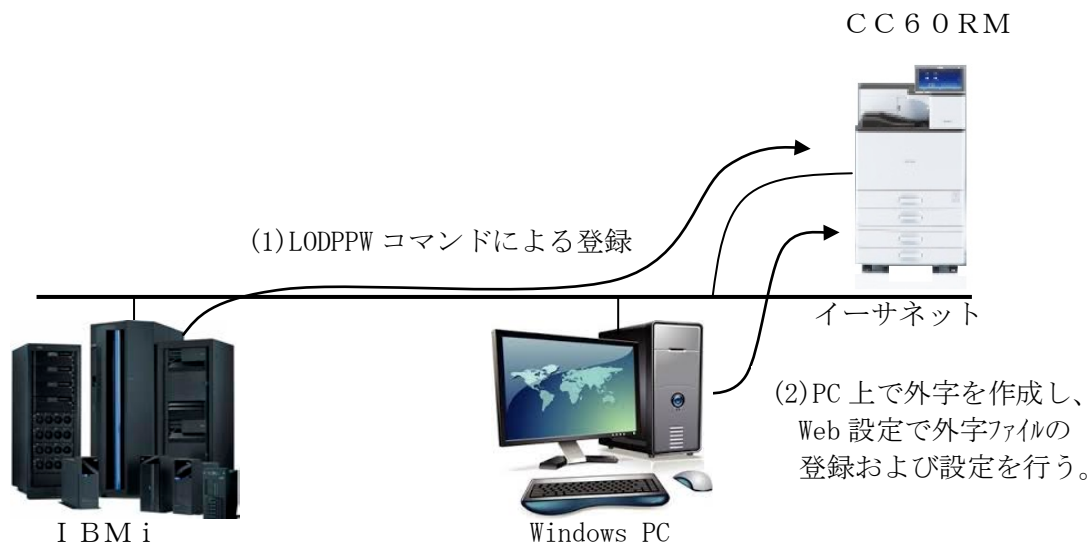
外字印刷をするためにはCC60RMに外字データをファイルとして持たせ、各セッションで使用する外字ファイルを選択、設定する必要があります。

以下の2通りの外字登録方法があります。各々について説明します。

- (1) LODPPWコマンドによる外字登録
- (2) Windowsの外字エディタで外字を作成し登録

- 【注意】**
- ・漢字コード6941～7FFEは外字登録となっています。
 - ・外字が未登録の場合には‘’を印刷します。
 - ・1つの外字ファイルが扱える文字数は、LODPPWの場合4,370文字、Windowsで作成した場合1,880文字です。
 - ・外字ファイル名を違えることで複数の外字をパターン選択ごとに使い分けることができます。
複数セッションで同じ外字を使用する場合、使用するセッション全てに同じ外字ファイルを設定します。
 - ・登録済みの外字ファイルへ増加分を追加で登録することはできません。現在の外字に増加分を加えたファイルを作成して再登録します。

■TCP/IP接続の外字登録概略図



3.5.1 LODPPWコマンドを使用して外字を登録する方法

LODPPWコマンドを実行することで、CC60RMに接続しているセッション毎に任意の外字ファイルが作成されます。また、外字データを受信することで各セッションの印刷項目で設定している外字ファイル名を変更します。

【注意】・LODPPWによる登録は、24ドット×24ドットのドットプリンター用文字データをCC60RM用に拡大するため、印刷結果がギザギザになる傾向があります。

各セッションが受信した場合に作成される外字ファイル名は、以下のようになります。

セッション名	外字ファイル名	セッション名	外字ファイル名
lpr5250	lp_fnt0.fnt	TN5250E セッション 1	tn_fnt1.fnt
lpr5250 個別設定 1	lp_fnt1.fnt	TN5250E セッション 2	tn_fnt2.fnt
lpr5250 個別設定 2	lp_fnt2.fnt	TN5250E セッション 3	tn_fnt3.fnt
:	:	:	:
lpr5250 個別設定 16	lp_fnt16.fnt	TN5250E セッション 30	tn_fnt30.fnt

1) LODPPWを入力し、**F4**キーを押します。

ユーザー定義文字ロード (LODPPW)		
選択項目を入力して、実行キーを押してください。		
出力装置	<u>TN5250P</u>	名前, *FILE, *JOB, *SYSVAL
DBCS 文字サイズ	<u>24</u>	24, 32, 40
ロード・オプション	<u>*LOAD</u>	*LOAD, *CLEAR
範囲:		
開始文字	<u>*FIRST</u>	1-9999, *FIRST
終了文字	<u>*LAST</u>	1-9999, *LAST

- ・出力装置 : 外字登録を行う印刷装置記述名を指定します。
- ・DBCS 文字サイズ : "24"を指定します。
- ・ロード・オプション : "*LOAD"を指定します。
- ・範囲 : ロードする文字の開始番号・終了番号を指定します。

- 【注意】
- ・印刷装置ファイル QPPPPRT に SPOOL=*NO が指定されていると、エラー・メッセージ「APP5101 印刷装置ファイル QAPS/QPPPPRT がオープンできない」が表示され、ロードできません。その場合は、' OVRPRTF FILE(QPPPPRT) SPOOL(*YES) ' と入力後、LODPPW コマンドを実行してください。
 - ・L P R 接続では出力装置名を指定できません。
そのため任意の出力装置を指定し、登録ファイルを作成します。その後、作成された印刷ファイルの出力待ち行列およびライブラリーを C C 6 0 R M に変更し、登録します。

2) 出力装置を入力し、**実行**キーを押します。

外字登録スプール・ファイルが作成され、C C 6 0 R M へデータが送られます。
作成されたスプール・ファイルの転送が終了すれば、登録は完了です。

<参考情報>

以上の手順を行っても出力できない場合は、以下の項目をご確認ください。

- ・印刷装置ファイルの中の外字(IGCEXNCHR)を*NOに指定すると出力できる場合があります。(OS/400のバージョンやPTFのレベルによって、異なる可能性があります)
- ・印刷装置ファイル QPPPPRT のスプールが印刷終了しているか、LODPPW を実行したセッションで WRKJOB にて状況を確認してください。

3.5.2 Windowsの外字エディタで外字を作成し登録する方法

<参照>

KELラインプリンターの外字登録用にすでに作成されている外字ファイル“mrxfnt.fnt”を、そのまま使用することが可能です。8)へ進んでください。

【注意】・外字の作成および外字ファイルのアクセスには、管理者権限が必要です。
本章の作業は管理者権限を有するIDで実施してください。

- 1) 付属のサポートCD-ROMの”UTILITY”を選択し、“kelfntc.exe”をWindowsの任意の作業用ディレクトリーにコピーします。

<参照>

kelfntc.exeは、Windowsの外字を、CC60RMへ登録できる形式に変換したファイルを作成するユーティリティーです。

- 2) Windowsの外字エディタを使用して外字を作成します。
端末画面の表示用にすでに外字が作成済みの場合は、3)へ進んでください。
外字エディタを起動するには、「ファイル名を指定して実行」へ eudcedit と入力して「OK」ボタンを押します。

【注意】・Windows Server2008R2/Server2012系で外字エディタを使用するには、デスクトップエクスペリエンスが導入されている必要があります。

<参照>

「ファイル名を指定して実行」の起動方法

- ・Windows7/Server2008系

「スタート」メニューの「ファイル名を指定して実行」をクリックする

- ・Windows8.1,10/Server2012,2016系

スタートボタン(左下隅)を右クリックし、表示されるメニューの「ファイル名を指定して実行」をクリックする

例) 外字エディタ起動画面



外字の作成が終了したら、作成した外字を保存して外字エディタを終了します。

3) 作成した外字のファイルを検索します。

外字の規程の保存先は eudc. euf ファイルで、保存先は c:\windows\fonts ディレクトリーですが、特殊なディレクトリーであるため、通常の操作でエクスプローラーを開いても eudc. euf ファイルが表示されません。

eudc. euf が表示される状態でエクスプローラーを起動するには、2) の手順で「ファイル名を指定して実行」をクリックし、「%コンピュター名%c%\Windows\Fonts」と入力して「OK」ボタンを押します。

<参照>

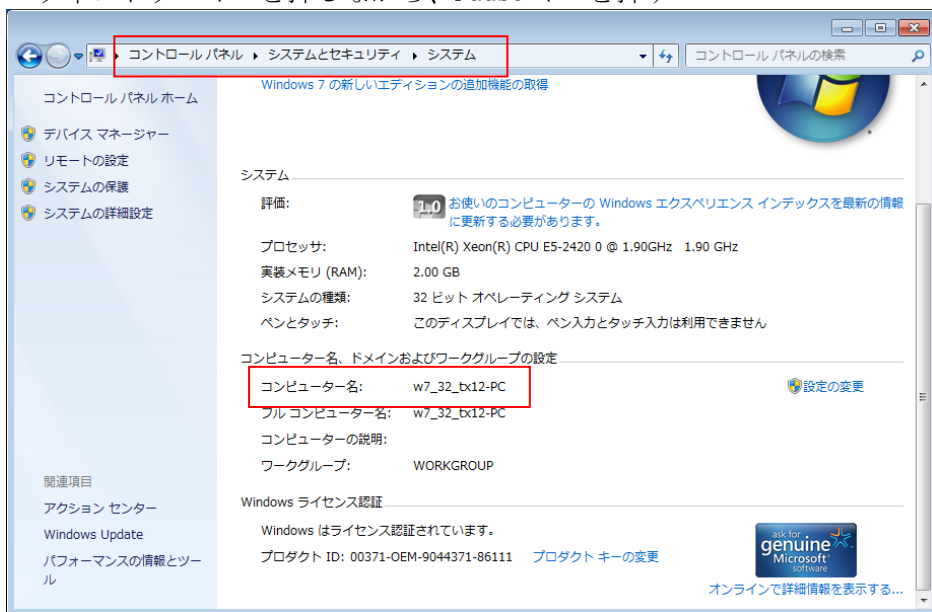
コンピューター名がわからない場合は、「システム」画面で確認します。

• Windows7/Server2008 系

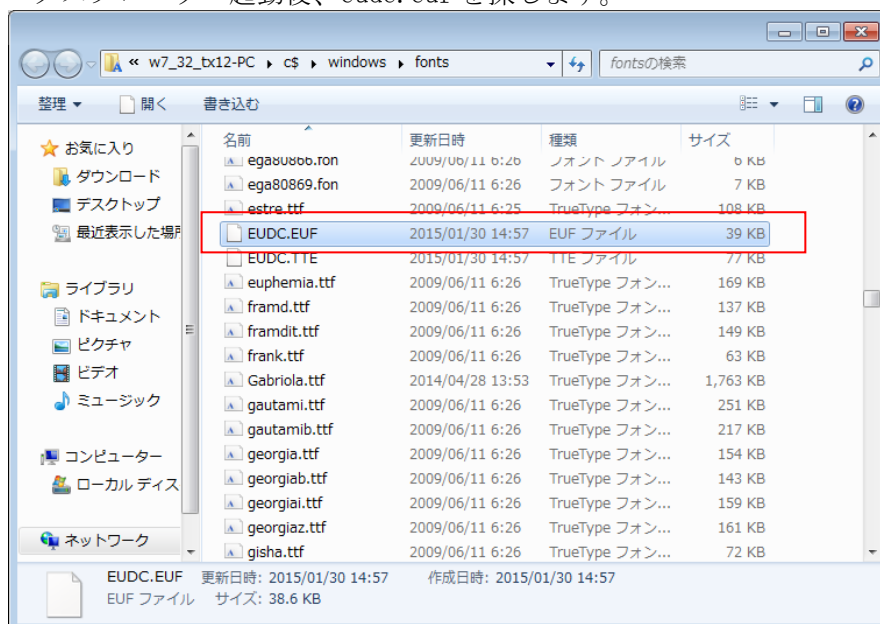
「スタート」メニューの「コントロールパネル」をクリックし、「システムとセキュリティ」→「システム」と進む

• Windows8. 1, 10/Server2012, 2016 系

ウィンドウズキーを押しながら、Pause キーを押す



エクスプローラー起動後、eudc. euf を探します。



- 4) 検索した eudc.euf ファイルを、1) の作業用ディレクトリーにコピーします。

【注意】・eudc.euf ファイルが元の場所からなくならないよう、必ずコピーしてください。ドラッグ&ドロップ操作ではファイルは移動になりますので、元の場所からなくなってしまう。

- 5) 「コマンドプロンプト」を起動します。

<参照>

「コマンドプロンプト」の起動方法

- ・Windows7/Server2008 系

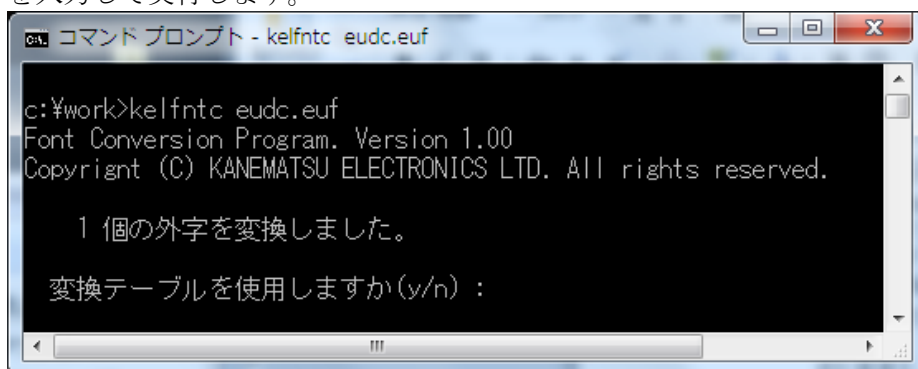
「スタート」メニュー→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」をクリックする

- ・Windows8.1, 10/Server2012, 2016 系

スタートボタン(左下隅)を右クリックし、表示されるメニューの「コマンドプロンプト」をクリックする

- 6) CC60RM登録用の外字ファイルを作成します。

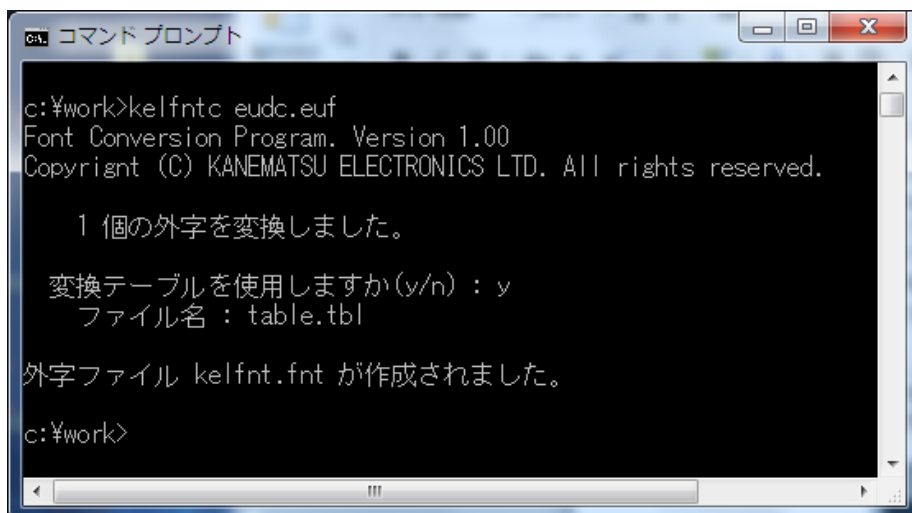
1) の作業ディレクトリーに移動し、” kelfntc” に続けて検索した外字ファイル名を入力して実行します。



- 7) 変換テーブルを使用する場合” y” を入力し、変換テーブルファイル名を入力します。CC60RMへ登録するための外字ファイル” kelfnt.fnt” が作成されます。

<参照>

変換テーブルは、パーソナルコミュニケーションズを使用した端末画面の表示用にすでに外字が作成済みで、ユーザー独自にユーザー・フォント・エリアの変換テーブルを作成して使用している場合にのみ必要となります。



- 8) 作成された外字ファイル名を、任意のファイル名に変更してください。
以上で登録する外字ファイルの作成は完了です。

【注意】・外字ファイル名には、英数文字を使用してください。

- 9) 「第2章 Web設定」を参照して、CC60RMへ外字を登録します。

【注意】・セッション毎に使用する外字ファイルを設定する必要があります。
「第2章 Web設定」の設定項目を参照して使用するセッションの外字ファイルを設定してください。

3.6 SNMPの設定

CC60RMはSNMPを搭載しています。使用するためにはWebブラウザを使用してパラメータ設定を行う必要があります。

構成パラメータについて、以下に説明します。

- (1) **Trap Address :**
SNMPトラップを送信するIPアドレスを設定します。
- (2) **Community Name :**
CC60RMのコミュニティ名を設定します。最大長256文字です。
デフォルトは“public”です。
- (3) **System Name :**
CC60RMのノードの名前を設定します。最大長256文字です。
- (4) **System Location :**
CC60RMの置かれた物理的位置を設定します。最大長256文字です。
- (5) **System Contact :**
CC60RMの管理者の名前と連絡方法を設定します。最大長256文字です。

3.7 Keep-Alive機能の設定

CC60RMは、ホスト接続 (TN5250E) において、セッションの状態を確認するKeep-Alive機能を搭載しています。使用するためにはWeb設定からパラメータ設定を行う必要があります。

構成パラメータについて、以下に説明します。

- (1) **Keep-Alive Frequency :** (0~60分)
Keep-Aliveパケットを発行する周期を設定します。
出荷時: 0 (発行しない)
- (2) **Keep-Alive Timeout :**
設定した値により、以下の動作を行います。
 - ・ 0 (出荷時) : Keep-AliveパケットとしてNopを発行します。
Keep-Aliveパケットを発行後、60秒経過しても応答がないと、セッションを切断します。その後、自動接続設定に応じて再接続を行います。
 - ・ 1~3600秒: Keep-AliveパケットとしてTiming-Markを発行します。Keep-Aliveパケットを発行後、設定時間(秒)経過しても応答がないと、セッションを切断します。
その後、自動接続設定に応じて再接続を行います。

【注意】 ・Keep-Aliveの機能を十分理解した上で使用してください。

3.8 Windowsからの印刷を中止する場合

詳しくは、IPSi0 SP8400 使用説明書の「4. 印刷する」中の「印刷を中止する」を参照してください。

3.9 TN5250Eからの印刷を中止する場合

TN5250Eからの印刷をプリンターから中止する場合は、Web ブラウザから操作を行います。

中止をする場合、印刷データの状況によって操作が2つに分かれます。

- ・中止したいデータが印刷されているとき
- ・中止したいデータが印刷されていないとき

【注意】 ・データが印刷されていなくても、データインランプが点滅・点灯していればプリンターはデータを受信しています。
・プリンターの操作部から取消操作を行うと、印刷が中断され、ジョブは正常終了となります。

中止したいデータが印刷されているとき

- ① 操作パネルのホーム画面で【プリンター】アイコンを押します
- ② 【印刷中断】キーを押します。
- ③ Web ブラウザのトップ画面から、**取消**ボタンをクリックして、印刷を中止します。印刷は取消されます。
- ④ プリンターは約1分で通常状態に戻ります。

【注意】 ・取消操作までにすでにプリンター側に送出済みの印刷データがある場合は、送出済みのデータを印刷します。
・印刷中断状態は、約1分で自動的に解除され通常状態に戻ります。③の操作は、中断状態の間に行ってください。

中止したいデータが印刷されていないとき

- ① Web ブラウザの管理者→印刷管理の画面から、**取消**ボタンをクリックします。印刷は取消されます。

3. 10 LPR5250からの印刷を中止する場合

LPR5250からの印刷を中止する場合は、端末からジョブ保留の操作を行ってください。Webブラウザから印刷中止操作を行うと、同一ジョブが再送されます。

【注意】・プリンター本体で取消操作を行うと、印刷が中断され、ジョブは正常終了となります。

3. 11 インバリッドコマンドの処理

LPR5250、TN5250Eでの印刷時に、インバリッドパラメータ（未定義コマンド）を受信すると、「5250 emulation error: Invalid parameter」と印刷された用紙を排出し、印刷を一時停止します。この時、Webのプリンターステータス画面（最初に表示される画面）には「一時停止：インバリッドコマンド受信」を表示します。また、Webの接続ログに「インバリッドパラメータ」を残します。

TN5250Eの場合はホストにエラーを通知しますが、LPR5250の場合は通信切断処理を行います。

印刷の一時停止を解除するには、プリンターの【印刷中断】キーを押して一旦オフライン状態にします。約1分経過すると、オンライン状態に戻ります。

【注意】・【印刷継続】アイコンを押してもオンライン状態に戻れますが、その際には5秒以上の時間をおいてください。

3. 12 インバリッドコードの処理

LPR5250、TN5250Eでの印刷時に、インバリッドコード（印刷不能文字）が検出されたことをIBM iに通知する指定は無視されます。

<参照>

インバリッドコード（印刷不能文字）が検出されたことをIBM iに通知するのは、スプール・ファイル属性処理の印刷不能文字の置き換えが*NOの場合です。

第4章

拡張コマンド

KEL CC60RM

4. 1	拡張コマンドの概要.....	4-2
4. 2	文字スケールの設定・解除.....	4-3
4. 3	バーコード印字の初期設定.....	4-5
4. 4	バーコード印字の設定.....	4-7
4. 5	OCR-Bフォントの設定・解除.....	4-10
4. 6	印刷方向指定.....	4-10
4. 7	印刷モード.....	4-10
4. 8	強制用紙排出.....	4-11
4. 9	排紙オプション指定.....	4-11
4. 10	文字テーブル設定.....	4-12
4. 11	給紙元トレイ切替え.....	4-12
4. 12	片面／両面設定.....	4-12
4. 13	カスタマバーコード（郵便バーコード）印字の設定.....	4-13
4. 14	QRコード印字の初期設定.....	4-14
4. 15	QRコード印字の設定.....	4-15
4. 16	CVSバーコード印刷.....	4-16

4. 1 拡張コマンドの概要

拡張コマンドは、バーコード印字、文字拡大などの印字を可能にするオリジナルテキストコマンドです。

【注意】 拡張コマンドは、5250エミュレーションでのみ有効です。

PostScriptデータの印刷時には使用できません。

CC60RMは、設定により拡張コマンドを有効にすることで、” ! # % ”あるいは” ! @ & ”の文字列を印字されるテキストではなく、拡張コマンドとして認識します。

拡張コマンドの形式は、ANK文字（1バイト文字）を用いて次のようになります。これをコマンドシーケンスと呼びます。

ESC	機能	パラメータ（またはデータ）
-----	----	---------------

ESCは選択した3バイトの文字列で、コマンドの始まりを示します。コマンドとして定義されていない機能を設定した場合、すべてを印字します。また、設定データが無効な場合はすべてを受け捨てます。

拡張コマンド一覧

コマンド	内容
ESC, "S", P1, P2, P3, P4	文字の拡大・設定・解除
ESC, "C", P1, P2, P3, P4, P5	バーコード印字の初期設定
ESC, "B", P1, [P2, P3], d1...dn	バーコード印字の設定
ESC, "M", P1	OCR-Bの設定・解除
ESC, "D", P1	印刷方向設定
ESC, "E", P1	印刷モード
ESC, "F", P1	強制用紙排出
ESC, "G", P1, P2, P3	排紙オプション指定
ESC, "K", P1	文字テーブル設定
ESC, "T", P1, P2	給紙元トレイ切替え
ESC, "W", P1,	片面/両面印刷
ESC, "V", P1, P2, P3, P4	カスタムバーコード印刷
ESC, "Q", P1, P2, P3, P4, P5, P6, P7	QRコードの初期設定
ESC, "U", d1...dn	QRコードの印刷
ESC, "L", P1, P2, P3, d1...dn	CVSバーコード印刷

【注意】 ESCは下記に示すいずれかを指し、設定により3バイトの文字列が決定します。

- ! # %

- ! @ &

【注意】本取扱説明書では、コマンドの内容を分かりやすく、また区別しやすくするために、各コマンド内でダブルコーテーション（” ”）およびカンマ（,）を使用しています。

- ・ダブルコーテーション（” ”）… 実際にあてはめる文字を示します。
- ・カンマ（,）… 各内容を区切っています。

実際のコマンドにはダブルコーテーションおよびカンマは使用しません。以下に例を示します。

[例] !#%S 4 4 4 0 C C 6 0 R M ! # % S 1

見た目には連続している文字列でも、OSやアプリケーションによっては文字と文字の間に制御コマンドを挿入する場合があります、この場合も正常に印字できません。また、OSやアプリケーションのバージョンによっても制御が異なる場合があります、拡張コマンドを意識せず使用している場合は、問題が発生する可能性があります。

4. 2 文字スケールの設定・解除

ESC, ” S ”, P 1, P 2, P 3, P 4

- P 1 : 以降に続くパラメータの長さ（P 1 も含む）を表します。

P 1 = ” 1 ”	文字スケール設定を解除
P 1 = ” 2 ”	横方向の倍率設定
P 1 = ” 3 ”	横, 縦方向の倍率設定
P 1 = ” 4 ”	横, 縦方向の倍率設定および合わせ位置の設定

上記以外を指定した場合は、” 1 ” の指定となります。

- P 2 : 横方向の倍率を指定します。

P 2 = ” 1 ”	1 倍
P 2 = ” 2 ”	2 倍
P 2 = ” 3 ”	3 倍
P 2 = ” 4 ”	4 倍
P 2 = ” 5 ”	5 倍
P 2 = ” 6 ”	6 倍
P 2 = ” 7 ”	7 倍
P 2 = ” 8 ”	8 倍
P 2 = ” 9 ”	9 倍
P 2 = ” A ”	1 0 倍
P 2 = ” B ”	1 1 倍
P 2 = ” C ”	1 2 倍
P 2 = ” D ”	1 3 倍
P 2 = ” E ”	1 4 倍
P 2 = ” F ”	1 5 倍

上記以外を指定した場合は、” 1 ” の指定となります。

- P 3 : 縦方向の倍率を指定します。
倍率の指定方法は P 2 に準じます。

4.3 バーコード印字の初期設定

ESC, "C", P1, P2, P3, P4, P5

- P1 : バーコードの太さを指定します。
P1 = "1~4"

上記以外を指定した場合は、"1" の指定となります。

【注意】 ・バーコードは、その種類によってバースペースの幅（太さ）が厳密に定められています。この設定がバーの太さになるわけではありません。

- P2 : 縦方向の倍率（バーコードの高さ）を指定します。
（24/180インチを基準とします。）

P2 = "1"	1倍
P2 = "2"	2倍
P2 = "3"	3倍
P2 = "4"	4倍
P2 = "5"	5倍
P2 = "6"	6倍
P2 = "7"	7倍
P2 = "8"	8倍
P2 = "9"	9倍
P2 = "A"	10倍
P2 = "B"	11倍
P2 = "C"	12倍
P2 = "D"	13倍
P2 = "E"	14倍
P2 = "F"	15倍

上記以外を指定した場合は、"1" の指定となります。

- P3 : チェック文字の有無を指定します。
P3 = "0" チェック文字を作成しない
P3 = "1" チェック文字を作成する

上記以外を指定した場合は、"1" の指定となります。

【注意】 ・NW-7 選択時は、この設定に関わらずチェック文字は自動で作成されません。データにチェック文字を付加してください。
・EAN128のストップコード前のモジュールス103チェックデジットは自動付加されます。
・チェック文字は以下の方式で作成されます。

モジュールス10	JAN13桁, JAN8桁 Interleaved 2 out of 5 Industrial 2 out of 5 Matrix 2 out of 5 EAN128
モジュールス43	CODE39
モジュールス103	CODE128

4. 4 バーコード印字の設定

ESC, "B", P1, [P2, P3], d1·····dn

- P1 : バーコードの種類を指定します。

P1="0" JAN13桁
 P1="1" JAN8桁
 P1="2" Interleaved 2 out of 5
 P1="3" Industrial 2 out of 5
 P1="4" Matrix 2 out of 5
 P1="5" NW-7
 P1="6" CODE39
 P1="7" CODE128
 P1="8" EAN128

上記以外を指定した場合は、"0"の指定となります。

- [P2, P3] : d1·····dnのバーコードデータ数nを16進数で指定します。

バーコード初期設定(ESC,"C",P1,P2,P3,P4,P5)コマンドで指定したP1(バーの太さ)によってデータ数nは下記の有効範囲となります。

P1="1" "1 ≤ n ≤ 50" (16進数: 01 ≤ n ≤ 32)
 P1="2" "1 ≤ n ≤ 34" (" 01 ≤ n ≤ 22)
 P1="3" "1 ≤ n ≤ 24" (" 01 ≤ n ≤ 18)
 P1="4" "1 ≤ n ≤ 20" (" 01 ≤ n ≤ 14)

上記以外を指定した場合は、ESCからP3までを受け捨てます。

- 【注意】・JAN13桁, JAN8桁を指定時は、P2, P3は省略してください。
 データ数は、バーコード初期設定(ESC,"C",P1,P2,P3,P4,P5)コマンドで指定したP3(チェック文字の有無)によって下記のようになります。

	P3=1 (あり)	P3=0 (なし)
JAN13桁	12	13
JAN8桁	7	8

- ・EAN128の最大データ数は、バーコード初期設定(ESC,"C",P1,P2,P3,P4,P5)コマンドで指定したP1(バーの太さ)に影響されません。
 最大データ数は、バーコード初期設定(ESC,"C",P1,P2,P3,P4,P5)コマンドで指定したP3(チェック文字の有無)によって下記のようになります。

	P3=1 (あり)	P3=0 (なし)
EAN128	54	55

- ・無効なデータがあった場合、ESCからのデータを受け捨てます。
- ・P2, P3で指定した数がd1~dnのデータ数と一致しない場合は、P2P3で指定した数をデータとして扱います。
- ・バーコードが右マージンを越える場合は、右マージン内の印字を行い復帰、改行をし、それ以降のデータは受け捨てます。バーコードの下に添え字の設定がある場合でも文字の印刷はしません。

- 【注意】
- ・縦2倍以上の印字でマージンを越える場合は、マージンを越える部分は印刷されません。
 - ・バーコードを含む行に罫線がある場合は、罫線はバーコードに関わらず指定行に印刷します。
 - ・バーコードは種類によって使用できる文字(データ)が決まっています。もし、文字の中に無効な文字があった場合は、ESCからdnまでを無効とし受け捨てます。
 - ・バーコード展開後の位置は、位置合わせ行の位置となります。
 - ・作成されるバーコードについては、できるかぎりバーコード規格に合うものが印刷されるよう設計しておりますが、実際のご使用にあたっては事前に十分なテストを行い、問題がないことを確認してください。
 - ・NW-7, CODE 39のスタート/ストップコードを付加して設計してください。スタート/ストップコードがない場合は、ESCからdnまでを受け捨てます。
 - ・スタート/ストップコードの組合せについては、以下の表を参照してください。表の項目にあげてあるスタート/ストップ文字の組合せを表の中からそれぞれ1文字使用します。

●NW-7

項	スタート文字	ストップ文字
1	a, A, ア	a, A, t, T, ア, ホ
2	b, B, イ	b, B, n, N, イ, ト
3	c, C, ウ	c, C, *, ウ
4	d, D, エ	d, D, e, E, エ, オ

●CODE 39

項	スタート文字	ストップ文字
1	*	*

- ・CODE 128, EAN 128はスタートコードを付加して設計してください。ストップコードは必要ありません。スタートコードがない場合は、ESCからdnまでを受け捨てます。スタートコードは以下の表を参照してください。

●CODE 128, EAN 128

項	スタートコード	文字
1	CODE A	>7
2	CODE B	>6
3	CODE C	>5

- ・EAN 128の場合、スタートコードの後にFNC 1 (" > ", " 8 ") を付加し以降データとなります。

【注意】・CODE 1 2 8, EAN 1 2 8の制御コード、特殊コードは以下の表を参照してください。

●CODE 1 2 8, EAN 1 2 8制御コード

項	VALU	CODE A	指定文字
1	64	NUL	>@
2	65	SOH	>A
3	66	STX	>B
4	↙	↙	↙
5	93	GS	>]
6	94	RS	>^
7	95	US	>_

●CODE 1 2 8, EAN 1 2 8特殊コード

項	VALU	CODE A	CODE B	CODE C	指定文字
1	30	>	>		> 0
2	95		DEL		> 1
3	96	FNC3	FNC3		> 2
4	97	FNC2	FNC2		> 3
5	98	SHIFT	SHIFT		> 4
6	99	CODE C	CODE C		> 5
7	100	CODE B	FNC4	CODE B	> 6
8	101	FNC4	CODE A	CODE A	> 7
9	102	FNC1	FNC1	FNC1	> 8

・バーコードの種類によって、装置の仕様上文字の読み替えを行っています。以下の表を参照してください。

●NW-7

指定文字	印字文字
ア, A	a
イ, B	b
ウ, C	c
エ, D	d
ホ, T	t
ト, N	n
オ, E	e
¥, /	\$

●CODE 3 9

指定文字	印字文字
¥, /	\$

4. 5 OCR-Bフォントの設定・解除

ESC, " M" , P 1

- P 1 : 文字フォントを指定します。
P 1 = " 0" 通常文字
P 1 = " 1" OCR-B

上記以外を指定した場合は、" 0" の指定となります。

【注意】・OCR文字は、文字のドット構成上読み取りの悪い文字が発生する場合がありますので、事前に十分なテストを行い、問題が起きないことを確認してください。

4. 6 印刷方向指定

ESC, " D" , P 1

- P 1 : 印刷方向を指定します。
P 1 = " 0" ポートレート (縦)
P 1 = " 1" ランドスケープ (横)

上記以外を指定した場合は、現在の状態が保持されます。

【注意】・本コマンドは、ページの先頭で指定してください。ページの途中で指定された場合は、次のページから有効になります。
・両面印刷の裏面で指定された場合は、印刷中の用紙を排出して次のページから有効になります。

4. 7 印刷モード

ESC, " E" , P 1

- P 1 : 印刷縮小率を指定します。
P 1 = " 0" 100% (実寸)
P 1 = " 1" 75% (3/4)
P 1 = " 2" SF→B4 (B4縮小)
P 1 = " 3" SF→A4 (A4縮小)

上記以外を指定した場合は、現在の状態が保持されます。

【注意】・SFとは連帳用紙(15×11インチ)を表します。
・本コマンドは、ページの先頭で指定してください。ページの途中で指定した場合は、次のページから有効になります。

4. 8 強制用紙排出

ESC, " F"

本コマンドを受信すると、展開済みデータを印刷および排出します。
両面印刷指定時には、片一方の面が印刷されていなくても排紙します。
また、以下の3つ以外のコマンドによる各設定を設定値に初期化します。
排紙オプション、給紙元トレイ、片面/両面の各拡張コマンド

【注意】・本コマンド受信時、印刷データが無い場合は動作しません。

4. 9 排紙オプション指定

ESC, " G", P 1, P 2, P 3

排紙先トレイ、パンチ、ステープルの指定をします。なお、ステープル綴じ可能枚数は、印刷用紙サイズにより異なります。

【注意】・ジョブの先頭で指定してください。ジョブの途中で指定した場合は無効になります。ただし、ジョブ終了処理を「しない」に設定してあれば、次のジョブで有効になります。
・フィニッシャオプションが装着されていない場合は無効です。

- P 1 : 排紙先トレイを指定します。

P 1 = " 0 "	指定解除 (排紙先指定が設定値となる)
P 1 = " 1 "	本体トレイ
P 1 = " 2 "	フィニッシャ上トレイ
P 1 = " 3 "	フィニッシャシフトトレイ

上記以外を指定した場合は、現在の状態が保持されます。

- P 2 : パンチ指定

P 2 = " 0 "	パンチ指定解除
P 2 = " 1 "	上/左 : パンチ開始指定
P 2 = " 2 "	右 : パンチ開始指定

上記以外を指定した場合は、" 0 " の指定となります。

- P 3 : ステープル指定

P 3 = " 0 "	ステープル解除
P 3 = " 1 "	斜め : ステープルスタック開始指定
P 3 = " 2 "	1箇所水平 1 : ステープルスタック開始指定
P 3 = " 3 "	1箇所水平 2 : ステープルスタック開始指定
P 3 = " 4 "	2箇所水平 1 : ステープルスタック開始指定
P 3 = " 5 "	2箇所水平 2 : ステープルスタック開始指定

上記以外を指定した場合は、" 0 " の指定となります。

【注意】・印刷内容によって最大ステープル綴じページ数が異なります。
詳しくは「第5章 5. 1. 1 ステープル」を参照してください。
・パンチ・ステープルの位置はwebで設定したときと同じです。
詳しくは「第2章 2. 7 L P R 5 2 5 0」の【印刷項目】一覧表の図を参

照してください。

- ・ジョブエンドを確認した場合、スタックされているページは自動的に綴じ処理を行います。

4. 1 0 文字テーブル設定

ESC, " K" , P 1

- P 1 : 文字テーブルを指定します。
P 1 = " 0" 英数・カタカナ
P 1 = " 1" 英数・英小文字

上記以外を指定した場合は、" 0" の指定となります。

【注意】・本コマンドは、受信した直後から有効となります。

4. 1 1 給紙元トレイ切替え

ESC, " T" , P 1, P 2

- P 1 : 給紙元トレイを選択します。
P 1 = " 0" 手差し
P 1 = " 1" トレイ 1
P 1 = " 2" トレイ 2
P 1 = " 3" トレイ 3 (オプション装着時)
P 1 = " 4" 大量給紙トレイ (オプション装着時)
P 1 = " 5" トレイ 4 (オプション装着時)

上記以外を指定した場合は、" 1" の指定になります。

【注意】・オプション未接続時の" 3、4、5" 指定は、" 1" の指定となります。

- P 2 : 予約になっています。
P 2 = " 0" を設定してください。

上記以外を指定した場合は、" 0" の設定になります。

【注意】・大量給紙トレイは自動用紙選択の対象になっていないことを確認してください。
詳しくは、「IPSi0 SP 8400 使用説明書」の「5. 本機の設定と管理」内の「初期設定を変更する」および「システム初期設定」→「用紙設定」を参照してください。

4. 1 2 片面／両面設定

ESC, " W" , P 1

- P 1 : 印刷方法指定
P 1 = " 0" 片面印刷
P 1 = " 1" 両面印刷

上記以外を設定した場合は、" 0" の指定になります。

4. 1 4 QRコード印字の初期設定

ESC, " Q", P 1, P 2, P 3, P 4, P 5, P 6, P 7

- P 1, P 2, P 3 : セルの大きさを指定します。
QRコードのセルの大きさを3桁の10進数(1/1440inch 単位)で設定します。
有効値は“024~288”です。

範囲外を指定した場合は、“024”の指定となります。

- P 4 : 誤り訂正レベルを指定します。
P 4 = " 1 " L (7 % 復元)
P 4 = " 2 " M (1 5 % 復元)
P 4 = " 3 " Q (2 5 % 復元)
P 4 = " 4 " H (3 0 % 復元)

上記以外を指定した場合は、“1”の指定となります。

- P 5 : 回転方向を指定します。
P 5 = " 1 " 0 度回転
P 5 = " 2 " 9 0 度回転
P 5 = " 3 " 1 8 0 度回転
P 5 = " 4 " 2 7 0 度回転

上記以外を指定した場合は、“1”の指定となります。

- P 6 : 制御コードをデータとして扱う/扱わないを指定します。
データとして扱われる制御コードの詳細は、「4. 1 5 QRコード印字の設定」
の解説を参照してください。
P 6 = " 0 " 扱う
P 6 = " 1 " 扱わない(制御コードはバイナリー入力(¥¥B)で指定する)

上記以外を指定した場合は、“0”の指定となります。

- P 7 : 縦方向の合わせ位置を指定します。
P 7 = " 0 " 上合わせ
P 7 = " 1 " 下合わせ

上記以外を指定した場合は、“0”の指定となります。

4. 15 QRコード印字の設定

ESC, "U", d1...dn

● d1...dn : QRコードのデータ

範囲

○ 1バイトコード

EBCDIC特有の6文字(£←¢|~\)は除きます。

○ 2バイトコード(漢字)

○ 制御コード(ESC "Q"で"制御コードをデータとして扱う"を指定した場合)

4つのコマンドが下表のように変換されデータとして扱われます。

制御コード名	制御コード (16進数)	変換後のコード (16進数)
改ページ	0C	0C
復帰	0D	0D
ニューライン	15	0DOA
改行	25	0A

○ 相対方向横移動コマンド(RHPP:34C4xx)

指定文字数分の1バイトスペースコードとして扱われます。

○ 特殊指定

¥YE : データの終了を指定します。

¥YB : バイナリデータを16進数で1バイト分指定します。

¥YBxx (xx=00~FF)範囲外時は無視されます。

容量

QRコードはデータが数字のみの場合、扱えるデータ数が最大になります。

データが数字のみの場合、それぞれの誤り訂正レベルで扱えるデータ数の最大値は以下の通りです。

L=7089バイト

M=5596バイト

Q=3993バイト

H=3057バイト

データの終了指定(¥YE)がない場合は、このデータ数分をQRコードのデータとして扱います。

数字、英文字、記号、カナ、漢字等のデータが混在すると、QRコードが扱えるデータの最大値は減少していきます。

- 【注意】**
- ・左右部、上部に各々4セル分のマージンを設けます。
 - ・最大印刷範囲を越える場合は印刷範囲まで印刷します。
 - ・データの構成がQRコードの容量を超えている場合は、QRコードは印刷されません。
 - ・事前に十分なテストを行い、問題がないことを確認してください。
 - ・IBM iから印刷する場合、APW(※1)やRPG(※2)の内部定義を使用すると印刷範囲などで制限されて思惑通りのQRコードが生成されないことがあります。(仕様により標準で132桁を超えた場合に改行コードが入ります。)
1行あたり標準で132桁を超えるデータを構成する場合は、DDS(※3)を使用して定義してください。

※1 : Advanced Print Writer (多機能漢字印刷ユーティリティ)

※2 : Report Program Generator (報告書作成向きの汎用プログラム言語)

※3 : Data Description Specification (データ記述仕様)

4. 16 CVSバーコード印刷

ESC, "L", P1, P2, P3, d1...dn

- P1 : 縦方向の倍率 (バーコードの高さ) を指定します。
(0.1インチ単位を基準とします。)

P1="0"	デフォルト値(10.16 mm)
P1="1"	0.1インチ(2.54 mm)
P1="2"	0.2インチ(5.08 mm)
P1="3"	0.3インチ(7.12 mm)
P1="4"	0.4インチ(10.16 mm)
P1="5"	0.5インチ(12.70 mm)
P1="6"	0.6インチ(15.24 mm)
P1="7"	0.7インチ(17.78 mm)
P1="8"	0.8インチ(20.32 mm)
P1="9"	0.9インチ(22.86 mm)
P1="A"	1.0インチ(25.40 mm)
P1="B"	1.1インチ(27.94 mm)
P1="C"	1.2インチ(30.48 mm)
P1="D"	1.3インチ(33.02 mm)
P1="E"	1.4インチ(35.56 mm)
P1="F"	1.5インチ(38.10 mm)

上記以外を指定した場合は、"0"の指定となります。

- P2 : バーコード下に文字 (添え字) の有無を指定します。

P2="0"	印字しない
P2="1"	印字する

上記以外を指定した場合は、"0"の指定となります。

【注意】・添え字は、8ポイント相当のフォントを用いて2行で印字されます。

- P3 : 44桁目のチェック文字 (モジュールス10) の指定をします。

P3="0"	CC60RM側でチェック文字を作成しない
P3="1"	CC60RM側でチェック文字を作成する

上記以外を指定した場合は、"1"の指定となります。

- d1...dn : CVSバーコードのデータ

P3="0"の場合	44個
P3="1"の場合	43個

- 【注意】**
- ・スタートキャラクタC、FUNC、CODE 1 2 8チェックキャラクタ（モジュールラス 103 形式）、およびストップキャラクタのデータは自動付加されます。
 - ・A 4 縮小、B 4 縮小で印刷する場合、バーコードの高さが低くなるので、P 1（縦方向倍率）で調整してください。
 - ・事前に十分にテストを行い、問題がないことを確認してください。

印刷サンプル



このページは、白紙となっています。

第5章

付録

KEL CC60RM

5. 1	パンチ・ステープルについて.....	5-2
5. 1. 1	ステープル.....	5-2
5. 1. 2	パンチ.....	5-3
5. 2	印字可能範囲.....	5-4
5. 3	印字可能行数.....	5-7
5. 4	LPRポートの追加.....	5-11

5. 1 パンチ・ステープルについて

CC60RMでは、フィニッシャーを取り付けることにより、ステープルやパンチが可能になります。

拡張コマンドを使用してパンチ・ステープルを指定する場合は「第4章 4. 9 排紙オプション指定」を参照してください。

5. 1. 1 ステープル

【注意】

手差しトレイから給紙する場合は、ステープルできません。

<補足>

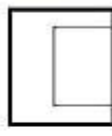










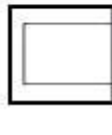










- ・フィニッシャーを接続しているのにステープルの設定ができない場合は、オプション装置が正しく設定されていない可能性があります。Windows の場合は、プリンタードライバのプロパティの [オプション構成] タブで、オプション装置を正しく設定してください。
- ・印刷方向、用紙セット方向によって、指定できるステープル位置は異なります。ステープルできる位置は次のとおりです。

Windows から印刷するとき

プリンタードライバーからの印刷では、データの方向は自動的に検知されます。

ステープルしたい場所が給紙方向に対して垂直になるように用紙をセットしてください。

LPR5250, TN5250E から印刷するとき

カセットへの用紙セット方向	印刷方向	斜め	1ヶ所水平1	1ヶ所水平2	2ヶ所水平1	2ヶ所水平2
	タテ (ポートレイト)					
	ヨコ (ランドスケープ)					
	タテ (ポートレイト)					
	ヨコ (ランドスケープ)					

- ・両面の設定をしているときは、ステープル位置と綴じ方向を合わせてください。
- ・ステープルとパンチを同時に指定する場合は、同じ側に指定してください。
- ・ステープルできる用紙の仕様は「IPSi0 SP 8400 使用説明書」の「7. 保守/仕様」内の「3000 枚フィニッシャーの仕様」を参照してください。

5. 1. 2 パンチ

【注意】

手差しトレイから給紙する場合は、パンチできません。

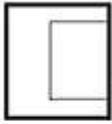
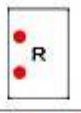
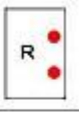

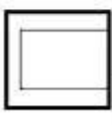



<補足>

- ・フィニッシャーを接続しているのにパンチの設定ができない場合は、オプション装置が正しく設定されていない可能性があります。Windows の場合は、プリンタードライバーのプロパティの [オプション構成] タブで、オプション装置を正しく設定してください。
- ・印刷方向、プリンターの用紙セット方向によって、指定できるパンチ位置が異なります。パンチできる位置は次のとおりです。

Windows から印刷するとき

プリンタードライバーからの印刷では、データの方法は自動的に検知されます。パンチしたい場所が給紙方向に対して垂直になるように用紙をセットしてください。

LPR5250, TN5250E から印刷するとき

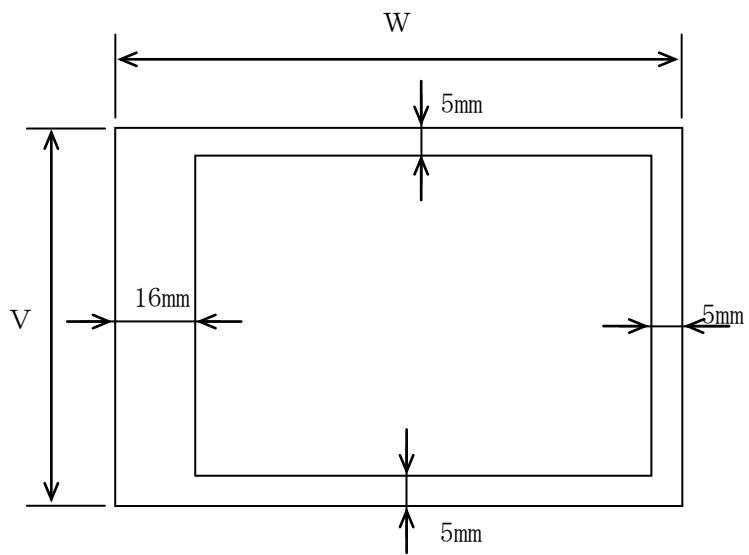
カセットへの用紙セット方向	印刷方向	上/左	右
	タテ (本-トレイ)		
	ヨコ (ランドスケープ)		
	タテ (本-トレイ)		
	ヨコ (ランドスケープ)		

- ・両面の設定をしているときは、パンチ位置と綴じ方向を合わせてください。
- ・パンチとステープルを同時に指定する場合は、同じ側に指定してください。
- ・パンチできる用紙の仕様は「IPSi0 SP 8400 使用説明書」の「7. 保守/仕様」内の「3000 枚フィニッシャーの仕様」を参照してください。

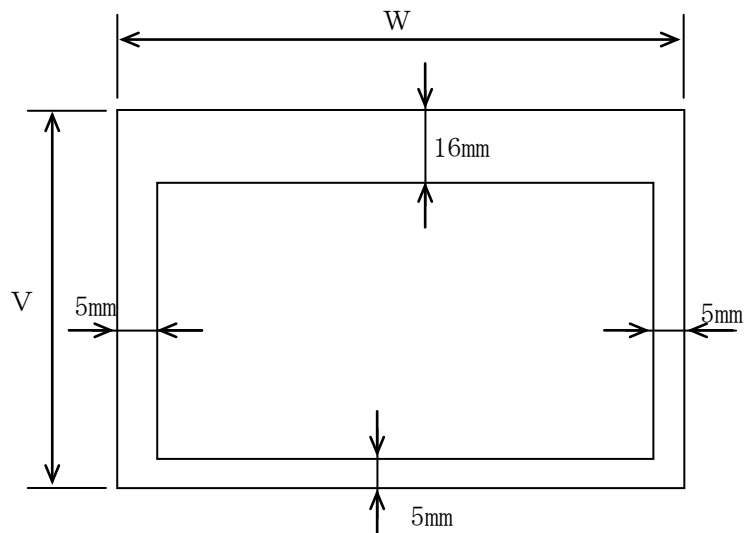
5. 2 印字可能範囲

1) ランドスケープ

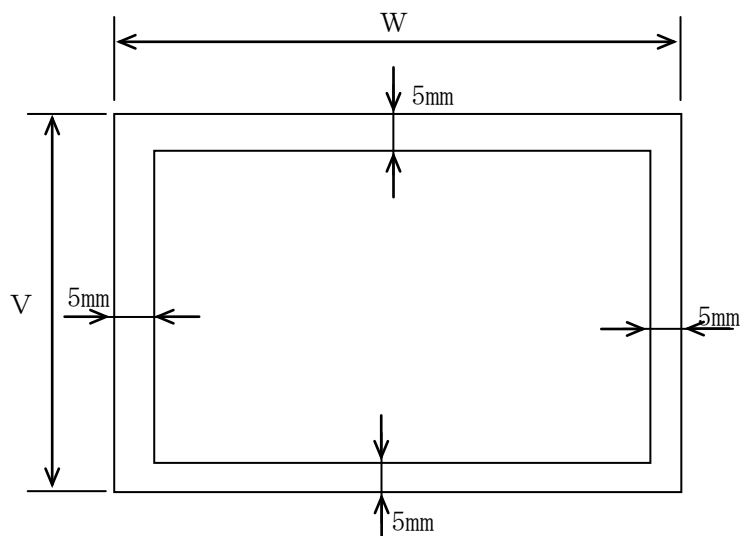
a) 左とじ



b) 上とじ

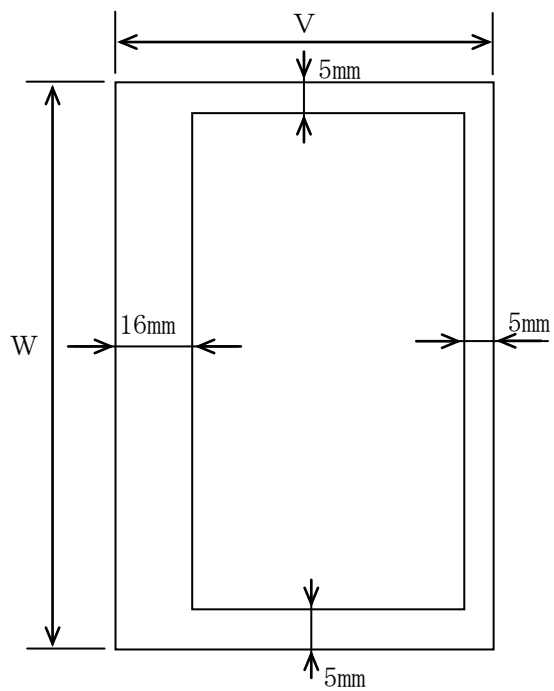


c) とじなし

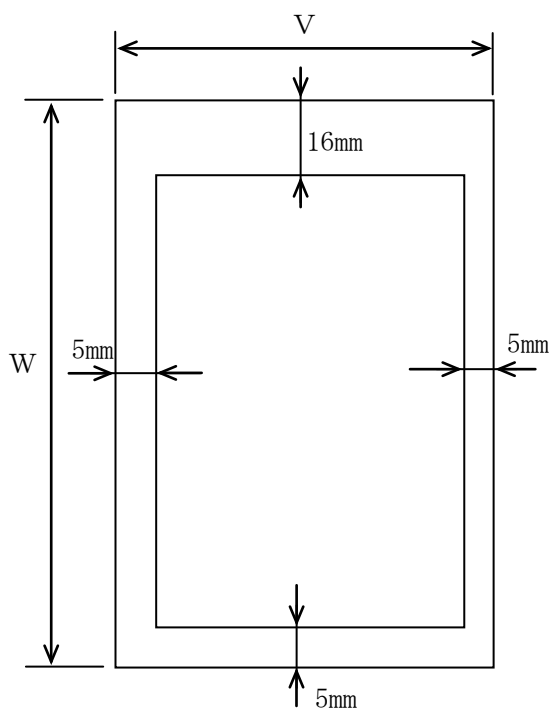


2) ポートレート

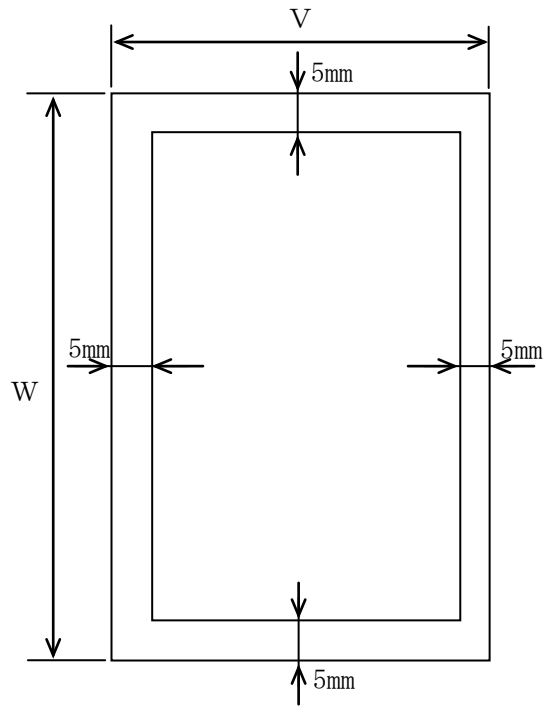
a) 左とじ



b) 上とじ



c) とじなし



用紙サイズ

A 3 タテ	$W 297 \times V 420$ (mm)
A 4 ヨコ	$W 297 \times V 210$
A 5 タテ	$W 148 \times V 210$
B 4 タテ	$W 257 \times V 364$
B 5 タテ	$W 182 \times V 257$

5.3 印字可能行数

条件：印字可能範囲はとじ穴なし設定とします。

プリンターの条件			印字モード			
用紙サイズ	印字方向	ピッチ [L P I]	100 %	75 %	SF→B4	SF→A4
A 3	ポートレート	4	6 4	8 6	7 5	9 5
		6	9 6	1 2 9	1 1 3	1 4 3
		7. 5	1 2 1	1 6 0	1 4 2	1 7 8
		8	1 2 9	1 7 1	1 5 1	1 9 0
	ランドスケープ	4	4 5	6 0	5 3	6 7
		6	6 7	9 0	7 9	1 0 0
		7. 5	8 4	1 1 3	9 9	1 2 5
		8	9 0	1 2 0	1 0 6	1 3 4
A 4	ポートレート	4	4 5	6 0	5 3	6 7
		6	6 7	9 0	7 9	1 0 0
		7. 5	8 4	1 1 3	9 9	1 2 5
		8	9 0	1 2 0	1 0 6	1 3 4
	ランドスケープ	4	3 1	4 2	3 6	4 6
		6	4 7	6 3	5 5	7 0
		7. 5	5 9	7 9	6 9	8 7
		8	6 2	8 4	7 3	9 3
A 5	ポートレート	4	3 1	4 2	3 6	4 6
		6	4 7	6 3	5 5	7 0
		7. 5	5 9	7 9	6 9	8 7
		8	6 2	8 4	7 3	9 3
	ランドスケープ	4	2 1	2 9	2 5	3 2
		6	3 2	4 3	3 8	4 8
		7. 5	4 0	5 4	4 7	6 0
		8	4 3	5 8	5 1	6 4
B 4	ポートレート	4	5 5	7 4	6 5	8 2
		6	8 3	1 1 1	9 8	1 2 3
		7. 5	1 0 4	1 3 9	1 2 2	1 5 4
		8	1 1 1	1 4 8	1 3 0	1 6 4
	ランドスケープ	4	3 8	5 2	4 5	5 7
		6	5 8	7 8	6 8	8 6
		7. 5	7 2	9 7	8 5	1 0 8
		8	7 7	1 0 4	9 1	1 1 5
B 5	ポートレート	4	3 8	5 2	4 5	5 7
		6	5 8	7 8	6 8	8 6
		7. 5	7 2	9 7	8 5	1 0 8
		8	7 7	1 0 4	9 1	1 1 5
	ランドスケープ	4	2 7	3 6	3 1	4 0
		6	4 0	5 4	4 7	6 0
		7. 5	5 0	6 8	5 9	7 5
		8	5 4	7 2	6 3	8 0

プリンターの条件			印字モード			
用紙サイズ	印字方向	ピッチ[CPI]	100 %	75 %	SF→B4	SF→A4
A 3	ポートレート	10	113	136	112	136
		12	135	163	135	163
		13.4	150	181	150	181
		15	169	204	169	204
		18	203	244	202	244
	ランドスケープ	10	161	136	136	136
		12	193	163	163	163
		13.4	215	181	181	181
		15	242	204	204	204
		18	290	244	244	244
A 4	ポートレート	10	78	105	78	104
		12	94	126	94	125
		13.4	105	140	104	139
		15	118	158	117	157
		18	141	190	141	188
	ランドスケープ	10	113	136	112	136
		12	135	163	135	163
		13.4	150	181	150	181
		15	169	204	169	204
		18	203	244	202	244

用紙サイズ	印字方向	ピッチ[CPI]	100 %	75 %	SF→B4	SF→A4
A 5	ポートレート	10	54	73	53	72
		12	65	87	64	86
		13.4	72	97	71	96
		15	81	109	80	108
		18	97	131	97	129
	ランドスケープ	10	78	105	78	104
		12	94	126	94	125
		13.4	105	140	104	139
		15	118	158	117	157
		18	141	190	141	188
B 4	ポートレート	10	97	130	96	129
		12	116	156	116	155
		13.4	129	173	129	172
		15	145	195	145	194
		18	175	234	174	232
	ランドスケープ	10	136	136	136	136
		12	163	163	163	163
		13.4	181	181	181	181
		15	204	204	204	204
		18	244	244	244	244

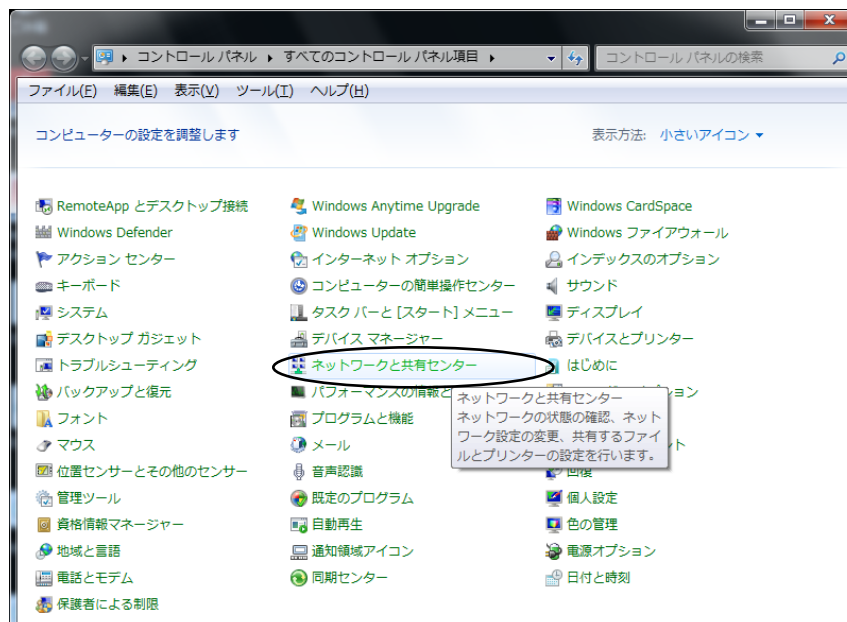
用紙サイズ	印字方向	ピッチ [C P I]	100 %	75 %	SF→B4	SF→A4
B 5	ポートレート	1 0	6 7	9 1	6 7	8 9
		1 2	8 1	1 0 9	8 0	1 0 7
		1 3 . 4	9 0	1 2 1	8 9	1 1 9
		1 5	1 0 1	1 3 6	1 0 0	1 3 4
		1 8	1 2 1	1 6 3	1 2 1	1 6 1
	ランドスケープ	1 0	9 7	1 3 0	9 6	1 2 9
		1 2	1 1 6	1 5 6	1 1 6	1 5 5
		1 3 . 4	1 2 9	1 7 3	1 2 9	1 7 2
		1 5	1 4 5	1 9 5	1 4 5	1 9 4
		1 8	1 7 5	2 3 4	1 7 4	2 3 2

5. 4 L P R ポートの追加

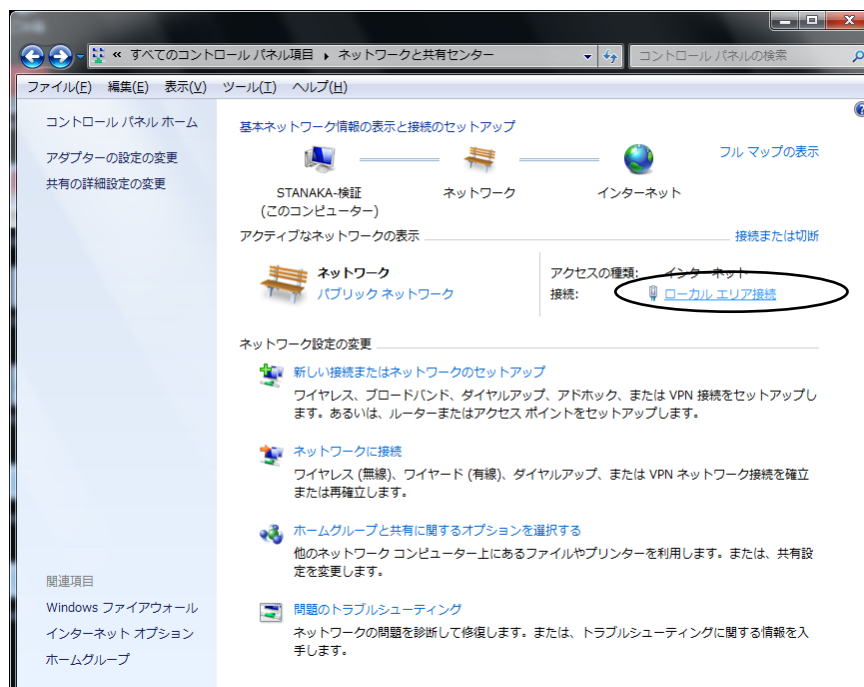
• Windows 7

(1) サービスおよびプロトコルのチェック

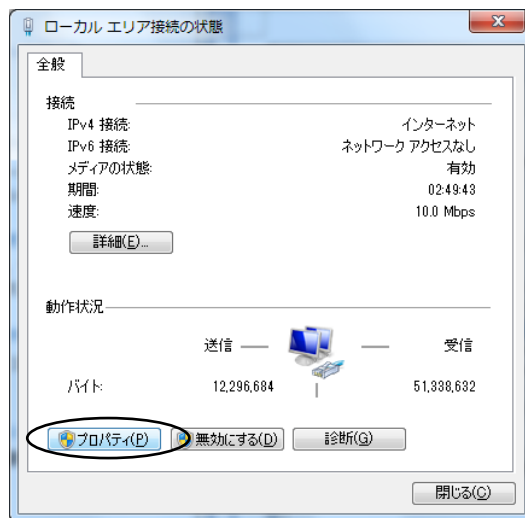
- 1) スタートメニューから「コントロールパネル」を開きます。
「ネットワークと共有センター」をクリックします。



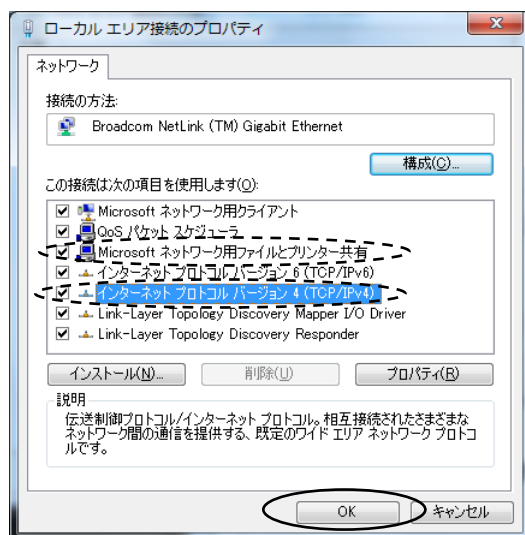
- 2) 「ローカルエリア接続」をクリックします。



- 3) 「ローカルエリア接続の状態」ダイアログボックスが表示されます。
「プロパティ」ボタンをクリックします。



- 4) 「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンター共有」「インターネット プロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)」チェックボックスがオンであることを確認して、「OK」ボタンをクリックします。



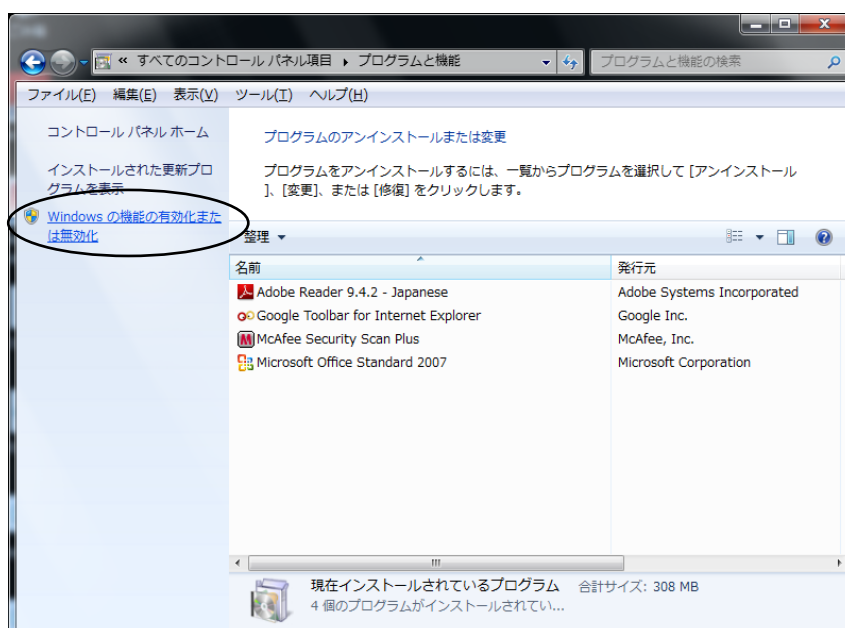
- 5) 以上でサービスおよびプロトコルの確認は終了です。

(2) LPRポートモニターの導入

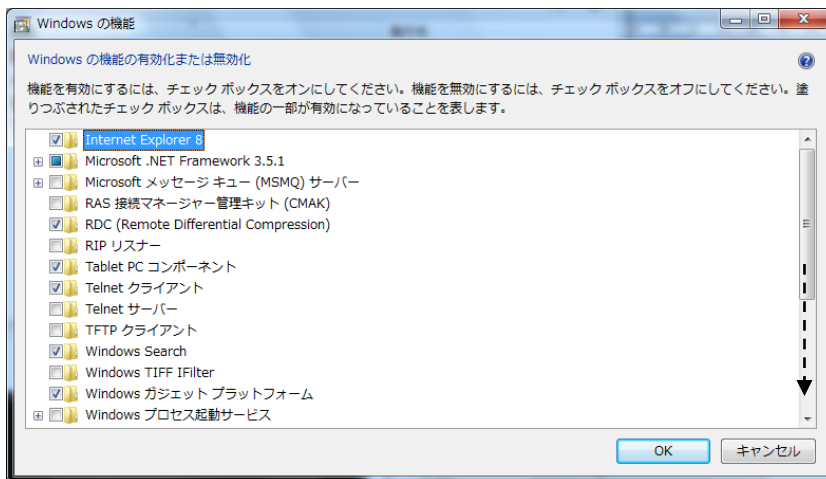
- 1) スタートメニューから「コントロールパネル」を開きます。
「プログラムと機能」をクリックします。



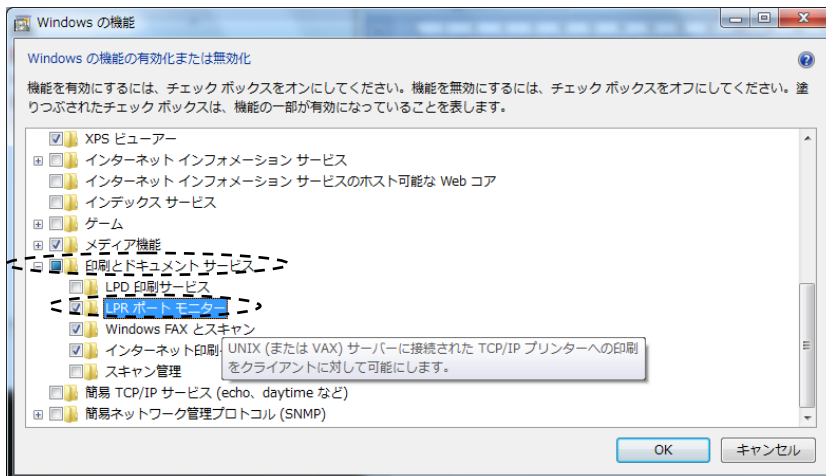
- 2) 「Windows の機能の有効化または無効化」をクリックします。



- 3) 「Windows の機能」ダイアログボックスが表示されます。
スクロールバーで画面を下げます。



- 4) 「印刷とドキュメントサービス」項目を展開し、「LPR ポートモニター」チェックボックスをオンにして、「OK」ボタンをクリックします。



- 5) 以上で L P R ポートモニターの導入は終了です。

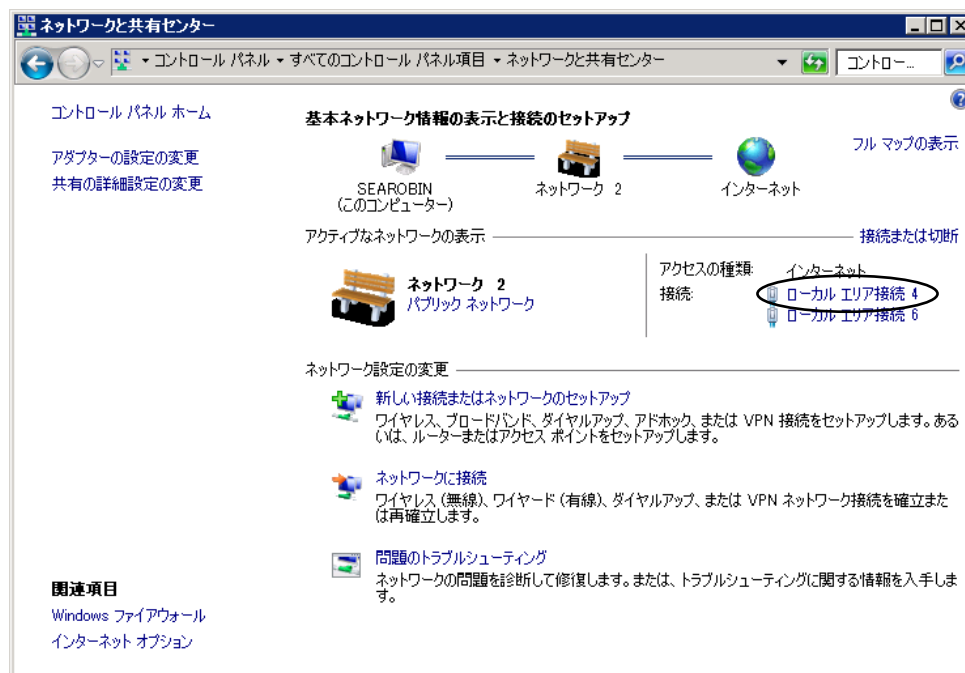
・ Windows Server 2008 R2

(1) サービスおよびプロトコルのチェック

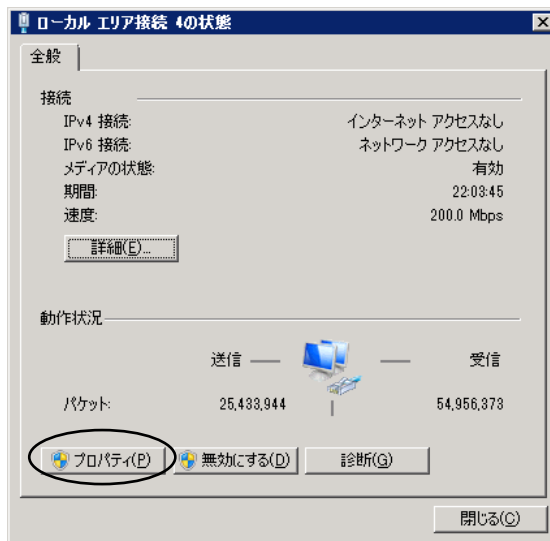
- 1) スタートメニューから「コントロールパネル」を開きます。
「ネットワークと共有センター」をクリックします。



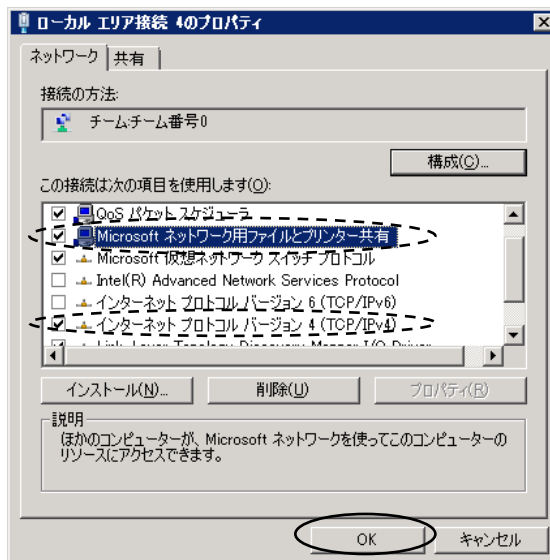
- 2) 「ローカルエリア接続」をクリックします。
複数のローカルエリア接続がある場合は、プリンターを接続するネットワークを選択します。



- 3) 「ローカルエリア接続の状態」ダイアログボックスが表示されます。「プロパティ」ボタンをクリックします。



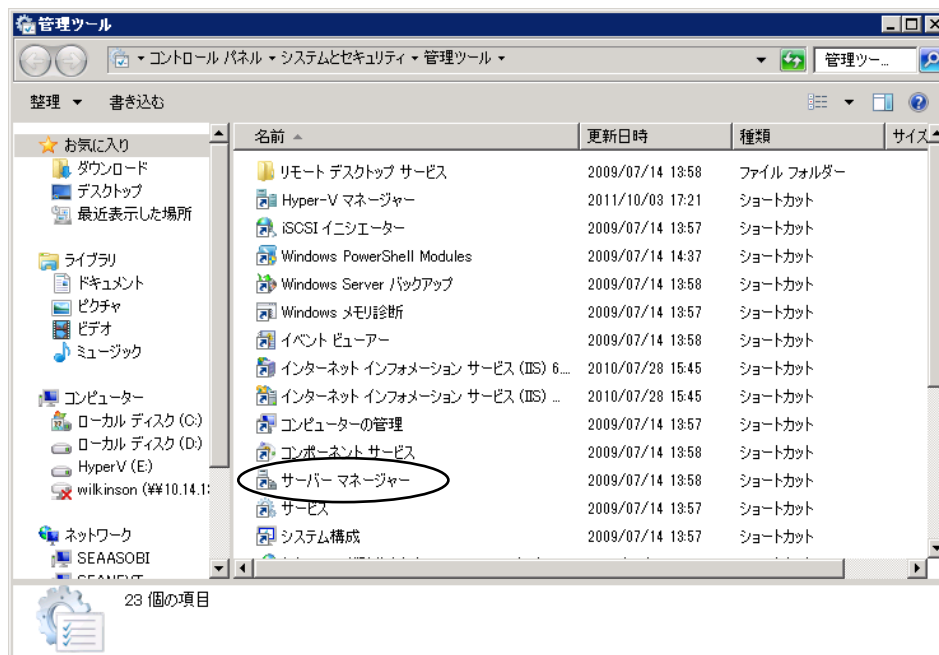
- 4) 「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンター共有」「インターネット プロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)」チェックボックスがオンであることを確認して、「OK」ボタンをクリックします。



- 5) 以上でサービスおよびプロトコルの確認は終了です。

(2) LPRポートモニターの導入

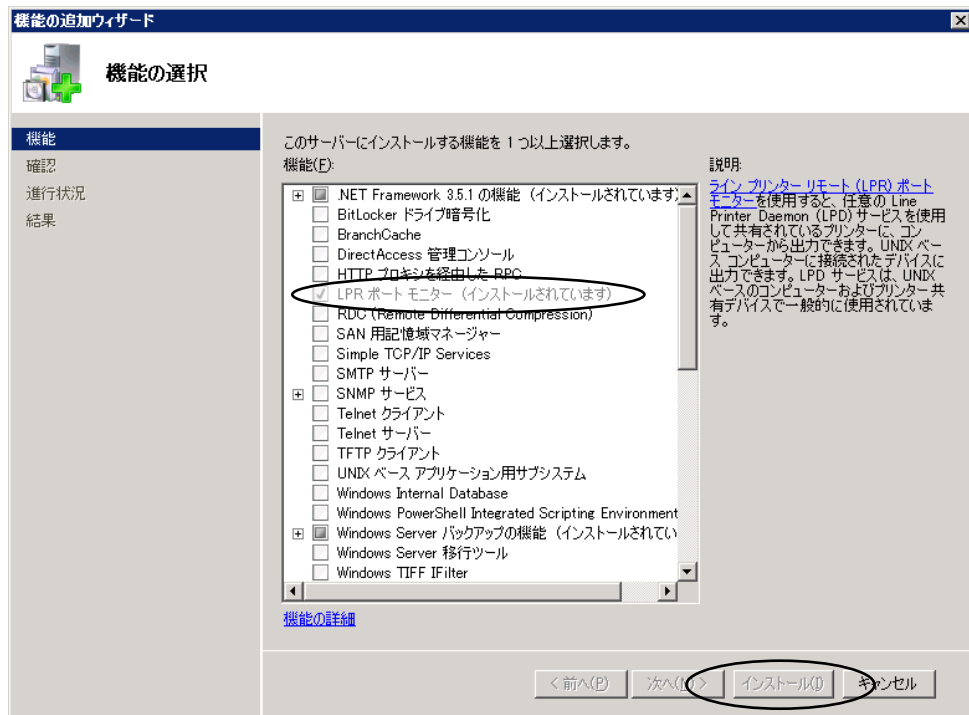
- 1) スタートメニューから「管理ツール」を開きます。
「サーバermaneージャー」をダブルクリックします。



- 2) 「操作」メニューから「機能の追加」を選択します。



- 4) 「LPR ポートモニター」チェックボックスをオンにして、「インストール」ボタンをクリックします。




- 5) 以上でL P Rポートモニターの導入は終了です。

・Windows 8. 1

Windows 7との違いは、最初の「コントロールパネル」の起動方法だけです。以下の手順で「コントロールパネル」を起動した後の手順は、「・Windows 7」を参照してください。

(1) Windows 8. 1 コントロールパネル起動方法

- 1) スタート画面でを押し、アプリ画面に切り替えます。



- 2) 「コントロールパネル」を探してクリックします。



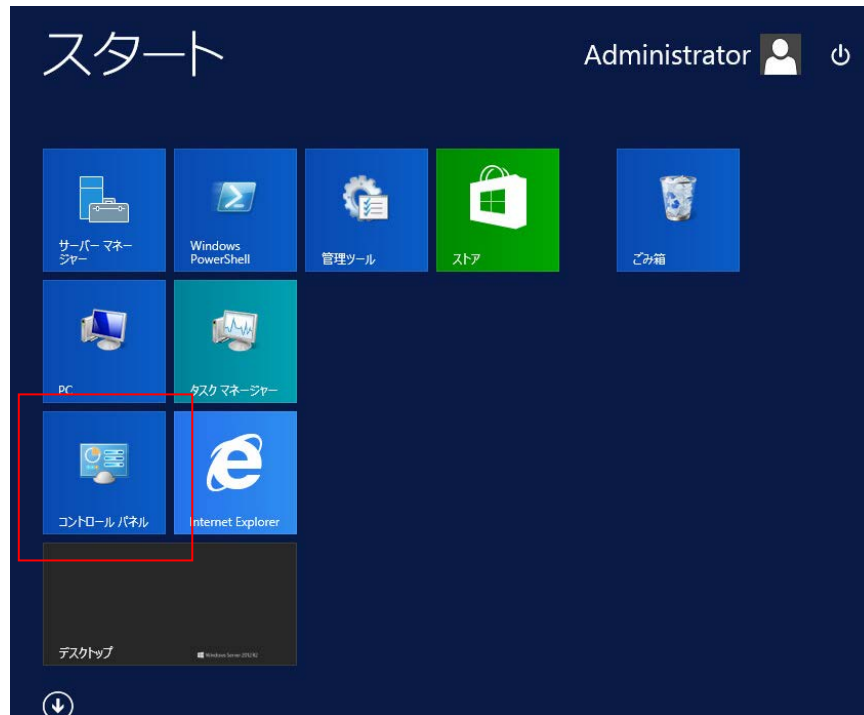
・Windows Server 2012 R2 / 2016

(1) サービスおよびプロトコルのチェック

Windows Server 2008 R2との違いは、最初の「コントロールパネル」の起動方法だけです。

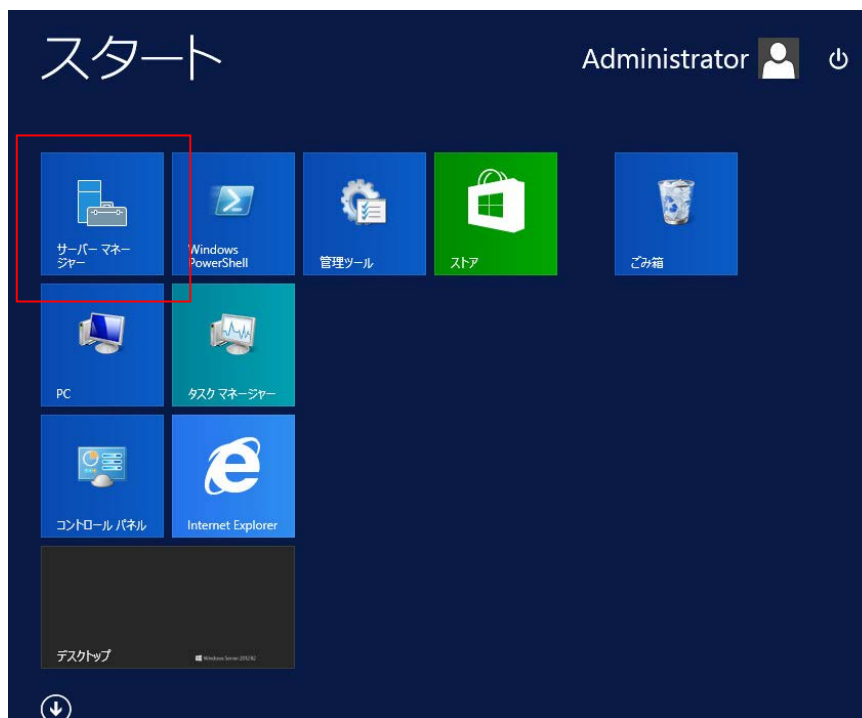
以下の手順で「コントロールパネル」を起動した後の手順は、「・Windows Server 2008 R2」を参照してください。

- 1) スタート画面で「コントロールパネル」をクリックします。



(2) LPRポートモニターの導入

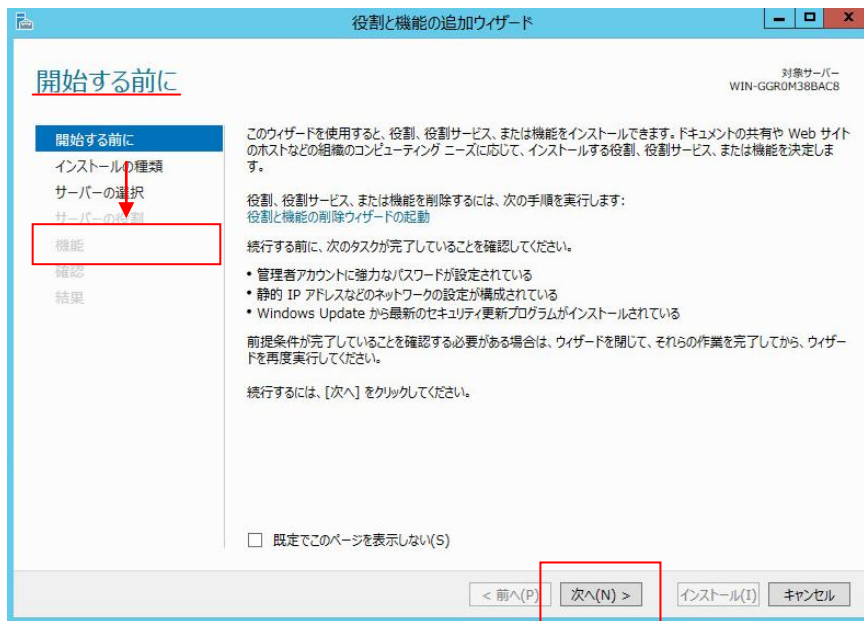
- 1) スタート画面で「サーバー マネージャー」をクリックします。



- 2) 「サーバー マネージャー」が立ち上がります。
「ダッシュボード」メニューの「役割と機能の追加」をクリックします。



- 3) 「役割と機能の追加ウィザード」が立ち上がり、「開始する前に」画面が表示されます。「次へ」ボタンをクリックして、左側のメニューを「機能」まで進めます。

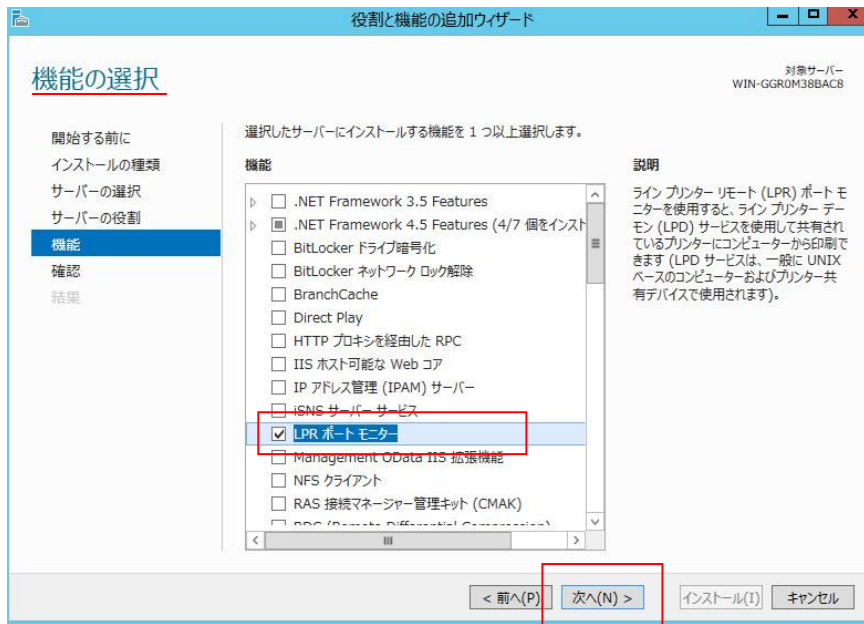


【注意】

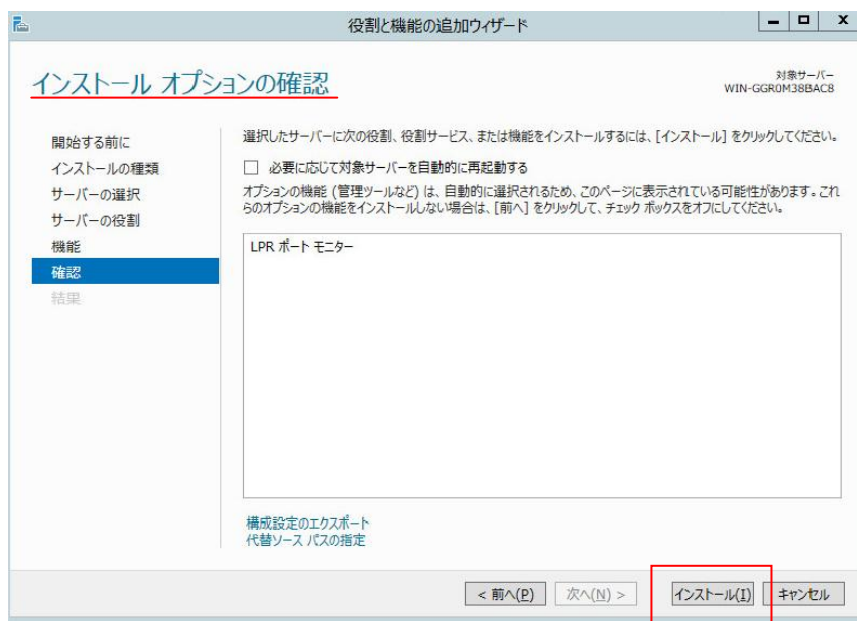
「役割と機能の追加ウィザード」の処理が終了するまで「サーバー マネージャー」を終了させないでください。

「役割と機能の追加ウィザード」は「サーバー マネージャー」と一緒に終了してしまいます。

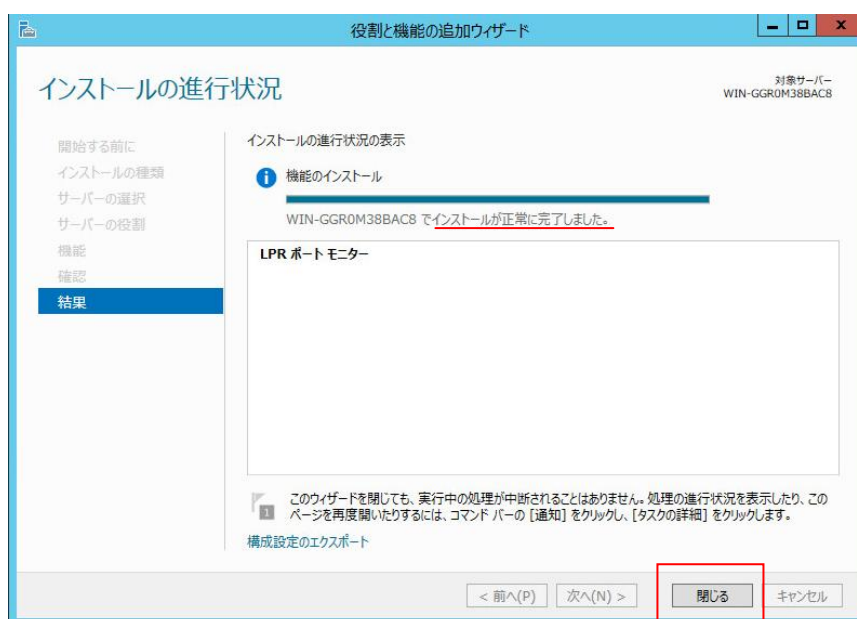
- 4) 「機能の選択」画面が表示されます。「LPRポートモニター」のチェックボックスをチェックして、「次へ」ボタンをクリックします。



- 5) 「インストールオプションの確認」画面が表示されます。
内容を確認し、**インストール**ボタンをクリックして、インストールを開始します。



- 5) 「インストールの進行状況」画面が表示されます。
インストールが完了したら、**閉じる**ボタンをクリックして「役割と機能追加のウィザード」を終了します。その後で「サーバー マネージャー」の右上**×**ボタンをクリックして「サーバー マネージャー」を終了します。



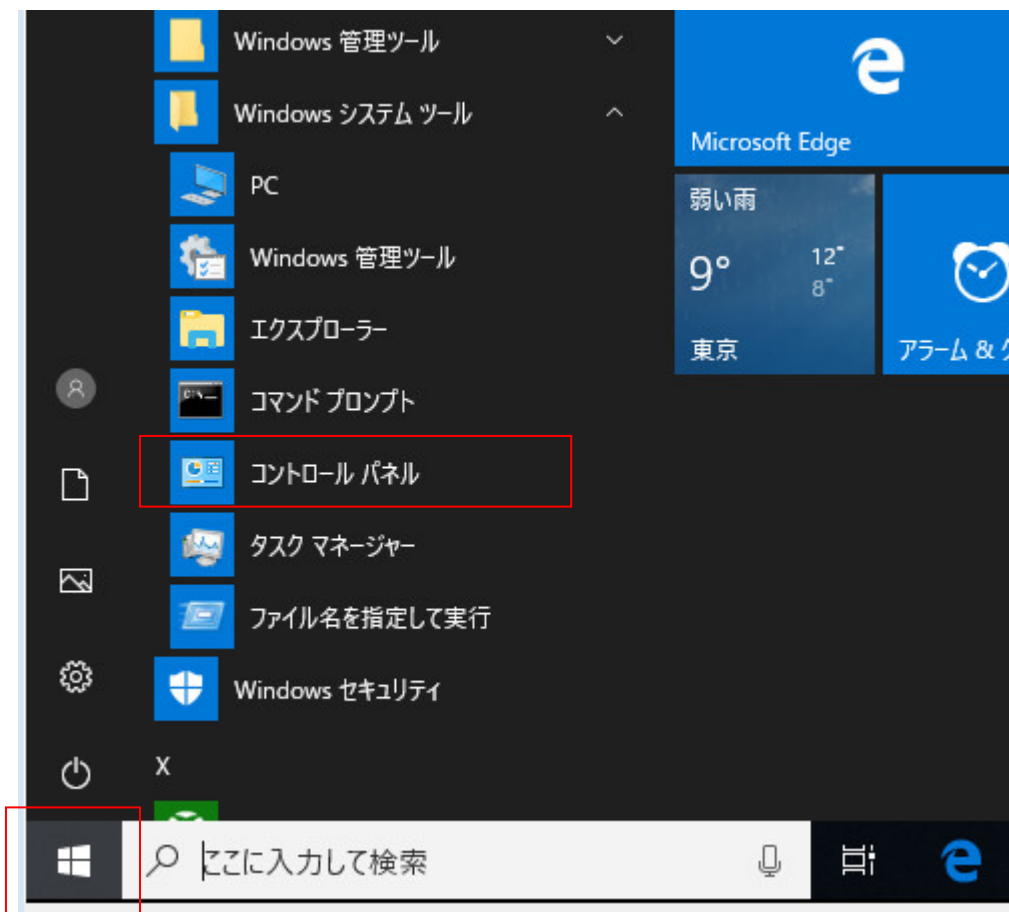
- 6) 以上でLPRポートモニターの導入は終了です。

・Windows 10

Windows 7との違いは、最初の「コントロールパネル」の起動方法だけです。以下の手順で「コントロールパネル」を起動した後の手順は、「・Windows 7」を参照してください。

(1) Windows 10 コントロールパネル起動方法

- 1) スタートボタンを押して、表示されたスタートメニューから「Windows システムツール」内の「コントロールパネル」をクリックします。



CC60RM印刷装置 取扱説明書
2019年 3月 1日 第1版

兼松エレクトロニクス株式会社
(C) KANEMATSU ELECTRONICS LTD.

- * 本書の内容は予告なしに変更することがあります。
- * 本書の内容を無断で転載することを禁じます。

KEL

兼松エレクトロニクス株式会社